

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

情報の検索

マニュアルのアップデート

- [Microsoft® Windows® の使い方](#)
- [デバイスの使い方](#)
- [Dell™ Drivers and Utilities CD の使い方](#)
- [問題を解決するには](#)
- [部品の取り付け](#)

コンピュータについて

- [コンピュータの正面](#)
- [コンピュータの左側面](#)
- [コンピュータの右側面](#)
- [コンピュータの背面](#)
- [コンピュータの底面](#)

Microsoft® Windows® XP の使い方

- [ヘルプとサポートセンター](#)
- [クラシック表示への切り替え](#)
- [デスクトップクリーンアップウィザード](#)
- [ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え](#)
- [ファイルと設定の転送ウィザード](#)
- [プログラム互換性ウィザード](#)
- [家庭用および小企業用ネットワーク](#)
- [インターネット接続ファイアウォール](#)

Dell™ QuickSet 機能

- [QuickSet アイコンのクリック](#)
- [QuickSet アイコンのダブルクリック](#)
- [QuickSet アイコンの右クリック](#)

キーボードとタッチパッドの使い方

- [テンキーパッド](#)
- [キーボードショートカット](#)
- [タッチパッド](#)
- [タッチパッドおよびトラックスティックのカスタマイズ](#)

ディスプレイの使い方

- [輝度の調節](#)
- [画面モードの操作](#)
- [画面解像度の設定](#)

モジュールベイの使い方

- [モジュールベイについて](#)
- [セカンドバッテリーの充電チェック](#)
- [コンピュータの電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け](#)
- [コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け](#)
- [CD または DVD トレイの使い方](#)

バッテリーの使い方

- [バッテリーの性能](#)
- [バッテリーの充電チェック](#)
- [バッテリーの充電](#)
- [バッテリーの取り外し](#)
- [バッテリーの取り付け](#)
- [バッテリーの保管](#)

電力の管理

- [電力管理のヒント](#)
- [電力の管理ウィザード](#)
- [省電力モード](#)
- [電源オプションのプロパティ](#)

PC カードの使い方

- [PC カードについて](#)
- [PC カードのダミーカード](#)
- [拡張型 PC カード](#)
- [PC カードの取り付け](#)
- [PC カードまたはダミーカードの取り外し](#)

スマートカードの使い方

- [スマートカードについて](#)
- [スマートカードの取り付け](#)

ノートブックコンピュータを携帯するときは

- [コンピュータの所有者の証明](#)
- [コンピュータの梱包](#)
- [携帯中のヒントとアドバイス](#)

パスワード

- [パスワードについて](#)
- [プライマリパスワードの使い方](#)
- [システム管理者パスワードの使い方](#)
- [ハードドライブパスワードの使い方](#)
- [管理タグの割り当て](#)

問題の解決

- [エラーメッセージ](#)
- [ビデオとディスプレイの問題](#)
- [サウンドとスピーカーの問題](#)
- [プリンタの問題](#)
- [モデムおよびインターネット接続の問題](#)
- [タッチパッドまたはマウスの問題](#)
- [外付けキーボードの問題](#)
- [入力時の問題](#)
- [ドライブの問題](#)
- [PC カードの問題](#)
- [スマートカードの問題](#)
- [ネットワークの問題](#)
- [プログラムの一般的な問題](#)
- [Dell™ コンピュータが濡れた場合](#)
- [コンピュータを落としたり損傷を与えた場合](#)
- [その他の技術的な問題の解決](#)

Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方

- [Dell Diagnostics \(診断\) プログラムを使用する場合](#)
- [Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの特徴](#)
- [Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの起動](#)

コンピュータのクリーニング

ソフトウェアの再インストール

- [ドライブおよびユーティリティの再インストール](#)
- [ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決](#)
- [Microsoft® Windows® システムの復元の使い方](#)
- [Microsoft® Windows® XP の再インストール](#)
- [Windows 2000 の再インストール](#)

部品の拡張および交換

- [メモリの増設](#)
- [ミニ PCI カードの追加](#)
- [モデムの追加](#)
- [ハードドライブの取り付け](#)
- [Bluetooth™ カードの取り付け](#)
- [コンピュータをテレビに接続する](#)
- [セットアップユーティリティの使い方](#)

セットアップユーティリティの使い方

- [概要](#)
- [セットアップユーティリティ画面の表示](#)
- [セットアップユーティリティ画面](#)
- [よく使用されるオプション](#)

ASF (Alert Standard Format)

困ったときは

- [テクニカルサポート](#)
- [ご注文に関する問題](#)
- [製品情報](#)
- [保証期間中の修理と返品について](#)
- [お問い合わせになる前に](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)




仕様

補足事項

- [Macrovision 製品通知](#)
- [快適な使い方](#)
- [認可機関の情報](#)
- [品質の保証について](#)

用語集

メモ、注意、および警告

-  **メモ:** コンピュータの操作上知っておくと便利な情報が記載されています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータを損失する可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表は、「[用語集](#)」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入された場合、このマニュアル内の Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに関する記述は適用されません。

このマニュアルの内容は予告なく変更されることがあります。
© 2003 すべての著作権は Dell Computer Corporation にあります。

Dell Computer Corporation からの書面による許可なしには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

このマニュアルに使用されている商標: Dell, DELL のロゴ, Inspiron, Dell Precision, Dell TravelLite, Dimension, OptiPlex, および Latitude は、Dell Computer Corporation の商標です。Intel, Pentium, および Intel SpeedStep は、Intel Corporation の登録商標です。Centrino は、Intel Corporation の商標です。Microsoft, Windows, Windows NT, および MS-DOS は、Microsoft Corporation の登録商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の商標で、Dell Computer Corporation での使用が許可されています。ENERGY STAR は、U.S. Environmental Protection Agency の登録商標です。Dell Computer Corporation は ENERGY STAR と提携しており、本製品は ENERGY STAR のエネルギー効率に関するガイドラインに適合しています。

このマニュアルでは、上記以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Computer Corporation に所属するものではありません。

モデル PP02X

2003 年 6 月 P/N 2W958 Rev. A00

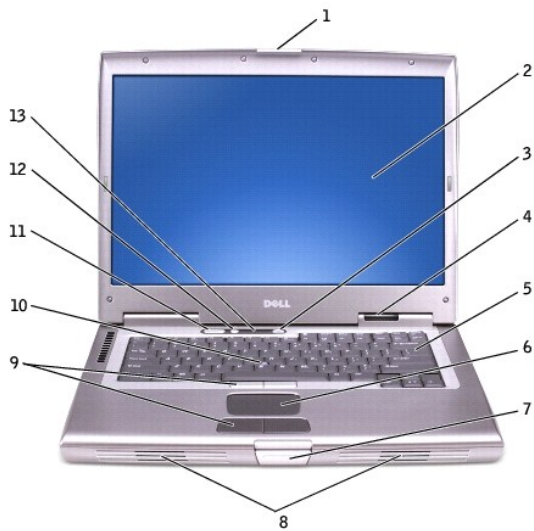
[目次ページに戻る](#)

コンピュータについて

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [コンピュータの正面](#)
- [コンピュータの左側面](#)
- [コンピュータの右側面](#)
- [コンピュータの背面](#)
- [コンピュータの底面](#)

コンピュータの正面



1	ディスプレイラッチ	8	スピーカー
2	ディスプレイ	9	トラックスティック / タッチパッドボタン
3	電源ボタン	10	トラックスティック
4	デバイスステータスライト	11	ボリュームコントロールボタン
5	キーボード	12	ミュートボタン
6	タッチパッド	13	キーボードステータスライト
7	ディスプレイラッチボタン		

ディスプレイラッチ — ディスプレイを閉じておきます。

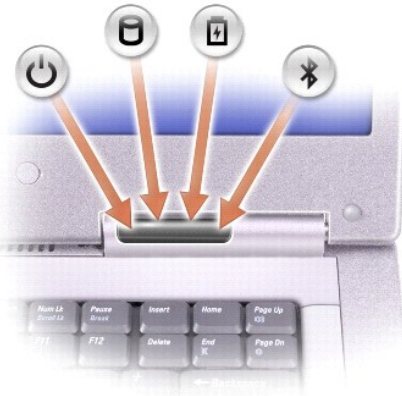
ディスプレイ — ディスプレイの詳細については、「[ディスプレイの使い方](#)」を参照してください。

電源ボタン — 電源ボタンを押してコンピュータに電源を入れるか、または[省電力モード](#)を起動するか終了します。

🔍 **注意:** データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® のシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

デバイスステータスライト



	コンピュータに電源を入ると点灯し、コンピュータが省電力モードに入っている際に点滅します。
	コンピュータがデータを読み取ったり、データの書き込みをしている際に点灯します。 注意： データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
	点灯または点滅で、バッテリーの充電状態を示します。
	Bluetooth™ が有効な場合、点灯します。Bluetooth を有効または無効にするには、 を押します。 メモ： Bluetooth は、コンピュータのオプション機能です。Bluetooth をコンピュータと一緒にご注文された場合のみ、 アイコンがオンになります。詳細については、Bluetooth ワイヤレステクノロジーに付属のマニュアルを参照してください。
Fn+ F2	すべてのワイヤレスデバイスの電源を切ります。 Bluetooth の機能だけを停止するには、システムトレイの のアイコンを右クリックして、 ラジオの無効化 を選択します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは次のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了

コンピュータをバッテリーでお使いの場合、 のライトは次のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されているか、コンピュータの電源が切れています。あるいはバッテリーがコンピュータに取り付けられていません。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

キーボード — キーボードには、テンキーパッドと Microsoft® Windows® ログオン が含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの機能については、「[キーボードとタッチパッドの使い方](#)」を参照してください。

タッチパッド — タッチパッドおよびタッチパッドボタンは、マウスと同じ機能を提供します。詳細については、「[キーボードとタッチパッドの使い方](#)」を参照してください。

ディスプレイラッチボタン — このボタンを押してディスプレイラッチを取り外し、ディスプレイを開きます。

スピーカー — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、ボリュームコントロールボタンまたは音量調節のキーボードショートカットを押します。詳細については、「[キーボードとタッチパッドの使い方](#)」を参照してください。

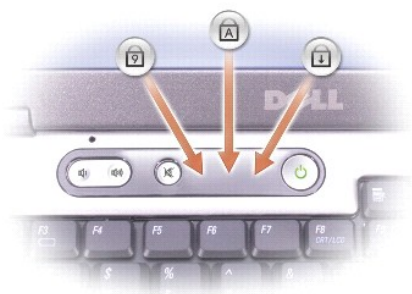
トラックスティック / タッチパッドボタン — トラックスティックおよびタッチパッドボタンは、マウスと同じ機能を提供します。詳細については、「[キーボードとタッチパッドの使い方](#)」を参照してください。

トラックスティック — トラックスティックおよびトラックスティックボタンは、マウスと同じ機能を提供します。詳細については、「[キーボードとタッチパッドの使い方](#)」を参照してください。

ボリュームコントロールボタン — ボタンを押して、音量を調節します。

ミュートボタン — ボタンを押して、音を消します。

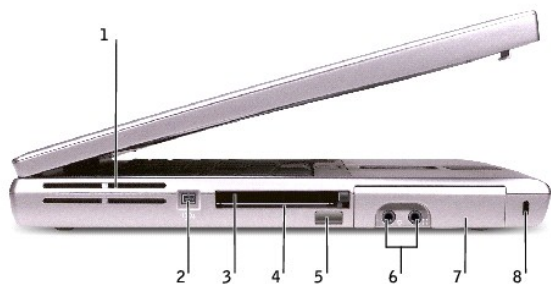
キーボードステータスライト



キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

	テンキーパッドが有効になると点灯します。
	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

コンピュータの左側面



1	通気孔	5	赤外線センサー
2	IEEE 1394 コネクタ (4 ピン)	6	オーディオコネクタ
3	PC カードスロット	7	ハードドライブ
4	スマートカードスロット	8	セキュリティケーブルスロット

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようにします。これにより、コンピュータが過熱することを防ぎます。

メモ: コンピュータは熱を持った場合のみファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

警告: 通気孔を塞いだり、物押し込んだり、埃や異物が入らないようにしてください。コンピュータが稼働中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与える恐れがあります。

IEEE 1394 コネクタ (4 ピン) — このコネクタを使って、デジタルビデオカメラなど高速なデータ転送速度をもつ IEEE 1394 対応のデバイスをコンピュータに接続します。

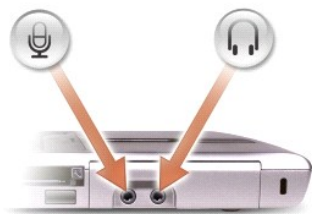
PC カードスロット — モデムまたはネットワークアダプタなどの PC カードを 1 枚サポートします。コンピュータには出荷時に、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。詳細については、「[PC カードの使い方](#)」を参照してください。



スマートカードスロット — スマートカードを 1 枚サポートします。詳細については、「[スマートカードの使い方](#)」を参照してください。

赤外線センサー — ケーブルで接続せずに、コンピュータから他の赤外線互換デバイスへファイルを転送することができます。

コンピュータがお手元に届いたときは、赤外線センサーは無効になっています。[セットアップユーティリティ](#)を使って、赤外線センサーを有効にします。データ転送の詳細については、Windows ヘルプ (Windows 2000 の場合)、[Windows ヘルプとサポートセンター](#) (Windows XP の場合)、または赤外線互換デバイスに付属のマニュアルを参照してください。


オーディオコネクタ



	の接続にはマイクを接続します。
	の接続にはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

 **注意:** 盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。




コンピュータの右側面



1	セキュリティケーブルスロット
2	モジュールベイ
3	デバイスリリースラッチ
4	パワー/USB コネクタ

セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。


 **注意:** 盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。



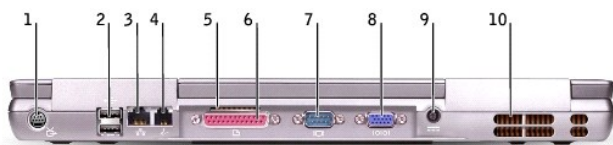
モジュールベイ オプティカルドライブや Dell TravelLite™ モジュールなどのデバイスをモジュールベイに取り付けることができます。詳細については、「[モジュールベイの使い方](#)」を参照してください。

デバイスリリースラッチ デバイスを取り外します。手順については、「[モジュールベイの使い方](#)」または「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。

パワー USB コネクタ


	Dell™ D/Bay を接続します。Dell D/Bayは、オプティカルドライブ、フロッピードライブ、またはセカンドハードドライブを搭載できる外付けメディアベイです。
---	--

コンピュータの背面




1 Sビデオ TV 出カコネクタ	6 パラレルコネクタ
2 USB コネクタ (2)	7 シリアルコネクタ
3 ネットワークコネクタ (RJ-45)	8 ビデオコネクタ
4 モデムコネクタ (RJ-11) (オプション)	9 ACアダプタコネクタ
5 通気孔	10 通気孔

S ビデオ TV 出カコネクタ

	コンピュータを TV に接続します。TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを使って、デジタルオーディオ対応デバイスにも接続できます。詳細については、「 コンピュータをテレビに接続する 」を参照してください。
---	--

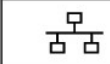
USB コネクタ (2)

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスを接続します。下の図のように、オプションのフロッピードライブケーブルを使って、オプションのフロッピードライブを直接 USB コネクタに接続することもできます。
---	--




ネットワークコネクタ (RJ-45)

注意: ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話線をネットワークコネクタに接続しないでください。


	<p>コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある緑色および黄色のライトは、ワイヤ / ワイヤレスネットワーク通信の活動を示します。</p> <p>ネットワークアダプタの使い方については、コンピュータに付属しているオンラインのネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。「情報の検索」を参照してください。</p>
---	---

モデムコネクタ (RJ-11) (オプション)


	<p>オプションの内蔵モデムをご購入された場合、電話線をモデムコネクタに接続します。</p> <p>モデムの使い方については、コンピュータに付属しているオンラインのモデムのマニュアルを参照してください。「情報の検索」を参照してください。</p>
---	--

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようにします。これにより、コンピュータが過熱することを防ぎます。


パラレルコネクタ

	<p>プリンタなどのパラレルデバイスを接続します。</p>
---	-------------------------------

ビデオコネクタ

	<p>外付けモニターを接続します。詳細については、「ディスプレイの使い方」を参照してください。</p>
---	---

シリアルコネクタ

	<p>マウスまたはハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスを接続します。</p>
---	---

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。



AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

警告： AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続すると、火災の原因になったり、装置に損傷を与える恐れがあります。

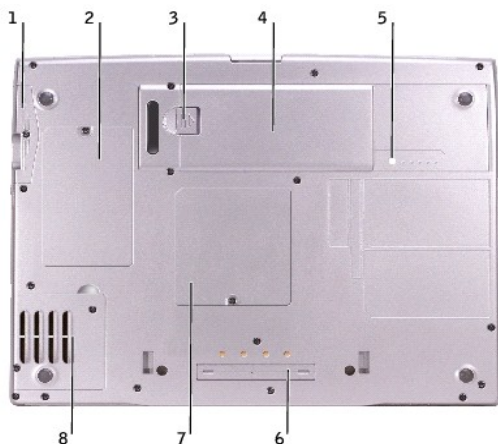
注意： コンピュータから AC アダプタケーブルを取り外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち（ケーブル自体ではなく）、しっかり、かつ慎重に引き抜いてください。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようにします。これにより、コンピュータが過熱することを防ぎます。

メモ： コンピュータは熱を持った場合にのみファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

警告： 通気孔を塞いだり、物押し込んだり、埃や異物が入らないようにしてください。コンピュータが稼働中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与える恐れがあります。

コンピュータの底面



1	ハードドライブ	5	バッテリー充電ゲージ
2	ミニ PCI カード / モデムカバー	6	ドッキングデバイススロット
3	バッテリーベイリリースラッチ	7	メモリモジュールカバー
4	バッテリー	8	ファン

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

ミニ PCI カード / モデムカバー — オプションのミニ PCI カードおよびオプションのモデムのコンパートメントのカバーです。「[部品の拡張および交換](#)」を参照してください。

バッテリーベイリリースラッチ — バッテリーを外します。「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。


バッテリー — バッテリーが取り付けられていると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。


バッテリー充電ゲージ — バッテリー充電の情報を提供します。「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。

メモリモジュールカバー — メモリモジュールのコンパートメントのカバーです。「[部品の拡張および交換](#)」を参照してください。

ドッキングデバイススロット — お使いのコンピュータをドッキングデバイスに取り付けます。詳細については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

ファン — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようにします。これにより、コンピュータが過熱することを防止します。

 **メモ:** コンピュータは熱を持った場合にのみファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

 **警告:** 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入らないようにしてください。コンピュータが稼働中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与える恐れがあります。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

補足事項

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [Macrovision 製品通知](#)
- [快適な使い方](#)
- [認可機関の情報](#)
- [品質の保証について](#)

Macrovision 製品通知

この製品は、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国特許権および知的財産権によって保護されている著作権保護技術を組み込んでいます。この著作権保護技術の使用は、Macrovision Corporation の許可を受けなければならず、Macrovision Corporation による別段の許可がない限り、家庭内および他の限定的な視聴目的に制限されています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブルは禁止されています。

快適な使い方

- ⚠ **警告：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。**
- ⚠ **警告：ディスプレイまたは外付けモニター画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。**

コンピュータワークステーションを快適に効率よく使用するため、コンピュータワークステーションの設置と使用に関しては、以下の注意事項を守ってください。

- 1 作業中は、モニターとキーボードが身体の正面を向くようにコンピュータを配置します。キーボードの位置を調節できる専用の棚が販売されています。
- 1 モニターを使用する場合は、目が疲れないようにモニターとの距離を調整します（通常は目から 45 ～ 60 センチ）。
- 1 モニターの正面に座ったときに、画面が目線と同じ高さか、やや低くなるようにします。
- 1 モニターの角度、コントラストと輝度設定、および周囲の照明（天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド）を調整し、モニター画面の反射を最小限に抑えます。
- 1 しっかりとした背もたれの付いた椅子を使用します。
- 1 キーボードまたはマウスを使用する際は、前腕部と手首を水平にし、リラックスした快適な位置に保ちます。
- 1 キーボードまたはマウスを使用する際に、手を置くためのスペースを取ります。
- 1 上腕部は身体の横に自然に下ろします。
- 1 足の裏を平らにして床につけます。
- 1 椅子に座っているときは、足の重さが椅子のシートではなく足の裏にかかるようにします。必要に応じて椅子の高さを調節したり足台を使用して、正しい姿勢を維持します。
- 1 作業に変化を持たせるように調整して、長時間のタイピングを避けます。また、タイピングしていないときはなるべく両手を使う作業をおこなうようにします。

認可機関の情報

EMI（電磁波障害）とは、自由空間に放射されたり、電源コードや信号線に伝導する信号あるいは放射電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの着しい品位低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM/FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS（Personal Communication Services）などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータを含むデジタル装置などの意図的ではない放射装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

EMC（電磁的両立性）とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン / オフにすることによって判定できますので、以下の方法を 1 つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 1 受信アンテナの方向を変えてください。
- 1 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 1 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- 1 コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

さらに詳しいことは、デルのテクニカルサポート担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

Dell™ コンピュータは、下記の使用環境目的に合わせた設計、試験、類別がなされています。これらの電磁環境の類別は、一般に以下の統一定義を表しています。

- 1 クラス A — 主として商工業環境用
- 1 クラス B — 主として住宅環境用

情報技術装置 (ITE: Information Technology Equipment) は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力 (I/O) 装置、モニターなどを含み、コンピュータに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の類別に適合しなければなりません。

シールド付き信号ケーブルに関する注意: 周辺機器をデル製の周辺機器に接続するにはシールド付きケーブルのみを使用して、無線通信サービスとの干渉の可能性を減らしてください。シールド付きケーブルの使用により、目的とする環境に適した EMC 分類基準を満たします。

大半の Dell コンピュータは、クラス B 環境に分類されています。ただし、コンピュータに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラス A に分類されることがあります。コンピュータまたは周辺機器の電磁的分類を確認するには、次項を参照してください。以下の項には、EMC/EMI または製品の安全に関する情報が記載されています。

VCCI 規定 (情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定)

大半の Dell コンピュータは、VCCI によりクラス B 情報技術装置 (ITE) として類別されています。ただし、コンピュータに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラス A 情報技術装置に類別されることもあります。情報技術装置は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力 (I/O) 装置、モニターなどを含み、システムに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の類別 (クラス A またはクラス B) に適合しなければなりません。

お手元のコンピュータにどちらの類別が適用されているかを確認するには、コンピュータの底面、側面、または背面パネルに添付されている VCCI 表示ラベル (「VCCI クラス A 情報技術装置基準」および「VCCI クラス B 情報技術装置基準」のラベルを参照) をすべて調べてください。VCCI の類別を確認できましたら、次の該当する部分をご覧ください。

クラス A 情報技術装置基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI クラス A 情報技術装置基準のマーク

お使いのコンピュータに貼付されているラベルに次のマークが含まれている場合、お使いのコンピュータはクラス A です。

VCCI

クラス B 情報技術装置基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI クラス B 情報技術装置基準のマーク

お使いのコンピュータに貼付されているラベルに次のマークが含まれている場合、お使いのコンピュータはクラス B です。



ENERGY STAR® への準拠

特定の Dell コンピュータは、省エネコンピュータを目指した EPA (米国環境保護局) が規定する要件を満たしています。お使いのコンピュータに ENERGY STAR® エンブレムが付いている場合、このコンピュータの出荷時の構成はこの規格に準拠しており、コンピュータの ENERGY STAR® 省電力機能のすべてが使用できます。

メモ: ENERGY STAR® エンブレムの付いた Dell コンピュータは、デルからの出荷時に EPA ENERGY STAR® の要件に従って構成されていることが証明されています。この構成になんらかの変更 (拡張カードまたはドライブの増設など) をおこなうと、コンピュータの消費電力は EPA の ENERGY STAR® コンピュータプログラムで設定されている限界を超える恐れがあります。



ENERGY STAR® エンブレム

EPA の ENERGY STAR® コンピュータプログラムは、省エネコンピュータ製品を促進することによって大気汚染を減らすために、EPA とコンピュータメーカーが共同で作成したものです。EPA では、ENERGY STAR® コンピュータ製品を使用することによって、コンピュータユーザーの年間電気料が最高で 20 億ドル節約されると予測しています。この電気使用量の節減によって、温室効果の一番の原因となる二酸化炭素の発生、および酸性雨の主要な原因である二酸化硫黄と窒素酸化物の発生を減少させることができます。

また、夜間および週末などコンピュータを長時間使用しないときに電源を切ることによって、電気使用量とそれによる悪影響を減少させることができます。

品質の保証について

Dell Computer Corporation (「Dell」) は、ハードウェア製品を業界標準慣習に従い、新品、またはそれと同等の部品からコンピュータを製造しています。コンピュータに関する Dell の保証情報については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ASF (Alert Standard Format)

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

ASF は、「プリオペレーティングシステム」または「オペレーティングシステム不在」警告技術を指定する DMTF 管理標準です。オペレーティングシステムがスリープ状態にあるとき、またはコンピュータの電源が切れているときに、セキュリティの問題および障害が発生している可能性があるという警告を発するよう設定されています。ASF は、以前のオペレーティングシステム不在警告テクノロジーに代わるものとして設計されています。

お使いのコンピュータは、次の ASF 警告およびリモート機能をサポートします。

警告	説明
Chassis Intrusion - Physical Security Violation/Chassis Intrusion - Physical Security Violation Event Cleared	ドッキングデバイスが開けられ、PCI スロットはセキュリティが確保されていません。
Failure to Boot to BIOS	起動時に BIOS のロードが完了しませんでした。
System Password Violation	システムのパスワードが無効です（無効なパスワードが 3 回入力されると警告が生成されます）。
Entity Presence	システムが存在していることを確認するために、ハートビートが定期的を送信されています。

デルの ASF 導入の詳細については、デルサポートウェブサイト support.jp.dell.com にある『ASF for Dell Portable Computers』および『ASF Administrator's Guide for Dell Portable Computers』を参照してください。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

バッテリーの使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド


- [バッテリーの性能](#)
- [バッテリーの充電チェック](#)
- [バッテリーの充電](#)
- [バッテリーの取り外し](#)
- [バッテリーの取り付け](#)
- [バッテリーの保管](#)

バッテリーの性能


 **メモ:** ノートブックコンピュータ用のバッテリーは、コンピュータの保証期間の最初の 1 年間に限り保証されます。お使いのコンピュータに関するデルの保証情報については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されていない場合、バッテリーを使用してコンピュータを起動します。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

バッテリーの動作時間は、使用状況に応じて異なります。平均的な使用方法の場合、完全に充電されているバッテリー 1 つで 3 ~ 4 時間の操作ができます。オプションのセカンドバッテリーをモジュールベイに取り付けると、動作時間を大幅に長くすることができます。セカンドバッテリーの詳細については、「[モジュールベイの使い方](#)」を参照してください。


 **メモ:** お使いのコンピュータのモジュールベイは、セカンドバッテリーをサポートします。Dell D/Bay はセカンドバッテリーをサポートしません。


次のような場合、バッテリーの動作時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。


 **メモ:** CD に書き込みをしている際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。


- 1 オプティカルドライブ、特に DVD ドライブおよび CD-RW ドライブを使用している場合
- 1 ワイヤレス通信デバイス、PC カード、または USB デバイスを使用している場合
- 1 ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用している場合
- 1 **最大パフォーマンスモード**でコンピュータを実行している場合

コンピュータに[バッテリーを挿入する](#)前に、[バッテリーの充電チェック](#)ができます。[バッテリーの充電量が少なくなると](#)、警告を発するように電源管理のオプションを設定することもできます。


 **メモ:** グラフィックカード用の **最小電力** オプションの設定でバッテリーの寿命を節約することができます。詳細については、グラフィックカードに付属のマニュアルを参照してください。

 **警告:** 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、Dell™ コンピュータ専用です。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

 **警告:** バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口:デル PC リサイクルデスク (電話 044-556-3481) へお問い合わせください。詳細については、『システム情報ガイド』の「[バッテリーの廃棄](#)」を参照してください。

 **警告:** バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、あるいは気温が 65 °C を超える場所に置かないでください。バッテリーはお子様の手の届かない所に保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特にご注意ください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷させる恐れがあります。

バッテリーの充電チェック


Dell QuickSet バッテリーメーター、Microsoft® Windows® 電源メーターウィンドウと  アイコン、バッテリー充電ゲージと機能ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

セカンドバッテリーの充電チェックの詳細については、「[モジュールベイの使い方](#)」を参照してください。

Dell QuickSet バッテリーメーター




  を押して、QuickSet **バッテリーメーター** を表示します。


バッテリーメーター 画面は、お使いのコンピュータのプライマリバッテリーおよびセカンドバッテリーの状態、充電レベル、および充電完了時間を表示します。

 **メモ:** お使いのドッキングデバイスを使って、コンピュータのバッテリーを充電することができます。ただし、ドッキングデバイスのバッテリーが、ドッキングデバイスまたはコンピュータに電力を供給するわけではありません。


また、コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、**バッテリーメーター** 画面には、充電レベルおよびドッキングデバイスバッテリーの現在の状態を表示する **バッテリーのドッキング** タブが含まれます。


バッテリーメーター 画面では、以下のアイコンが表示されます。

	<ul style="list-style-type: none">1 コンピュータまたはドッキングデバイスが、バッテリー電源で動作している1 バッテリーが切れているまたはアイドル状態
	<ul style="list-style-type: none">1 コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している1 バッテリーの充電中
	<ul style="list-style-type: none">1 コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している1 バッテリーが切れているか、アイドル状態、または充電中

QuickSet の詳細については、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

Microsoft Windows 電源メーター

Windows 電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの  アイコンをダブルクリックします。電源メーター タブの詳細については、「[電力の管理](#)」を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。


充電ゲージ

バッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電ゲージにあるステータスボタンを押して、充電レベルインジケータライトを点灯させます。各ライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % であれば 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

機能ゲージ


バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーは充電機能またはバッテリー機能を失います。バッテリー機能を確認するには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押します。どのライトも点灯しない場合、バッテリー機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリーを交換した方が良いかもしれません。バッテリーの動作時間の詳細については、「[仕様](#)」を参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告

 **注意：** データの損失およびデータ破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続するか、またはモジュールベイにセカンドバッテリーを取り付けます。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。


バッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリーの約 90 % を消費した時点で発せられます。コンピュータから 1 回ビープ音が発せられたら、バッテリーの動作時間が最低限になったことを示しています。その間、スピーカーは定期的にビープ音を鳴らします。バッテリーを 2 つ取り付けている場合、バッテリーの低下を知らせる警告は、両方のバッテリーを合わせた充電量の 90 % が消費されていることを意味します。バッテリーの充電残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。バッテリーの低下を知らせる警告の詳細については、「[電力の管理](#)」を参照してください。

バッテリーの充電

 **メモ：** 完全に切れてしまったバッテリーを AC アダプタで充電するには、コンピュータの電源が切れている場合で約 1 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合、充電時間は長くなります。バッテリーはコンピュータに取り付けたままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路が過剰充電を防ぎます。

コンピュータをコンセントに接続していたり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。


バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。


 のライトが緑色と橙色で交互に点滅する場合、バッテリーが高温すぎて充電が開始できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。次に、コンピュータをコンセントに接続して、充電を継続します。

バッテリーの問題の解決については、「[電源の問題](#)」を参照してください。

バッテリーの取り外し

セカンドバッテリーの取り外しの詳細については、「[モジュールベイの使い方](#)」を参照してください。

 **警告：** 次の手順を実行する前に、コンピュータの電源を切り、コンピュータをコンセントから抜いて、モデムを電話ジャックから抜いてください。

 **注意：** コンピュータがスタンバイモードに入っている状態でバッテリーを交換する場合、90 秒以内に交換を完了してください。90 秒経つと、コンピュータがシャットダウンして、保存していないデータはすべて失われます。

1. コンピュータの電源が切れているか、省電力モードのサスペンドモードに入っているか、またはコンセントに接続されているか確認します。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの取り扱いについては、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、ベイからバッテリーを取り外します。



バッテリーの取り付け

リリースラッチがカチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをベイにスライドします。

セカンドバッテリーの取り付けの詳細については、「[モジュールベイの使い方](#)」を参照してください。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになるときは、完全に[バッテリーを再充電](#)してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)


モジュールベイの使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド


- [モジュールベイについて](#)
- [セカンドバッテリーの充電チェック](#)
- [コンピュータの電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け](#)
- [コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け](#)
- [CD または DVD トレイの使い方](#)

モジュールベイについて

フロッピードライブ、CDドライブ、CD-RWドライブ、DVDドライブ、CD-RW/DVDドライブ、DVD+RW、Dell TravelLite™ モジュール、セカンドバッテリー、またはセカンドハードドライブなどのデバイスをモジュールベイに取り付けることができます。

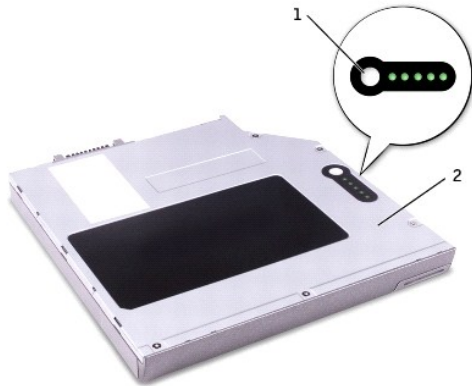
 **メモ:** モジュールベイに取り付けられているすべてのデバイス（セカンドバッテリーを除く）は、Dell D/Bay に取り付けすることもできます。

お使いの Dell™ コンピュータには、出荷時にオプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

 **メモ:** セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。


セカンドバッテリーの充電チェック

セカンドバッテリーを取り付ける前に、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを押して充電量を示す充電レベルインジケータライトを点灯させます。各ライトはバッテリーの総充電量の約 20% を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80% であれば 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。




1	充電ゲージのステータスボタン
2	セカンドバッテリー（上部）

コンピュータの電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け

 **メモ:** デバイスネジを取り付けていない場合、ドッキングデバイスに接続されていて、[コンピュータが動作している間でも、デバイスを取り外したり、取り付けることができます。](#)

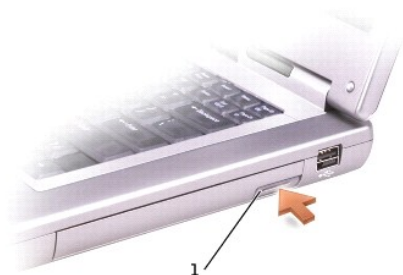
お使いのコンピュータには、出荷時にオプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

 **メモ:** セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

デバイスネジが取り付けられていない場合

➡ **注意:** デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管します。上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

1. デバイスリリースラッチを押します。



1 デバイスリリースラッチ

2. デバイスをモジュールベイから取り出します。



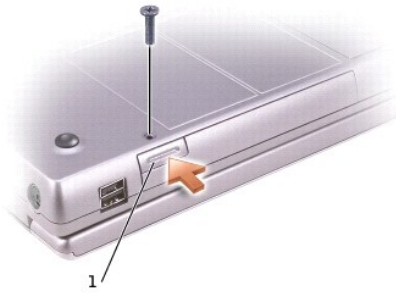
3. 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込みます。

デバイスネジが取り付けられている場合

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの取り扱いについては、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

➡ **注意:** デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管します。上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3. ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。
4. 1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。
5. デバイスリリースラッチを押します。



1 デバイスリリースラッチ

6. デバイスをモジュールベイから取り出します。



注意: デバイスをモジュールベイに取り付けてから、コンピュータをドッキングデバイスに接続したり、コンピュータの電源を入れます。

7. 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込みます。
8. ドライブネジを取り付けます。
9. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け

メモ: デバイスネジを取り付けていない場合、コンピュータが動作していて、ドッキングデバイスに接続されている間でも、デバイスを取り外したり、取り付けることができます。

お使いのコンピュータには、出荷時に光学ドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、光学ドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

メモ: セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

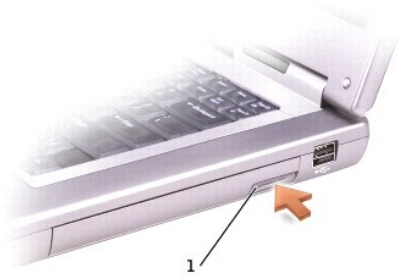
デバイスネジが取り付けられていない場合

Microsoft® Windows® XP

1. タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外すデバイスをクリックします。

注意: デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管します。上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3. デバイスリリースラッチを押します。



1 デバイスリリースラッチ

4. デバイスをモジュールベイから取り出します。



5. 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込みます。

Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。

6. 必要に応じて、パスワードを入力して、コンピュータのロックを解除します。

Windows 2000

1. タスクバーにある **ハードウェアの取り外しまたは取り出し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。
3. デバイスリリースラッチを押します。



1 デバイスリリースラッチ

4. デバイスをベイから取り出します。



5. 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込みます。
6. Windows オペレーティングシステムが新しいデバイスを認識したら、**閉じる** をクリックします。

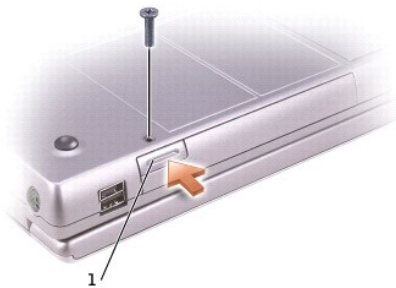
デバイスネジが取り付けられている場合

Windows XP

1. タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外すデバイスをクリックします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの取り扱いについては、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意： デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管します。上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

4. 1 番のプラスドライバーを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。
5. デバイスリリースラッチを押します。



1 デバイスリリースラッチ

6. デバイスをモジュールベイから取り出します。



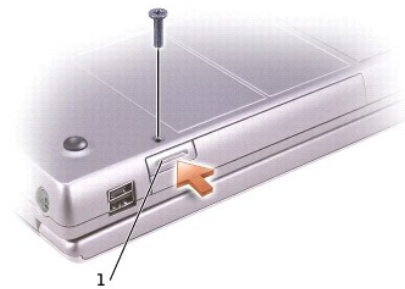
7. 新しいデバイスをベイに挿入し、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込んでから、ネジを取り付けなおします。

Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。

8. 必要に応じて、パスワードを入力して、コンピュータのロックを解除します。

Windows 2000

1. タスクバーにある **ハードウェアの取り外しまたは取り出し** アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。
3. 1 番のプラスドライバーを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。
4. デバイスリリースラッチを押します。



1	デバイスリリースラッチ
---	-------------



5. デバイスをモジュールベイから取り出します。
6. 新しいデバイスをベイに挿入し、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込んでから、ネジを取り付けなおします。
7. Windows オペレーティングシステムが新しいデバイスを認識したら、**閉じる** をクリックします。

CD または DVD トレイの使い方

注意: ドライブのトレイを開閉するときは、トレイを押し下げないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。

注意: CD または DVD を再生しているときは、コンピュータを動かさないでください。

1. ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
2. トレイを引き出します。
3. トレイの中央に、ラベルの付いている面を上にしてディスクを置きます。
4. ディスクを回転軸にきちんとはめ込みます。



1	取り出しボタン
---	---------

5. トレイをドライブに押し戻します。

メモ: 別のコンピュータに付属しているモジュールベイをお使いの場合、DVD の再生やデータの書き込みに必要なドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、『Drivers and Utilities CD』を参照してください。

お使いのコンピュータと一緒に DVD ドライブ、または CD-RW/DVD コンボドライブをご購入された場合、お使いのコンピュータで DVD が再生できます。お使いのコンピュータと一緒に CD-RW または CD-RW/DVD コンボドライブをご購入された場合、お使いのコンピュータで空の CD にデータを書き込むことができます。


CD または映画の再生に関する詳細については、CD プレーヤーまたは DVD プレーヤーの **ヘルプ** をクリックしてください（利用可能な場合）。

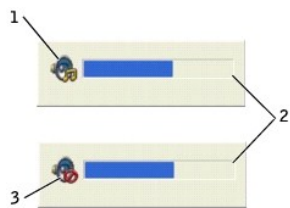
ボリュームの調整

メモ: スピーカーが無音（ミュート）に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**（または **プログラム**）→ **アクセサリ** → **エンターテインメント**（または **マルチメディア**）とポイントして、**ボリュームコントロール** をクリックします。
2. **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールオプションの詳細については、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

音量メーター にミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーにある  アイコンを右クリックするか、**ボリュームコントロールボタン** をクリックして、画面上の **音量メーター** を有効または無効にします。



1	ボリュームアイコン
2	音量メーター
3	ミュートアイコン


メモ: デフォルトで、**音量メーター** は画面上の右下角に表示されます。メーターを新しい場所にクリックしたままドラッグして移動できます。それ以降、メーターは新しい場所に常に表示されます。

メーターが有効の場合、音量を調整するにはボリュームコントロールボタンを使うか、次のキーを押します。

1 ボリュームを上げるには、**Fn** **Page Up** を押します。

1 ボリュームを下げるには、**Fn** **Page Dn** を押します。

1 ミュートするには、**Fn** **End** を押します。

QuickSet の詳細については、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示された場合、画面のプロパティで画像設定を調整します。

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
4. **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** の設定を **1280 × 800 ピクセル** に変更します。
5. **画面の色** のドロップダウンメニューをクリックして、**中 (16 ビット)** をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **画面** アイコンをダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。
3. **画面の領域** にあるつまみをスライドして、設定を **1280 × 800 ピクセル** に変更します。
4. **色** のドロップダウンメニューをクリックして、**High Color (16 ビット)** をクリックします。
5. **適用** をクリックします。
6. **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

コンピュータのクリーニング

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

1. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が切れていることを確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
3. [取り付けられているすべてのバッテリーを取り外して](#)、AC アダプタを外します。

注意: ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

4. 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
5. コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。
6. コンピュータスタンドが取り付けられている場合、コンピュータスタンドを取り外します。

警告: 感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

7. コンピュータカバーを開きます。

注意: コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を逃がしてください。

コンピュータ、キーボード、ディスプレイ画面

1. 掃除機のブラシを慎重に使用して、コンピュータのスロット部分や穴の開いている部分、およびキーボード上の間のゴミを取り除きます。

注意: コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。LCD 専用のクリーニング用品のみをお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

1. 水、または LCD 用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でディスプレイをきれいになるまで拭きます。

注意: モニター画面を石鹸またはアルコール溶液で拭かないでください。反射防止コーティングが損傷する恐れがあります。

1. 水、または LCD 用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でコンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出て、タッチパッドやパームレストに染み込まないようにしてください。

1. モニター画面をクリーニングするには、水で軽く湿らした柔らかくて清潔な布を使います。可能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの静電気防止コーティング用の溶液をお使いください。

1. キーボード、コンピュータ、およびモニターのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を 3 対 1 の割合で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかくて清潔な布を使って拭きます。頑固な汚れは、イソプロピルアルコールを軽く含ませた布で拭きます。

布を溶液に浸さないようにしてください。また、コンピュータやキーボードの内部に溶液が入らないようにしてください。

タッチパッド

1. コンピュータをシャットダウンして電源を切ります。取り付けられているすべてのデバイスを取り外し、コンセントから抜きます。
2. [取り付けられているすべてのバッテリーを取り外して](#)、AC アダプタを外します。
3. 水で湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストに染み込まないようにしてください。

オプティカルメディア

CD および DVD

注意: ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質の低下がみられる場合、ディスクを掃除してみます。


1. ディスクの外側の縁をお持ちください。中央の穴の縁にも触ることができます。

注意: 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

2. 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れは、水、または石鹸を薄めた水を使用します。ディスクの汚れを落とす、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

3. コンピュータカバーを閉じます。
4. コンピュータスタンドを取り付けます (オプション)。

 **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

5. コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合](#)
- [Dell Diagnostics（診断）プログラムの特徴](#)
- [Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動](#)

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータの主要コンポーネントやデバイスが正しく機能しない場合、コンポーネントが故障している可能性があります。Dell™ コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「[問題の解決](#)」にあるチェック事項を実行し、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行すると、デルテクニカルサポートにお問い合わせにならなくても、ご自分で問題を解決することができます。

コンピュータに関する詳しい知識をお持ちで、どのコンポーネントをテストする必要があるかお分かりの場合は、該当するテストグループまたはサブテストを選択してください。どのように Diagnostics（診断）テストを始めたらいかが分からない場合、「[Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動](#)」を参照してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムの特徴

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、専用装置を使用したり、データを破壊する心配もなく、コンピュータのハードウェアを調べることができます。Diagnostics（診断）テストプログラムを使用することで、お使いのコンピュータの動作がより確かなものになります。また、ご自身で解決できない問題の場合、Diagnostics（診断）テストの結果は、デルにお問い合わせになった際にデルのサポート担当者に重要な情報を提供します。

- **注意：** Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ専用です。その他のコンピュータでこのプログラムを使用すると、コンピュータに間違った結果や、エラーメッセージが表示されることがあります。

また、Diagnostics（診断）テストグループやサブテストには、以下の特徴があります。


- 1 つまたはすべてのデバイスのエクспレステスト、全体テスト、またはカスタムテストを実行できるオプション
- 1 起きている問題の症状に基づいたテストを選択できるオプション
- 1 テストグループまたはサブテストを繰り返す回数の指定が可能なオプション
- 1 テスト結果を表示する機能
- 1 エラーが検出された場合にテストを一時的に中断するオプション、または最大エラー数に達したときにテストを終了するオプション
- 1 テストとデバイスについて説明したオンラインヘルプ画面
- 1 テストグループまたはサブテストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージの表示
- 1 問題が検出した場合にエラーメッセージを表示



Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブ上の非表示 Diagnostics（診断）ユーティリティパーティションにあります。

- **メモ：** コンピュータに画面が表示されない場合、[デルにお問い合わせください](#)。


1. コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの取り扱いについては、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。

- **メモ：** 画面に何も映らない場合、ミュートボタンを押したまま、電源ボタンを押して（F12 の代わりに）、Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。Diagnostics をハイライト表示されている必要はなく、 を押します。コンピュータは自動的に起動前システムアセスメントを実行します。

4. コンピュータの電源を入れます。DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに  を押します。ここで時間をおきすぎて Microsoft® Windows® ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
5. 起動デバイスの一覧が表示された場合、Diagnostics をハイライト表示して、 を押します。

コンピュータが起動前システムアセスメントを実行し始め、内蔵された一連の Diagnostics（診断）プログラムが、システム基板、キーボード、ハードドライブ、およびディスプレイの初期テストを実行します。

- 1 このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。

- 1 コンポーネントの障害が検出された場合、コンピュータは停止し、ピープ音を発します。システムの評価を止め、オペレーティングシステムを再起動するには、 を押します。次の

テストを続けるには、 を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、 を押します。

- 1 起動前システムアセスメント中に障害が検出された場合、エラーコードが表示されます。Dell Diagnostics (診断) プログラムを続ける前に、[ヘルプにお問い合わせください](#)。

- 1 Diagnostics (診断) ユーティリティパーティションが検出されませんでしたというメッセージが表示された場合、『Drivers and Utilities CD』から画面に表示された手順に従って、Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue. (Dell Diagnostics (診断) ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。) というメッセージが表示されます。

- 6 任意のキーを押して、ハードドライブ上の Diagnostics (診断) ユーティリティパーティションから Dell Diagnostics (診断) プログラムを起動します。
- 7 Dell Diagnostics (診断) プログラムのロードが終了し、Main Menu 画面が表示されたら、適切なオプションのボタンをクリックします。

 **メモ:** お使いのコンピュータのサービスタグは、各画面のタイトルバーにあります。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ~ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定することができます。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	問題の症状に基づいたテストを選択することができます。最も一般的な症状を一覧表示します。

- 8 テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。エラーが解決できない場合、[ヘルプにお問い合わせください](#)。
- 9 Custom Test または Symptom Tree オプションからテストを実行する場合、該当するタブをクリックします (詳細については、以下の表を参照)。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics (診断) プログラムは、 セットアップユーティリティ 、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 10 テストが終了したら、画面を閉じて、Main Menu 画面に戻ります。Dell Diagnostics (診断) プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、Main Menu 画面を閉じます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)


ディスプレイの使い方

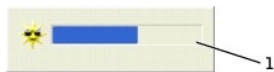
Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [輝度の調節](#)
- [画面モードの操作](#)
- [画面解像度の設定](#)


輝度の調節


Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、該当するディスプレイの[キーボードショートカット](#)を使って、輝度を快適に使用できる最低の設定にして、節電することができます。

Dell QuickSet **輝度メーター** は、現在の輝度の設定をディスプレイに表示します。タスクバーにある  アイコンを右クリックして、画面上の **輝度メーター** を有効または無効にします。



1 輝度メーター

 **メモ:** デフォルトで、**輝度メーター** は、画面の右下角に表示されます。メーターをクリックしたままドラッグして新しい場所に移動できます。それ以降、メーターは新しい場所に常に表示されません。

 **メモ:** 輝度のキーボードショートカットは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみ適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターには影響はありません。お使いのコンピュータが CRT モードのみに設定されていて、輝度レベルを変更しようとする、**輝度メーター** が表示されますが、モニターの輝度レベルは変更しません。

QuickSet のタスクバーメニューから **輝度メーター** を有効または無効にできます。メーターが有効の場合、以下のキーを押して輝度を調節します。

- 1 内蔵ディスプレイの輝度を上げるには、  を押します（外付けモニターには適用されません）。
- 1 内蔵ディスプレイの輝度を下げるには、  を押します（外付けモニターには適用されません）。

QuickSet の詳細については、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

画面モードの操作


外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、ディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

  を押すと、画面モードの表示を内蔵ディスプレイのみ、内蔵ディスプレイと外付け CRT モニターの同時表示、外付け CRT モニターのみ、内蔵ディスプレイと外付け DVI モニターの同時表示、外付け DVI モニターのみ、切り換えることができます。

画面解像度の設定

特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオコントローラとディスプレイの両方がそのプログラムをサポートしていて、さらに必要な[ビデオドライバがインストールされていなければならない](#)。

デフォルトのディスプレイ設定を変更する前に、あとで参照できるようその設定を控えておいてください。

 **メモ:** プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。プリインストールされているオペレーティングシステムには、これらのドライバを使うことをお勧めします。


画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、選択した設定に最も近いものに自動的に調節されます。

Microsoft® Windows® XP


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、変更する項目をクリックします。または **コントロールパネルを選んで実行します** で、**画面** をクリックします。
- 4 **画面の色** および **画面の解像度** で別の設定にしてみます。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **画面** アイコンをダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。
3. **色** および **画面の領域** で別の設定にしてみます。

 **メモ:** 解像度を上げると、画面上でより小さいアイコンやテキストが表示されます。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータ画面は**パンモード**に入ります。パンモードでは、画面が完全に表示されないことがあります。たとえば、通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。画面の見えない部分を表示するには、タッチパッドまたはトラックスティックを使って、カーソルを画面の上下左右の端に動かします。

 **注意:** リフレッシュレートをサポートしていない外付けモニターを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニターのリフレッシュレートを調整する前に、モニターのユーザーズガイドを参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ソフトウェアの再インストール

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [ドライバおよびユーティリティの再インストール](#)
- [ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決](#)
- [Microsoft® Windows® システムの復元の使い方](#)
- [Microsoft® Windows® XP の再インストール](#)
- [Windows 2000 の再インストール](#)

ドライバおよびユーティリティの再インストール

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがプリインストールされているので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

- **注意:** 『Drivers and Utilities CD』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも収録されている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。


ワイヤレス通信および DVD ドライブなどオプションのデバイスのドライバを再インストールするには、これらのデバイスに付属している CD およびマニュアルが必要になる場合があります。

- **注意:** デルサポートウェブサイト support.jp.dell.com、および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

『Drivers and Utilities CD』からドライバやユーティリティを再インストールするには、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合、Microsoft® Windows® エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に autorcd.exe ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。OK をクリックして、画面の指示に従って続行します。

3. ツールバーの  ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティのご希望の言語 (利用可能な場合) を選択します。

Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます。画面が表示されます。

4. **次へ** をクリックします。CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。

CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。検索基準で、システムモデル、オペレーティングシステム、およびトピックのドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

5. 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。
6. **インストール** ボタン (表示されている場合) をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。ようこそ画面で、画面の指示に従いインストールを完了します。

インストール ボタンが表示されない場合、自動インストールは選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解凍** をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで CD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

Windows XP 用のドライバの手動再インストール

- **メモ:** 赤外線センサードライバを再インストールする場合、まずはセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから、ドライバのインストールを続行します。

1. 前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍し、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. インストールするドライバのデバイスタイプをダブルクリックします (たとえば、**モデム** または **赤外線デバイス**)。
5. デバイスの名前をダブルクリックします。
6. **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
7. **一覧または特定の場所からインストールする (詳細)** を選んでから、**次へ** をクリックします。
8. **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍した場所を確認します。
9. 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
10. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。


Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにデバイスドライバをインストールしてシステムが不安定になった場合、Windows XP デバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。ドライバのロールバックで以前のドライバを再インストールできない場合は、[システムの復元](#)を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作

状態に戻してみます。デバイスドライバのロールバックを使うには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. **デバイスマネージャ** ウィンドウで、新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
5. **ドライバ** タブをクリックします。
6. **ドライバのロールバック** をクリックします。

Windows 2000 用のドライバの手動再インストール

 **メモ:** 赤外線ドライバを再インストールする場合、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから、ドライバのインストールを続行します。

1. 前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍して、**スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャ** をクリックします。
5. インストールするドライバのデバイスタイプをダブルクリックします（たとえば、**モデム** または **赤外線デバイス**）。
6. デバイスの名前をダブルクリックします。
7. **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
8. **次へ** をクリックします。
9. **デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)** が選択されていることを確認してから、**次へ** をクリックします。
10. **場所を指定** チェックボックスにチェックマークを付け、その他のすべてのチェックボックスのチェックを外してから、**次へ** をクリックします。
11. **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍していた場所を確認します。
12. 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
13. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決

Microsoft® Windows® XP および Windows 2000 オペレーティングシステムでは、オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合、IRQ コンフリクトが発生しています。お使いのコンピュータの IRQ コンフリクトを調べるには、お使いのオペレーティングシステムに該当する以下の項を参照してください。

Windows XP

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックして、**システム** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. **デバイスマネージャ** 一覧で、その他のデバイスとのコンフリクトを調べます。

コンフリクトの起きているデバイスの横には、黄色の感嘆符 (!) が付いているので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

5. コンフリクトの起きているデバイスのどれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを開きます。そして、**デバイスマネージャ** から再設定または削除する必要があるものは何かを決定します。
6. 特定のデバイスを調べる前に、これらのコンフリクトを解消します。
7. **デバイスマネージャ** の一覧から誤動作しているデバイスをダブルクリックします。
8. 一覧を展開していき、特定のデバイスのアイコンをダブルクリックします。

プロパティ ウィンドウが表示されます。

IRQ コンフリクトが起きている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、その他のどのデバイスがそのデバイスの IRQ を共有しているかを示します。

9. IRQ コンフリクトを解消します。

Windows 2000

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャ** をクリックします。
5. **表示** をクリックして、**リソース (接続別)** をクリックします。
6. **割り込み番号 (IRQ)** をダブルクリックして、IRQ の割り当てを表示します。

コンフリクトの起きているデバイスの横には、黄色の感嘆符 (!) が付いているので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合は、デバイスが無効になっています。

7. コンフリクトの起こっているデバイスのどれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを開きます。そして、デバイスマネージャから再設定または削除する必要があるものは何かを決定します。特定のデバイスを調べる前に、これらのコンフリクトを解消します。
8. **デバイスマネージャ** 一覧から誤動作しているデバイスをダブルクリックします。
9. 一覧を展開していき、特定のデバイスのアイコンをダブルクリックします。

プロパティ ウィンドウが表示されます。

IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、他のどのデバイスがそのデバイスの IRQ を共有しているかを示します。

10. IRQ コンフリクトを解消します。

Windows 2000 のハードウェアに関するトラブルシューティングを使用することもできます。トラブルシューティングを使用するには、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプ** をクリックします。目次タブの **トラブルシューティングと保守** をクリックし、Windows 2000 **に関するトラブルシューティング** をクリックして、**ハードウェア** をクリックします。ハードウェアに関するトラブルシューティング一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決する必要があります** をクリックして、**次へ** をクリックします。


Microsoft® Windows® システムの復元の使い方

コンピュータのハードウェアまたはソフトウェア（新しいハードウェアの取り付けまたはプログラムのインストールを含む）、またはシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元機能を使用してコンピュータを以前の動作状態に復元することができます。また、最後の**システムの復元**を元に戻すこともできます。

システムの復元は、自動的にシステムのチェックポイントを作成します。**復元ポイント**を作成して、独自のチェックポイントを手動で作成することもできます。使用するハードディスクの容量を制限するため、古い復元ポイントは自動的に削除されます。

オペレーティングシステムの問題を解決するには、セーフモードまたは通常モードからシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に戻すことができます。

システムの復元では、コンピュータを前の動作状態に復元した後でも、**マイドキュメント** フォルダに保存されている個人ファイル、データファイル、または E メールメッセージが失われることはありません。プログラムをインストールする前の動作状態にコンピュータを復元する場合は、プログラムのデータファイルは失われませんが、そのプログラムを再インストールする必要があります。

 **注意：** データファイルのバックアップを定期的作成することは重要です。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。ハードディスクにある元のデータを誤って消去したり、上書きした場合、またはハードディスクの故障により元のデータにアクセスできなくなった場合は、失われたデータや損傷したデータの復元にはバックアップファイルを使用してください。

新しいコンピュータでは、システムの復元は有効に設定されています。ただし、空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元を使用する前に、システムの復元が有効になっているか確認します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムの復元** タブをクリックします。
5. **すべてのドライバでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

復元ポイントの作成

Windows XP では、システムの復元ウィザードを使うか、手動で復元ポイントを作成します。

システムの復元ウィザードの使い方


システムの復元ウィザードを使用するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**システムの復元** をクリックします。次に、**システムの復元ウィザード** ウィンドウの指示に従います。コンピュータの管理者または管理者権限を持つユーザーとしてログオンする場合、復元ポイントを作成して名前を付けることができます。

復元ポイントの作成

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントして、**システムの復元** をクリックします。
2. **復元ポイントの作成** をクリックします。
3. **次へ** をクリックします。
4. **復元ポイントの説明** フィールドに新しい復元ポイントの名前を入力します。
現在の日付と時刻が新しい復元ポイントの説明に自動的に追加されます。
5. **作成** をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバをインストール後に問題が発生した場合、まず **デバイスドライバのロールバック** を使用してみます。デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用します。

 **注意：** コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、ファイルまたはプログラムを変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントして、**システムの復元** をクリックします。
2. **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
3. コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを確認して選択できるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

4. 復元ポイントを選んで、**次へ** をクリックします。

カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。複数の復元ポイントがある場合、使用したい復元ポイントをクリックします。

注意： 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、ファイルまたはプログラムを変更したり、開いたり、削除しないでください。

5. **次へ** をクリックします。

Windows XP では、システムの復元によるデータの収集が完了したら **復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

6. コンピュータが再起動したら、OK をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意： 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、ファイルまたはプログラムを変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントして、**システムの復元** をクリックします。

2. **以前の復元を取り消す** を選んで、**次へ** をクリックします。

3. **次へ** をクリックします。

システムの復元 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

4. コンピュータが再起動したら、OK をクリックします。

Microsoft® Windows® XP の再インストール

再インストールする前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、Windows XP の [デバイスドライバのロールバック](#) を試してみます。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、[システムの復元](#) を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項にあるすべての手順を記載されている順番に実行します。

再インストール処理を完了するには、1 ~ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムの再インストールが完了したら、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意： 『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストール用のオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性がありますので、デルのテクニカルサポート担当者が指示しない限り、Windows XP は再インストールしないでください。

注意： Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

オペレーティングシステム CD からの起動

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。プログラムが自動的に開始された場合、作業を進める前にプログラムを閉じます。
3. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、コンピュータを再起動します。

4. DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに を押します。

オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ってから、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

5. 矢印キーを使って CD-ROM を選び、 を押します。


6. 画面に Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。


Windows XP のセットアップ

1. Windows XP **セットアップの開始** 画面が表示されたら、 を押して続行します。


2. Microsoft Windows **ライセンス契約** 画面の内容を読み、キーボードの を押して、使用許諾契約書に同意します。


3. お使いのコンピュータにすでに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合、**r** と入力して修復オプションを選び、ドライブから CD を取り出します。

4. 新たに Windows XP をインストールする場合、 を押してオプションを選択します。

5.  を押して、ハイライトされたパーティション（推奨）を選び、画面の指示に従います。

Windows XP **セットアップ** 画面が表示され、オペレーティングシステムは、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータは自動的に数回再起動します。

 **メモ:** ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は変わります。


 **注意:** Press any key to boot from CD. というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

6. **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、お住まいの地域の設定を選び、**次へ** をクリックします。
7. **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名（オプション）を入力して、**次へ** をクリックします。
8. **Windows XP Home Edition を再インストールする場合、コンピュータ名は何ですか?** ウィンドウが表示されたら、コンピュータ名を入力（または記載されている名前を承認）して、**次へ** をクリックします。

Windows XP Professional を再インストールする場合、コンピュータ名と Administrator ウィンドウが表示されたら、コンピュータ名（または記載されている名前を承認）およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。

9. **モデムのダイヤル情報** 画面が表示された場合、必要な情報を入力して、**次へ** をクリックします。
10. **日付と時間の設定** ウィンドウに日付と時間を入力して、**次へ** をクリックします。
11. **ネットワークの設定** 画面が表示された場合、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。
12. Windows XP Professional を再インストールしている場合、ネットワーク設定に関する情報が求められることがあります。該当するものを選びます。設定がわからない場合、デフォルトの選択肢を選びます。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールして、コンピュータを設定します。コンピュータは自動的に再起動されます。


 **注意:** Press any key to boot from CD というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないで下さい。

13. Microsoft Windows **へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
14. **インターネットに接続する方法を指定してください** というメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。
15. Microsoft **にユーザー登録する準備はできましたか?** の画面が表示されたら、いいえ、**今回はユーザー登録しません** を選び、**次へ** をクリックします。
16. **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** の画面が表示されたら、5 名までユーザーを入力できます。**次へ** をクリックします。
17. **完了** をクリックしてセットアップを完了し、ドライブから CD を取り出します。

ドライバおよびソフトウェアの再インストール


1. **適切なドライバを再インストールします。**
2. アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。
3. その他のソフトウェアプログラムを再インストールします。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

Windows 2000 の再インストール

 **注意:** 『オペレーティングシステム CD』は、Windows 2000 オペレーティングシステムの再インストール用オプションを提供しています。これらのオプションは、デルでプリインストールしているファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性がありますので、デルのテクニカルサポート担当者が指示しない限り、オペレーティングシステムを再インストールしないでください。

オペレーティングシステム CD からの起動


1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。プログラムが自動的に開始された場合、作業を進める前にプログラムを閉じます。
3. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、コンピュータを再起動します。




4. DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに  を押します。

オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ってから、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

5. 矢印キーを使って CD-ROM を選び、 を押します。
6. 画面に Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

Windows 2000 セットアップ

1. Windows 2000 **セットアップ** ウィンドウが表示されたら、Windows 2000 の**セットアップを開始するには ENTER キーを押してください。** がハイライト表示されていることを確認して、 を押します。

2. **ライセンス契約** ウィンドウの内容を読み、 を押して続行します。
3. **Windows 2000 Professional セットアップ** ウィンドウが表示されたら、矢印キーを使って Windows 2000 パーティションオプションを選択します。選択したパーティションで任意のキーを押します。
4. **Windows 2000 Professional セットアップ** ウィンドウが再度表示されたら、矢印キーを使って Windows 2000 で使用するファイルシステムを選択して、 キーを押します。
5.  を押して、コンピュータを再起動します。
6. **Windows 2000 セットアップウィザードの開始** ウィンドウが表示されたら、**次へ** をクリックします。
7. **地域** ウィンドウが表示されたら、お住まいの地域を選び、**次へ** をクリックします。
8. **ソフトウェアの個人用設定** ウィンドウで、お名前と会社名を入力してから、**次へ** をクリックします。
9. Windows Product Key (プロダクトキー) の入力画面が表示されたら、コンピュータにある Microsoft ラベルの Product Key (プロダクトキー) を入力します。**次へ** をクリックします。
10. **コンピュータ名と Administrator のパスワード** ウィンドウが表示されます。設定が必要な場合は、お使いのコンピュータ名とパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。
11. **日付と時間の設定** ウィンドウに、日付と時間を入力して、**次へ** をクリックします。

Windows 2000 がコンポーネントのインストールとコンピュータの設定を開始します。
12. **Windows 2000 セットアップウィザードの完了** ウィンドウが表示されたら、ドライブから CD を取り出して、**完了** をクリックします。

コンピュータは自動的に再起動されます。

休止状態モードを有効にする

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **電源オプション** アイコンをダブルクリックします。
3. **休止状態** タブをクリックします。
4. **休止状態をサポートする** が選択されていることを確認して、**適用** をクリックします。
5. **OK** をクリックして、コントロールパネルを閉じます。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

情報の検索

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [安全にお使いいただくために](#)
- [マニュアルのアップデート](#)
- [Microsoft® Windows® の使い方](#)
- [デバイスの使い方](#)
- [Dell™ Drivers and Utilities CD の使い方](#)
- [問題を解決するには](#)
- [部品の取り付け](#)

安全にお使いいただくために

 **警告:** お使いのコンピュータを安全にお取り扱いいただくための注意、および静電気障害への対処については、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

マニュアルのアップデート

コンピュータやソフトウェアの変更内容を説明するマニュアルのアップデートがコンピュータに添付されていることがあります。アップデートには最新情報が記載されていますので、他のマニュアルをご覧になる前に、必ずこれらの最新情報をお読みください。

Readme ファイルはハードドライブにインストールされていたり、『Drivers and Utilities CD』などの CD に収録されていることがあります。コンピュータへの技術的な変更、および経験豊富なユーザーや技術者向けの詳細な技術情報に関する最新情報が提供されています。

Microsoft® Windows® の使い方

Windows ヘルプ

お使いのオペレーティングシステムの使い方について、オンラインで詳しく説明しています。

- 1 [Windows XP の場合](#)、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。詳細については、「[Microsoft® Windows® XP の使い方](#)」を参照してください。
- 1 [Windows 2000 の場合](#)、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプ** をクリックします。

Microsoft Windows ガイド

Windows オペレーティングシステムの使い方については、コンピュータに付属している Windows のマニュアルを参照してください。

デバイスの使い方

デバイスのユーザーズガイド

お使いのコンピュータのデバイス（モDEMなど）、およびコンピュータとは別に購入したオプション製品の使い方のヘルプについては、デバイスのユーザーズガイドを参照してください。

- 1 [Windows XP の場合](#)、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。**ヘルプとサポート** ウィンドウで、**ユーザーズガイド** および **システムガイド** をクリックします。
- 1 [Windows 2000 の場合](#)、**スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** をポイントして、**ユーザーズガイド** をクリックします。

Dell™ Drivers and Utilities CD の使い方

『Drivers and Utilities CD』には、コンピュータおよびオプションのデバイス用のドライバおよびユーティリティ、Dell Diagnostics（診断）プログラム、およびユーザーズガイドが収録されています。お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがプリインストールされているので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。ドライバやユーティリティを再インストールしたり、コンピュータの診断プログラムを実行したり、またはユーザーズガイドにアクセスする必要がある場合、『Drivers and Utilities CD』をお使いください。「[ソフトウェアの再インストール](#)」および「[Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方](#)」を参照してください。

問題を解決するには

コンピュータの問題の解決に関するヘルプについては、「[問題の解決](#)」および「[Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方](#)」を参照してください。

Microsoft Windows ガイド

トラブルシューティングについては、コンピュータに付属している Windows のマニュアルを参照してください。

デルサポート

ご質問に対するオンラインサポート、ドライバのアップデート、および問題の解決をお急ぎの場合、support.jp.dell.com でデルサポートにアクセスしてください。

部品の取り付け

コンピュータへの部品の拡張および交換の手順については、「[部品の拡張および交換](#)」を参照してください。

コンピュータの部品とアセンブリ、およびそれらの取り付けと取り外し方法の詳細については、support.jp.dell.com でコンピュータの『サービスマニュアル』を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

困ったときは

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [テクニカルサポート](#)
- [ご注文に関する問題](#)
- [製品情報](#)
- [保証期間中の修理と返品について](#)
- [お問い合わせになる前に](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)

テクニカルサポート

技術上の問題のサポートを受けなければならないときは、以下の手順に従います。

⚠ 警告: コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずすべてのコンセントからコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルを取り外します。

1. 「[問題の解決](#)」の手順を完了します。
2. [Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)を実行します。
3. [Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)を印刷して、それに記入します。
4. インストールとトラブルシューティングの手順に関しては、デルサポート (support.jp.dell.com) をご覧ください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。

メモ: デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。テクニカルサポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

メモ: デルエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンスシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコード (8 桁から 11 桁までの全桁数字のみの番号) は、コンピュータの前面、背面、または側面に貼られているシールに、サービスタグナンバー (5 桁もしくは 7 桁までの英数字混合の番号) と共に記載されています (コンピュータの正面パネルの内側に貼られている機種もあります)。

テクニカルサポートサービスの利用方法については、「[テクニカルサポートサービス](#)」を参照してください。

メモ: これらのサービスは必ずしもアメリカ本土以外でご利用できるとは限りません。サービスに関する情報は、お近くのデル担当者へお問い合わせください。

オンラインサービス

デルサポートへは、support.jp.dell.com でアクセスすることができます。[サポートサイトへようこそ](#) ページから、サポートツール、情報などをお選びください。

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

1. World Wide Web
www.dell.com/jp/ (日本)
www.dell.com/ap/ (アジア / 太平洋諸国のみ)
[www.euro.dell.com.](http://www.euro.dell.com/) (ヨーロッパのみ)
www.dell.com/la/ (ラテンアメリカ諸国のみ)

ファックス情報サービス

ファックス情報サービスは、フリーコールでファクシミリを使用して技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。テクニカル情報が指定したファックス番号宛に送信されます。ファックス情報サービスの電話番号については、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、support.jp.dell.com にアクセスするか、または、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。電話番号については、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

テクニカルサポートサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルテクニカルサポートをご利用ください。

テクニカルサポートに電話をおかけになると、サポートスタッフがお問い合わせ内容の確認のために、ご使用のシステムの詳細をお聞きすることがあります。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

テクニカルサポートにお問い合わせになる場合、まず「[テクニカルサポート](#)」を参照してから、「[デルへのお問い合わせ](#)」に記載されているお住まいの地域の番号にご連絡ください。

ご注文に関する問題

欠損品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号については、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご購入される場合は、デルウェブサイト www.dell.com/jp/ をご覧ください。電話で販売担当者と話をされたいときは、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

コンピュータに付属している冊子を参照してください。


お問い合わせになる前に

必ず [Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#) に記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

テクニカルサポートをご利用の際は、製品本体のラベルに記載されているエクスプレスサービスコードまたはサービスタグナンバーが必要になります。電話をおかけいただく、エクスプレスサービスコードを自動音声でお伺いします。エクスプレスサービスコードをもとにお客様の情報を確認し、デル担当者に電話をお継ぎいたします。

エクスプレスサービスコードは、サービスタグナンバーを全桁数字に変換したデル製品の固有の管理番号です。製品本体のラベルに 8 桁から 11 桁までの数字のみの番号で記載されています。エクスプレスサービスコードが本体にない製品をお持ちのお客様のために、デルウェブサポートページで * 変換ツールをご用意しております。
* 変換ツール...サービスタグナンバーをエクスプレスサービスコードに変換するツール

サービスタグナンバーは、英数字混合の 5 桁もしくは 7 桁のデル製品の固有の管理番号です。サービスタグナンバーでもテクニカルサポートをご利用いただけますが、デルウェブサポートページで変換したエクスプレスサービスコードをご用意の上、お電話いただくことをお勧めいたします。

 **警告:** コンピュータ内部の作業をする前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

Diagnostics (診断) チェックリスト
名前:
日付:
住所:
電話番号:
サービスタグ (コンピュータ背面のバーコード):
エクスプレスサービスコード:
返品番号 (デルサポート担当者から提供された場合):
オペレーティングシステムとバージョン:
周辺機器:
拡張カード:
ネットワークに接続されていますか? はい いいえ
ネットワーク、バージョン、およびネットワークアダプタ:
プログラムとバージョン:
システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。
エラーメッセージ、ビーコード、または Diagnostics (診断) コード:
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順:

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- 1 www.dell.com/jp
- 1 support.jp.dell.com (テクニカルサポート)

メモ: フリーコール番号は、その番号が記載されている国でのみ使用できます。

デルへお問い合わせになるときは、各国のデルの電話番号、Eメールアドレスをまとめた次の表を参照してください。どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国(都市) 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名またはサービス内容 ウェブサイトおよび Eメールアドレス	市外局番 市内番号または フリーコール
日本(川崎) 国際電話アクセスコード:001 国番号:81 市外局番:44	ウェブサイト: support.jp.dell.com	
	テクニカルサポート (Dell Precision™ / OptiPlex™ / Latitude™)	フリーコール: 0120-198-433
	テクニカルサポート (海外から) (Dell Precision / OptiPlex / Latitude)	81-44-556-3894
	ファックス情報サービス	044-556-3490
	24時間納期案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部 (従業員数 400 人未満)	044-556-1465
	法人営業本部 (従業員数 400 人以上)	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部 (従業員数 3500 人以上)	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン 個人のお客様 代表	044-556-1760 044-556-4300
アンギラ	一般サポート	フリーコール: 800-335-0031
アンティグア・バーブーダー	一般サポート	1-800-805-5924
アルゼンチン (ブエノスアイレス) 国際電話アクセスコード:00 国番号:54 市外局番:11	ウェブサイト: www.dell.com.ar	
	テクニカルサポート、カスタマーケア	フリーコール: 0-800-444-0733
	セールス	0-810-444-3355
	テクニカルサポート Fax カスタマーケア Fax	11 4515 7139 11 4515 7138
アルーバ	一般サポート	フリーコール: 800-1578
オーストラリア (シドニー) 国際電話アクセスコード:0011 国番号:61 市外局番:2	Eメール (オーストラリア): au_tech_support@dell.com	
	Eメール (ニュージーランド): nz_tech_support@dell.com	
	Home / Small Business	1-300-65-55-33
	Government / Business	フリーコール: 1-800-633-559
	PAD (優先アカウント部門)	フリーコール: 1-800-060-889
	カスタマーケア	フリーコール: 1-800-819-339
	法人セールス	フリーコール: 1-800-808-385
	Dimension™ / Inspiron™ セールス Fax	フリーコール: 1-800-808-312 フリーコール: 1-800-818-341
オーストリア (ウィーン) 国際電話アクセスコード:900 国番号:43 市外局番:1	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
	Eメール: tech_support_central_europe@dell.com	
	Home / Small Business セールス	0820 240 530 00
	Home / Small Business Fax	0820 240 530 49
	Home / Small Business カスタマーケア	0820 240 530 14
	優先アカウント / 法人カスタマーケア	0820 240 530 16
	Home / Small Business テクニカルサポート	0820 240 530 14
	優先アカウント / 法人テクニカルサポート 代表	0660 8779 0820 240 530 00
バハマ	一般サポート	フリーコール: 1-866-278-6818
バルバドス	一般サポート	1-800-534-3066
ベルギー (ブリュッセル) 国際電話アクセスコード:00 国番号:32 市外局番:2	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
	Eメール: tech_be@dell.com	
	Eメール (フランス語用): support.euro.dell.com/be/fr/emaildell/	
	テクニカルサポート	02 481 92 88
	カスタマーケア	02 481 91 19
	法人セールス Fax	02 481 91 00 02 481 92 99

	代表	02 481 91 00
バミューダ	一般サポート	1-800-342-0671
ボリビア	一般サポート	フリーコール:800-10-0238
ブラジル	ウェブサイト: www.dell.com/br	
国際電話アクセスコード:00	カスタマーサポート、テクニカルサポート	0800 90 3355
国番号:55	テクニカルサポート Fax	51 481 5470
市外局番:51	カスタマーケア Fax	51 481 5480
	セールス	0800 90 3390
英国領バージン諸島	一般サポート	フリーコール: 1-866-278-6820
ブルネイ	カスタマーテクニカルサポート (マレーシア、ベナン)	604 633 4966
国番号:673	カスタマーサービス (マレーシア、ベナン)	604 633 4949
	Dimension / Inspiron セールス (マレーシア、ベナン)	604 633 4955
カナダ (オンタリオ州ノースヨーク)	オンラインオーダーステータス: www.dell.ca/ostatus	
国際電話アクセスコード:011	AutoTech (自動テクニカルサポート)	フリーコール:1-800-247-9362
	テクニカル Fax	フリーコール:1-800-950-1329
	カスタマーケア (Home / Small Business セールス)	フリーコール:1-800-847-4096
	カスタマーケア (中 / 大企業、政府機関)	フリーコール:1-800-326-9463
	テクニカルサポート (Home / Small Business セールス)	フリーコール:1-800-847-4096
	テクニカルサポート (中 / 大企業、政府機関)	フリーコール:1-800-387-5757
	セールス (Home / Small Business セールス)	フリーコール:1-800-387-5752
	セールス (中 / 大企業、政府機関)	フリーコール:1-800-387-5755
	交換部品販売および期間延長サービスセールス	1 866 440 3355
ケイマン諸島	一般サポート	1-800-805-7541
チリ(サンティアゴ)	セールス、カスタマーサポート、テクニカルサポート	フリーコール: 1230-020-4823
国番号:56		
市外局番:2		
中国 (廈門)	テクニカルサポートウェブサイト: support.ap.dell.com/china	
国番号:86	テクニカルサポート E メール: cn_support@dell.com	
市外局番:592	テクニカルサポート Fax	818 1350
	Home / Small Business テクニカルサポート	フリーコール:800 858 2437
	法人アカウントテクニカルサポート	フリーコール:800 858 2333
	カスタマーエクスペリエンス	フリーコール:800 858 2060
	Home / Small Business	フリーコール:800 858 2222
	優先アカウント部門	フリーコール:800 858 2062
	大口法人アカウント (GCP)	フリーコール:800 858 2055
	大口法人アカウント主要アカウント	フリーコール:800 858 2628
	大口法人アカウント (北部)	フリーコール:800 858 2999
	大口法人アカウント (North Government and Education)	フリーコール:800 858 2955
	大口法人アカウント (東部)	フリーコール:800 858 2020
	大口法人アカウント (East Government and Education)	フリーコール:800 858 2669
	大口法人アカウント (待機チーム)	フリーコール:800 858 2572
	大口法人アカウント (南部)	フリーコール:800 858 2355
	大口法人アカウント (西部)	フリーコール:800 858 2811
	大口法人アカウント (交換部品)	フリーコール:800 858 2621
コロンビア	一般サポート	980-9-15-3978
コスタリカ	一般サポート	0800-012-0435
チェコ共和国 (プラハ)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール: czech_dell@dell.com	
国番号:420	テクニカルサポート	02 2186 27 27
市外局番:2	カスタマーケア	02 2186 27 11
	Fax	02 2186 27 14
	テクニカル Fax	02 2186 27 28
	代表	02 2186 27 11
デンマーク (コペンハーゲン)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メールサポート (ノートブックコンピュータ): den_nbk_support@dell.com	
国番号:45	E メールサポート (デスクトップコンピュータ): den_support@dell.com	
	E メールサポート (サーバー): Nordic_server_support@dell.com	
	テクニカルサポート	7023 0182
	カスタマーケア (Dell Precision / OptiPlex / Latitude)	7023 0184
	Home / Small Business カスタマーケア	3287 5505
	代表 (Dell Precision / OptiPlex / Latitude)	3287 1200

	Fax 代表 (Dell Precision / OptiPlex / Latitude)	3287 1201
	代表 (Home / Small Business)	3287 5000
	Fax 代表 (Home / Small Business)	3287 5001
ドミニカ	一般サポート	フリーコール:1-866-278-6821
ドミニカ共和国	一般サポート	1-800-148-0530
エクアドル	一般サポート	フリーコール:999-119
エルサルバドル	一般サポート	01-899-753-0777
フィンランド (ヘルシンキ)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:990	E メール: fin_support@dell.com	
国番号:358	E メールサポート (サーバー): Nordic_support@dell.com	
市外局番:9	テクニカルサポート	09 253 313 60
	テクニカルサポート Fax	09 253 313 81
	Dell Precision / OptiPlex / Latitude カスタマーケア	09 253 313 38
	Home / Small Business カスタマーケア	09 693 791 94
	Fax	09 253 313 99
	代表	09 253 313 00
フランス (パリ) (モンペリエ)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール: support.euro.dell.com/fr/fr/emaildell/	
国番号:33	Home / Small Business 向け	
市外局番:(1) (4)	テクニカルサポート	0825 387 270
	カスタマーケア	0825 823 833
	代表	0825 004 700
	代表 (フランス国外からの場合)	04 99 75 40 00
	セールス	0825 004 700
	Fax	0825 004 701
	Fax (フランス国外からの場合)	04 99 75 40 01
	法人向け	
	テクニカルサポート	0825 004 719
	カスタマーケア	0825 338 339
	代表	01 55 94 71 00
	セールス	01 55 94 71 00
	Fax	01 55 94 71 01
ドイツ (ランゲン)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール: tech_support_central_europe@dell.com	
国番号:49	テクニカルサポート	06103 766-7200
市外局番:6103	Home / Small Business カスタマーケア	0180-5-224400
	グローバルカスタマーケア	06103 766-9570
	優先アカウントカスタマーケア	06103 766-9420
	大口アカウントカスタマーケア	06103 766-9560
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103 766-9555
	代表	06103 766-7000
ギリシャ	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール: support.euro.dell.com/gr/en/emaildell/	
国番号:30	テクニカルサポート	080044149518
	ゴールドテクニカルサポート	08844140083
	代表	2108129800
	セールス	2108129800
	Fax	2108129812
グレナダ	一般サポート	フリーコール:1-866-540-3355
ガテマラ	一般サポート	1-800-999-0136
ガイアナ	一般サポート	フリーコール:1-877-270-4609
香港	ウェブサイト: support.ap.dell.com	
国際電話アクセスコード:001	E メール: ap_support@dell.com	
国番号:852	テクニカルサポート (Dimension / Inspiron)	296 93188
	テクニカルサポート (Dell Precision / OptiPlex / Latitude)	296 93191
	カスタマーサービス (テクニカル以外、ポストセールス)	800 93 8291
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール:800 96 4109
	大口法人アカウント (香港)	フリーコール:800 96 4108
	大口法人アカウント (GCP 香港)	フリーコール:800 90 3708
インド	テクニカルサポート	1600 33 8045
	セールス	1600 33 8044

アイルランド (チェリーウッド)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:16	E メール: dell_direct_support@dell.com	
国番号:353	アイルランドテクニカルサポート	1850 543 543
市外局番:1	UK テクニカルサポート (UK 国内からかける場合のみ)	0870 908 0800
	ホームユーザーカスタマーケア	01 204 4014
	Small Business カスタマーケア	01 204 4014
	UK カスタマーケア (UK 国内からかける場合のみ)	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	1850 200 982
	法人カスタマーケア (UK 国内からかける場合のみ)	0870 907 4499
	アイルランドセールス	01 204 4444
	UK セールス (UK 国内からかける場合のみ)	0870 907 4000
	Fax / セールス Fax	01 204 0103
	代表	01 204 4444
イタリア (ミラノ)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール: support.euro.dell.com/it/it/emaildell/	
国番号:39	Home / Small Business 向け	
市外局番:02	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 696 821 14
	Fax	02 696 821 13
	代表	02 696 821 12
	法人向け	
	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 577 825 55
	Fax	02 575 035 30
	代表	02 577 821
ジャマイカ	一般サポート (ジャマイカ国内からかける場合のみ)	1-800-682-3639
韓国 (ソウル)	テクニカルサポート	フリーコール:080-200-3800
国際電話アクセスコード:001	セールス	フリーコール:080-200-3600
国番号:82	カスタマーサービス (韓国、ソウル)	フリーコール:080-200-3800
市外局番:2	カスタマーサービス (マレーシア、ベナン)	604 633 4949
	Fax	2194-6202
	代表	2194-6000
ラテンアメリカ	カスタマーテクニカルサポート (米国、テキサス州オースチン)	512 728-4093
	カスタマーサービス (米国、テキサス州オースチン)	512 728-3619
	Fax (テクニカルサポートおよびカスタマーサービス) (米国、テキサス州オースチン)	512 728-3883
	セールス (米国、テキサス州オースチン)	512 728-4397
	セールス Fax (米国、テキサス州オースチン)	512 728-4600
		または 512 728-3772
ルクセンブルグ	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール: tech_be@dell.com	
国番号:352	テクニカルサポート (ベルギー、ブリュッセル)	3420808075
	Home / Small Business セールス (ベルギー、ブリュッセル)	フリーコール:080016884
	法人セールス (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00
	カスタマーケア (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 19
	Fax (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 92 99
	代表 (ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00
マカオ	テクニカルサポート	フリーコール:0800 582
国番号:853	カスタマーサービス (マレーシア、ベナン)	604 633 4949
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール:0800 581
マレーシア (ベナン)	テクニカルサポート	フリーコール:1 800 888 298
国際電話アクセスコード:00	カスタマーサービス	04 633 4949
国番号:60	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール:1 800 888 202
市外局番:4	法人セールス	フリーコール:1 800 888 213
メキシコ	カスタマーテクニカルサポート	001-877-384-8979
国際電話アクセスコード:00		または 001-877-269-3383
国番号:52	セールス	50-81-8800
		または 01-800-888-3355
	カスタマーサービス	001-877-384-8979
		または 001-877-269-3383

	代表	50-81-8800 または 01-800-888-3355
モントセラト	一般サポート	フリーコール:1-866-278-6822
オランダ領アンティル諸島	一般サポート	001-800-882-1519
オランダ (アムステルダム)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール (テクニカルサポート):	
国番号:31	(Enterprise): nl_server_support@dell.com	
市外局番:20	(Latitude): nl_latitude_support@dell.com	
	(Inspiron): nl_inspiron_support@dell.com	
	(Dimension): nl_dimension_support@dell.com	
	(OptiPlex): nl_optiplex_support@dell.com	
	(Dell Precision): nl_workstation_support@dell.com	
	テクニカルサポート	020 674 45 00
	テクニカルサポート Fax	020 674 47 66
	Home / Small Business カスタマーケア	020 674 42 00
	Dell Precision / OptiPlex / Latitude カスタマーケア	020 674 43 25
	Home / Small Business セールス	020 674 55 00
	Dell Precision / OptiPlex / Latitude セールス	020 674 50 00
	Home / Small Business セールス Fax	020 674 47 75
	Dell Precision / OptiPlex / Latitude セールス Fax	020 674 47 50
	代表	020 674 50 00
	代表 Fax	020 674 47 50
ニュージーランド	E メール (ニュージーランド): nz_tech_support@dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール (オーストラリア): au_tech_support@dell.com	
国番号:64	Home / Small Business	0800 446 255
	Government / Business	0800 444 617
	セールス	0800 441 567
	Fax	0800 441 566
ニカラグア	一般サポート	001-800-220-1006
ノルウェー (リサケー)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メールサポート (ノートブックコンピュータ): nor_nbk_support@dell.com	
国番号:47	E メールサポート (デスクトップコンピュータ): nor_support@dell.com	
	E メールサポート (サーバー): nordic_server_support@dell.com	
	テクニカルサポート	671 16882
	Dell Precision / OptiPlex / Latitude カスタマーケア	671 17514
	Home / Small Business カスタマーケア	23162298
	代表	671 16800
	Fax 代表	671 16865
パナマ	一般サポート	001-800-507-0962
ペルー	一般サポート	0800-50-669
ポーランド (ワルシャワ)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:011	E メール: pl_support@dell.com	
国番号:48	カスタマーサービスフォン	57 95 700
市外局番:22	カスタマーケア	57 95 999
	セールス	57 95 999
	カスタマーサービス Fax	57 95 806
	レセプションデスク Fax	57 95 998
	代表	57 95 999
ポルトガル	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:00	E メール: support.euro.dell.com/pt/en/emaildell/	
国番号:351	テクニカルサポート	707200149
	カスタマーケア	800 300 413
	セールス	800 300 410 または 800 300 411 または 800 300 412 または 21 422 07 10
	Fax	21 424 01 12
プエルトリコ	一般サポート	1-800-805-7545
セントキットおよびネヴィス	一般サポート	フリーコール:1-877-441-4731
セントルシア	一般サポート	1-800-882-1521

セントビンセントおよびグレナディン諸島	一般サポート	フリーコール:1-877-270-4609
シンガポール (シンガポール) 国際電話アクセスコード:005 国番号:65	テクニカルサポート	フリーコール:800 6011 051
	カスタマーサービス (マレーシア、ベナン)	604 633 4949
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール:800 6011 054
	法人セールス	フリーコール:800 6011 053
南アフリカ (ヨハネスブルグ) 国際電話アクセスコード:09/091 国番号:27 市外局番:11	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
	E メール: dell_za_support@dell.com	
	テクニカルサポート	011 709 7710
	カスタマーケア	011 709 7707
	セールス	011 709 7700
	Fax	011 706 0495
	代表	011 709 7700
東南アジア / 太平洋沿岸諸国	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーサービス、セールス (マレーシア、ベナン)	604 633 4810
スペイン (マドリッド) 国際電話アクセスコード:00 国番号:34 市外局番:91	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
	E メール: support.euro.dell.com/es/es/emaildell/	
	Home / Small Business 向け	
	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 540
	セールス	902 118 541
	代表	902 118 541
	Fax	902 118 539
	法人向け	
	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 546
	代表	91 722 92 00
	Fax	91 722 95 83
スウェーデン (アップランズヴェスビー) 国際電話アクセスコード:00 国番号:46 市外局番:8	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
	E メール: swe_support@dell.com	
	Latitude および Inspiron 専用 E メールサポート: Swe-nbk_kats@dell.com	
	OptiPlex 専用 E メールサポート: Swe_kats@dell.com	
	サーバー専用 E メールサポート: Nordic_server_support@dell.com	
	テクニカルサポート	08 590 05 199
	Dell Precision / Latitude / OptiPlex カスタマーケア	08 590 05 642
	Home / Small Business カスタマーケア	08 587 70 527
	EPP (社員購入プログラム) サポート	20 140 14 44
	Fax テクニカルサポート	08 590 05 594
	セールス	08 590 05 185
スイス (ジュネーブ) 国際電話アクセスコード:00 国番号:41 市外局番:22	ウェブサイト: support.euro.dell.com	
	E メール: swisstech@dell.com	
	E メール (フランス語の HSB および法人カスタマー用): support.euro.dell.com/ch/fr/emaildell/	
	テクニカルサポート (Home / Small Business)	0844 811 411
	テクニカルサポート (法人)	0844 822 844
	カスタマーケア (Home / Small Business)	0848 802 202
	カスタマーケア (法人)	0848 821 721
	Fax	022 799 01 90
	代表	022 799 01 01
台湾 国際電話アクセスコード:002 国番号:886	テクニカルサポート (ノートブックおよびデスクトップコンピュータ)	フリーコール:00801 86 1011
	テクニカルサポート (サーバー)	フリーコール:0080 60 1256
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール:0080 651 228
		または 0800 33 556
	法人セールス	フリーコール:0080 651 227
		または 0800 33 555
タイ 国際電話アクセスコード:001 国番号:66	テクニカルサポート	フリーコール:0880 060 07
	カスタマーサービス (マレーシア、ベナン)	604 633 4949
	セールス	フリーコール:0880 060 09
トリニダード・トバゴ	一般サポート	1-800-805-8035
タークス&カイコス諸島	一般サポート	フリーコール:1-866-540-3355
イギリス (ブラックネル)	ウェブサイト: support.euro.dell.com	

国際電話アクセスコード:00	カスタマーケアウェブサイト: support.euro.dell.com/uk/en/ECare/Form/Home.asp	
	Eメール: dell_direct_support@dell.com	
国番号:44	テクニカルサポート (法人 / 優先アカウント / PAD [従業員 1000 名以上])	0870 908 0500
市外局番:1344	テクニカルサポート (ダイレクト / PAD および一般)	0870 908 0800
	グローバルアカウントカスタマーケア	01344 373 186
	Home / Small Business カスタマーケア	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	01344 373 185
	優先アカウントカスタマーケア (従業員 500 ~ 5000 名)	0870 906 0010
	中央政府カスタマーケア	01344 373 193
	地方政府および教育機関カスタマーケア	01344 373 199
	保険機関カスタマーケア	01344 373 194
	Home / Small Business セールス	0870 907 4000
	法人 / 公共機関セクターセールス	01344 860 456
ウルグアイ	一般サポート	フリーコール:000-413-598-2521
米国 (テキサス州オーステン)	自動オーダーステータスサービス	フリーコール:1-800-433-9014
国際電話アクセスコード:011	AutoTech (ノートブックおよびデスクトップコンピュータ)	フリーコール:1-800-247-9362
国番号:1	一般消費者 (Home / Home Office)	
	テクニカルサポート	フリーコール:1-800-624-9896
	カスタマーサービス	フリーコール:1-800-624-9897
	DellNet™ サービスおよびサポート	フリーコール:1-877-Dellnet (1-877-335-5638)
	EPP (社員購入プログラム) カスタマー	フリーコール:1-800-695-8133
	ファイナンスサービスウェブサイト: www.dellfinancialservices.com	
	ファイナンスサービス (リース / ローン)	フリーコール:1-877-577-3355
	ファイナンスサービス (DPA [デル優先アカウント])	フリーコール:1-800-283-2210
	ビジネス	
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート	フリーコール:1-800-822-8965
	EPP (社員購入プログラム) カスタマー	フリーコール:1-800-695-8133
	プロジェクトテクニカルサポート	フリーコール:1-877-459-7298
	パブリック (政府機関、教育機関、および医療機関)	
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート	フリーコール:1-800-456-3355
	EPP (社員購入プログラム) カスタマー	フリーコール:1-800-234-1490
	デルセールス	フリーコール:1-800-289-3355 またはフリーコール:1-800-879-3355
	デルアウトレットストア (デル返品製品)	フリーコール:1-888-798-7561
	ソフトウェアおよび周辺機器セールス	フリーコール:1-800-671-3355
	交換部品販売	フリーコール:1-800-357-3355
	期間延長サービスおよび保証セールス	フリーコール:1-800-247-4618
	Fax	フリーコール:1-800-727-8320
	聴覚・言語障害者のためのサービス	フリーコール:1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
U.S. パージン諸島	一般サポート	1-877-673-3355
ベネズエラ	一般サポート	8001-3605

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

用語集

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

[A](#) [B](#) [C](#) [D](#) [E](#) [F](#) [G](#) [H](#) [I](#) [K](#) [L](#) [M](#) [N](#) [P](#) [R](#) [S](#) [T](#) [U](#) [V](#) [W](#) [X](#) [Z](#) [あ](#) [か](#) [さ](#) [た](#) [な](#) [は](#) [ま](#) [や](#) [ら](#)

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current (交流) — コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと供給される電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されているそれぞれのデバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

APR — advanced port replicator (アドバンスポートリプリケータ) — ノートブックコンピュータでモニター、キーボード、マウス、およびその他のデバイスが使えるようになるドッキングデバイスです。

ASF — alert standards format — ハードウェアとソフトウェアの警告を管理コンソールに報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるように設計されています。

B

BIOS — basic input/output system (基本入出力システム) — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム (またはユーティリティ) です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。 **セットアップユーティリティ**とも呼ばれます。

Bluetooth — 短距離内 (9 メートル) にある有効に設定されている複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジー標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する単位です。

BTU — British thermal unit (英国熱量単位) — 熱量の単位です。

C

C — セルシウス (摂氏) — 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD — compact disc (コンパクトディスク) — 光学形式のストレージメディアです。通常、音楽やソフトウェアプログラムに使用されます。

CD ドライブ — CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

CD プレーヤー — 音楽 CD を再生するソフトウェアです。CD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して CD を再生することができます。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。データは CD-R に 1 回だけ記録できます。一度記録されたデータは削除したり上書きできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きできます (再書き込み)。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW (書き換え可能な CD) ディスクや CD-R (書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW (書き換え可能な CD) ディスクや CD-R (書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity (実物証明書) — お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windows の英数字のコードです。オペレーティングシステムのセットアップや再インストールをおこなうのに COA が必要な場合があります。 **Product Key (プロダクトキー)** や **Product ID (プロダクトID)** とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module (連続式 RIMM) — メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM (ダブルデータ速度 SDRAM) — データのバーストサイクルを 2 倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN (ドイツ工業規格) に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access (ダイレクトメモリアクセス) — DMA チャネルを使うと、RAM とデバイス間でのデータ転送がマイクロプロセッサを介さずにおこなえるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory (ダイナミックランダムアクセスメモリ) — コンデンサが搭載された集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line (デジタル加入者回線) — アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジーです。

DVD — digital versatile disc — 通常、映画を録画するために使われるディスクです。CD の場合は片面のみを使用しますが、DVD は両面を使用します。DVD ドライブはほとんどの CD メディアを読み取ることができます。

DVD ドライブ — DVD および CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

DVD プレーヤー — DVD 映画を鑑賞するときに使用するソフトウェアです。DVD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して映画を鑑賞することができます。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW（書き換え可能な DVD）ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface（デジタルビデオインタフェース） — コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。DVI アダプタはコンピュータの内蔵グラフィックを利用して動作します。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正） — メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取ったりするときに、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。EPP に似ていて、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアccessを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害） — 電磁放射線が原因で起こる電気障害です。

ENERGY STAR — Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port（拡張パラレルポート） — 双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD — electrostatic discharge（静電気放出） — 静電気の急速な放電のことで、ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

F

Fahrenheit — ファーレンハイト（華氏） — 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会） — コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus（フロントサイドバス） — マイクロプロセッサと RAM の間のデータバスと物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol（ファイル転送プロトコル） — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイルの交換に利用される標準のインターネットプロトコルです。

G

g — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 1 GHz は、1,000,000,000 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface（グラフィックユーザーインタフェース） — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする対話型ソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTML — hypertext markup language — インターネットブラウザ上で表示できるよう、インターネットのウェブページに挿入されるコードセットです。

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電気機器では、キロヘルツ（kHz）、メガヘルツ（MHz）、ギガヘルツ（GHz）、またはテラヘルツ（THz）単位で計測される場合もあります。

I

IC — Industry Canada（カナダ工業規格） — 米国の FCC と同様、電子装置からの放射を規制するカナダの規制団体です。

IC — integrated circuit（集積回路） — コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの極小電子コンポーネントが搭載されている半導体ウェハー、またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output（入出力） — コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力したりする動作、またはデバイスです。キーボードやプリンタは、I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、マイクロプロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IRQ — interrupt request（割り込み信号） — デバイスがマイクロプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ） — ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、Eメールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月払い）で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kbは、1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 周波数の単位です。1 kHz は、1,000 Hz です。

L

LAN — local area network (ローカルエリアネットワーク) — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN (ワイドエリアネットワーク) を構成できます。

LCD — liquid crystal display (液晶ディスプレイ) — ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode (発光ダイオード) — コンピュータのステータスを示す光を発する電子コンポーネントです。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレルポート接続の指定です。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト — データの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。1 MB は 1,024 KB です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms — ミリ秒 — 1000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ) — コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を保持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータバスをサポートするローカルバスで、マイクロプロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データバスを提供します。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議している国際的組織です。

PIN — personal identification number (個人識別番号) — コンピュータネットワークやその他の安全が保護されているシステムへの不正なアクセスを防ぐために使用される一連の数字や文字です。

PIO — programmed input/output (プログラム入出力) — データバスの一部にマイクロプロセッサを経由した 2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test (電源投入時の自己テスト) — BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換キーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

PXE — pre-boot execution environment — WfM (Wired for Management) 標準で、オペレーティングシステムがないネットワークコンピュータを設定し、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — 2 台以上のドライブが一緒に動作して、性能を向上させたりフォールトトレランスを提供するシステムです。RAID ドライブは、通常、サーバーや高性能 PC で使われます。使用頻度の高い 3 つの RAID レベルは、0、3、および 5 です。

- 1 レベル 0: データストライピングを提供しますが、冗長性はありません。レベル 0 は、性能は向上しますがフォールトトレランスは提供されません。
- 1 レベル 3: は、レベル 0 と同じですが、エラー修正データ用に専用ドライブを予約して、高性能かつある程度のフォールトトレランスを提供します。
- 1 レベル 5: は、バイトレベルでデータストライピングとストライプエラー修正情報を提供しますので、結果として高性能かつ良好なフォールトトレランスを提供します。

RAM — random-access memory (ランダムアクセスメモリ) — プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference (無線電波障害) — 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory (読み取り専用メモリ) — コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock (リアルタイムクロック) — システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCST — real-time clock reset (リアルタイムクロックリセット) — いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory (同期ダイナミックランダムアクセスメモリ) — DRAM の一種で、マイクロプロセッサの最適クロックスピードと同期化されています。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。通常、SVGA の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

U

UPS — uninterruptible power supply (無停電電源装置) — 電氣的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置していると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間バッテリー電力を供給しますので、コンピュータを正しくシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus (ユニバーサルシリアルバス) — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス (DSL およびケーブルモデム)、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットがコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外すことができます。また、デージーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair (シールドなしツイストペア) — ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

Whr — ワット時 — おおよそのバッテリー容量を示すのに通常利用される計測単位です。たとえば、66 Whr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

WSXGA+ — wide super-extended graphics array — 1680 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

WUXGA — wide ultra-extended graphics array — 1920 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

WXGA — wide extended graphics array — 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップ、またはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできる、ソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が .zip となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は .exe となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディ

スクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または Eメールの添付ファイルを経由してコンピュータからまた別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次回の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。エクスプレスサービスコードがご利用できない国もあります。

オプティカルドライブ — CD、DVD または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CDドライブ、DVDドライブ、CD-RWドライブおよびCD-RW/DVDコンボドライブが含まれます。

か


カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線、アンダーライン、または小さな矢印で表示されます。


解像度 — プリンタで印刷される画像や、またはモニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという具合です。解像度は高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み保護 — ファイルやメディアにデータの内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定して、データを変更または破壊されることのないようにデータを保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けられた時に PC カードスロットからカードの端がはみ出しています。

 **注意:** コンピュータを梱包したり、持ち運んだりする場合、必ず拡張型 PC カードを取り外してください。PC カードのはみ出している部分に衝撃を与えると、システム基板が損傷することがあります。

 **メモ:** 拡張型 PC カードを取り付けている場合、2 枚目の PC カードの取り付けが困難な場合があります。拡張カードは、いつも上段の PC カードコネクタに取り付けてください。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合があります）。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使うようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することもできます。

キーボードショートカット — 同時に複数のキーを押してコンピュータを操作します。キーの組み合わせとも呼ばれます。

起動 CD — コンピュータを起動するのに使用する CD です。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities CD』または『Resource CD』が起動 CD です。

起動ディスク — コンピュータを起動するのに使用するディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、マイクロプロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — マイクロプロセッサ内に搭載されているプライマリキャッシュ

L2 キャッシュ — マイクロプロセッサの外部にあるか、またはマイクロプロセッサアーキテクチャに統合されているセカンドキャッシュ

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が、自動的に復元されます。

グラフィックモード — x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックモードは、どんな形やフォントも表現できます。

クロックスピード — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

国際通行許可書 — 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関文書です。商用パスポートとも呼ばれます。

コントローラ — マイクロプロセッサとメモリ間、またはマイクロプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows のユーティリティです。

さ

サージプロテクター — コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因による）から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や AC 電圧が 20 % 以上低下する電圧変動で起こる停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護されません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポート support.jp.dell.com にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話でお問い合わせになる場合に必要な識別番号が書いてあります。

システムトレイ — **通知領域** を参照してください。

システム基板 — コンピュータに搭載されている主要回路基板です。**マザーボード**とも呼ばれます。

シャットダウン — ウィンドウを閉じてプログラムを終了し、オペレーティングシステムを終了して、コンピュータの電源を切るプロセスです。シャットダウンが完了する前にコンピュータの電源を切ると、データを損失する恐れがあります。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットはファイルが置かれている場所を変更するわけではないので、ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク — ファイル、フォルダ、およびハードディスクの表面にエラーがないかどうかをチェックする Microsoft のユーティリティです。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節電する、省電力モードです。

スマートカード — マイクロプロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブルを使用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するのに使うプログラムです。setup.exe または install.exe プログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのかわかりにくい場合、このプログラムの設定を変更しないでください。

ソフトウェア — コンピュータファイルやプログラムなど、電子的に保存できるものすべてを指します。

た

通知領域 — Windows のタスクバーにあり、プログラムや、時計、音量調節、プリンタの状態といったコンピュータの機能にすばやくアクセスするためのアイコンを含んでいます。**システムトレイ**とも呼ばれます。

ディスクストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

テキストエディタ — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成、および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションや、フォントの変換など）の機能はありません。

デバイス — コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デバイスドライバ — **ドライバ** を参照してください。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。**拡張ディスプレイモード**とも呼ばれます。

ドッキングデバイス — **APR** を参照してください。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていないと正常に動作しません。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

な

内蔵 — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。**ビルトイン**とも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板上にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、**NIC**（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。各パーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バックアップ — フロッピーディスク、CD、またはハードドライブなどにプログラムやデータをコピーすることをバックアップといいます。不測の事態に備えて、定期的にハードドライブをバックアップすることをお勧めします。

バッテリー — ノートブックコンピュータが AC アダプタおよびコンセントに接続されていない場合に、コンピュータを動作させるために使われる内蔵の電源です。

バッテリー動作時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーがコンピュータに電源を供給する間、充電量を維持できる時間（分または時間数）です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱の役目をするマイクロプロセッサに付属する金属板です。

ピクセル — ディスプレイ画面のシングルポイントです。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度 (800 × 600 など) は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — **解像度** を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに (モニターの組み合わせにおいて) ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは (内蔵ビデオコントローラ搭載のコンピュータの) システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの容量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックをモニターに表示する際のモードです。グラフィックをベースにしたソフトウェア (Windows オペレーティングシステムなど) は、x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア (テキストエディタなど) は、x 列 × y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整理したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プログラム — 表計算ソフト、ワープロソフト、データベースソフト、ゲームソフトなどデータ処理をするソフトウェアです。これらのプログラムを実行するにはオペレーティングシステムが必要です。

フロッピードライブ — フロッピーディスクにデータを読み書きできるディスクドライブです。

ヘルプファイル — 製品の説明や各種手順を記したファイルです。ヘルプファイルの中には、Microsoft Word のヘルプのように特定のプログラムに適用されるものがあります。他にも単独で参照できるヘルプファイルもあります。通常、ヘルプファイルの拡張子は、.hlp または .chm です。

ま

マイクロプロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算をおこなうチップです。マイクロプロセッサは、プロセッサや CPU (中央演算処理装置) と呼ばれます。

マウス — 画面上のカーソルを移動させるポインティングデバイスです。通常は、マウスを硬くて平らな面で動かして、画面上のカーソルやポインタを移動します。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に保存されているだけでですので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンする時もファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM およびビデオメモリなど何種類があります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、マイクロプロセッサがアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールのようなデバイスをサポートするベイです。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E メールとの交換に使用されます。

モニター — 高解像度のテレビのようなデバイスで、コンピュータの出力を表示します。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除できないデータやファイルです。次のような場合にファイルが読み取り専用で設定されます。

- 1 フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み保護にしている場合
- 1 ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — Hz で示される、画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線 (または垂直周波数) が再描画されます。人の目には、リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なくなります。

ローカルバス — デバイスにマイクロプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

キーボードとタッチパッドの使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [テンキーパッド](#)
- [キーボードショートカット](#)
- [タッチパッド](#)
- [タッチパッドおよびトラックスティックのカスタマイズ](#)

テンキーパッド



キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、キーパッドを有効にし、**Fn** を押して、ご希望のキーを押します。**Fn** のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。

キーボードショートカット

システム機能

	タスクマネージャウィンドウを開きます。
	テンキーパッドを有効または無効にします。
	Scroll Lock 機能を有効または無効にします。




バッテリー

	Dell™ QuickSet バッテリメーター を表示します。
--	---

CD または DVD トレイ

	この機能を使用するには、 Dell QuickSet が必要です。トレイをドライブから取り出します。
--	--


ディスプレイ関連

	画面モードの表示を次の順に切り替えますー内蔵ディスプレイのみ、内蔵ディスプレイと外付け CRT モニターの同時表示、外付け CRT モニターのみ、内蔵ディスプレイと外付け DVI モニターの同時表示、外付け DVI モニターのみ、または外付け CRT モニターと外付け DVI モニターの同時表示。
	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。
	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

無線通信（ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth™ を含む）




	ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth を含む、無線通信を有効または無効にします。
---	--

電力の管理








	選択した省電力モードを起動します。 電源オプションのプロパティ ウィンドウの 詳細設定 （または 詳細 ）タブでキーボードショートカットを設定できます。
---	---

スピーカー関連

スピーカーから何も聞こえない場合、 を押して、ボリュームを調節します。

	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。
	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効または無効にします。

Microsoft® Windows® ログキー関連

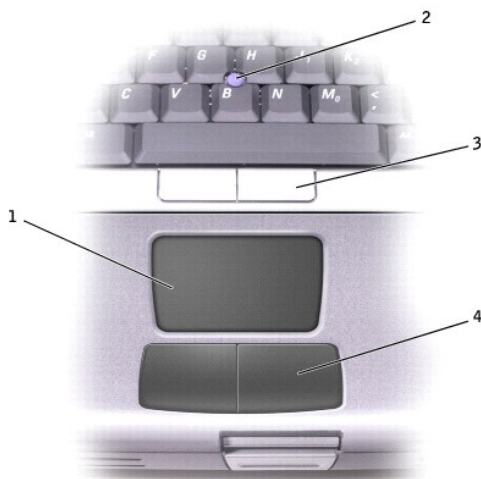
	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
	すべてのウィンドウを最大化します。
	Windows エクスプローラが開きます。
	ファイル名を指定して実行 ダイアログボックスが開きます。
	検索結果 ダイアログボックスが開きます。
	検索結果 - コンピュータ ダイアログボックスが開きます（ネットワークに接続している場合）。
	システムのプロパティ ダイアログボックスが開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調節するには、次の手順を実行します。

- 1 **Windows XP の場合**、**スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。次に、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**キーボード** をクリックします。
- 1 **Windows 2000 の場合**、**スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックしてから、**キーボード** アイコンをダブルクリックします。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



1	タッチパッド
2	トラックスティック
3	トラックスティックボタン
4	タッチパッドボタン

- 1 カーソルを動かすには、タッチパッド上をそっと指でスライドします。
- 1 オブジェクトを選択するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドの表面を軽くトントンと 1 回たたか、親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- 1 オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- 1 オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

トラックスティックを使ってカーソルを移動することもできます。トラックスティックを上下左右に押し、ディスプレイ上のカーソルの向きを変更します。マウスの機能と同じように、トラックスティックとトラックスティックボタンを使用します。

タッチパッドおよびトラックスティックのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドおよびトラックスティックを無効にしたり、設定を調節できます。

- 1 Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。次に、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**マウス** アイコンをクリックします。
Windows 2000 の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックしてから、**マウス** アイコンをダブルクリックします。
- 2 **マウスのプロパティ** ウィンドウでは、以下のことができます。
 - 1 **デバイスの選択** タブをクリックして、タッチパッドおよびトラックスティックを無効にします。
 - 1 **ポイント** タブをクリックして、タッチパッドおよびトラックスティックの設定を調節します。
- 3 希望の設定を選択して、**適用** をクリックします。
- 4 **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

トラックスティックキャップの取り替え

お使いのコンピュータには、予備のトラックスティックキャップが付いています。トラックスティックキャップは長期の使用で磨耗した場合、取り替える必要があります。



1. トラックスティックからキャップを取り外します。
2. 新しいキャップを四角いトラックスティック軸に合わせ、慎重に軸にかぶせます。
3. トラックスティックを動かして、キャップが完全に収まっているか確認します。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

パスワード


Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド


- [パスワードについて](#)
- [プライマリパスワードの使い方](#)
- [システム管理者パスワードの使い方](#)
- [ハードドライブパスワードの使い方](#)
- [管理タグの割り当て](#)

パスワードについて

 **メモ:** ご購入時には、パスワードは設定されていません。

プライマリパスワードは、使用を許可されていないユーザーによるコンピュータの起動を防ぐことができます。プライマリパスワードの代わりに、システム管理者パスワードを使用することができます。ドライブが別のコンピュータに取り付けられている場合でも、ハードドライブパスワードを設定すると、使用を許可されていないユーザーのデータへのアクセスができなくなります。

 **メモ:** デルから Dell™ Latitude™ D シリーズノートブックコンピュータで使用するハードドライブを購入された場合にのみ、ハードドライブパスワード機能を使用できます。

 **注意:** パスワードは、コンピュータやハードドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするために、スマートカード、データ暗号化プログラム、または暗号化機能の付いた PC カードなどを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードを忘れてしまった場合、システム管理者に尋ねるか、デルにお問い合わせください。その際、使用を許可されていないユーザーによる不正使用を防ぐため、デルのテクニカルサポート担当者はお客様がコンピュータの所有者であるかどうかを確認します。


以下の表に、お使いのコンピュータで利用可能なパスワードの種類と機能を示します。


パスワードの種類	機能
プライマリ	1 使用を許可されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護します。
システム管理者	1 コンピュータを修理または再設定するシステム管理者または技術者がアクセスします。 1 システムパスワードによってシステムへのアクセスを制限すると同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。 1 プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。
ハードドライブ	1 使用を許可されていないユーザーのアクセスからハードドライブまたは外付けハードドライブ（使用している場合）のデータを保護するために使用します。

プライマリパスワードの使い方

プライマリパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護するために使用します。

プライマリパスワードを設定すると、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。パスワードを設定した後にコンピュータを起動すると、次のようなメッセージが毎回表示されます。


Please type in the primary or administrator password and press .

(プライマリまたはシステム管理者パスワードを入力して、 を押してください。)

操作を続けるには、パスワードを入力します（最大 8 文字）。

2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

システム管理者パスワードが設定されている場合、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。通常、コンピュータ画面でシステム管理者パスワードの入力は必要ありません。


 **注意:** システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

システム管理者パスワードの使い方


システム管理者パスワードは、コンピュータを修理または再設定するシステム管理者または技術者のためのものです。システム管理者または技術者が複数のコンピュータに同一のシステム管理者パスワードを登録すると、ユーザーはプライマリパスワードを設定することができます。

システム管理者パスワードを設定すると、セットアップユーティリティの Configure Setup オプションが有効になります。Configure Setup オプションでは、プライマリパスワードによってシステムへのアクセスを制限できると同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。

システム管理者パスワードはプライマリパスワードの代わりに使用することもできます。プライマリパスワードの入力を求められた場合、常にシステム管理者パスワードで代用できます。

 **メモ:** システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブパスワードが設定されている場合、ハードドライブへのアクセスはできません。

システム管理者パスワードを設定せずに、プライマリパスワードを忘れてしまった場合、または両方のパスワードを設定して、どちらも忘れてしまった場合は、システム管理者に尋ねるか、デルにお問い合わせください。


 **注意:** システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。


ハードドライブパスワードの使い方


ハードドライブパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからハードドライブ上のデータを保護するために使用します。外付けハードドライブをご使用の場合、そのドライブにプライマリハードドライブと同じ、または異なるパスワードを設定することもできます。

ハードドライブパスワードを設定すると、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。また、スタンバイモードから通常の動作に復帰する際にも、必ず入力する必要があります。

ハードドライブパスワードを有効にした場合、コンピュータを起動するたびに次のようなメッセージが表示されます。

Please type in the hard-disk drive password and press .

(ハードディスクドライブパスワードを入力して、 を押してください。)

操作を続けるには、パスワードを入力します(最大 8 文字)。直前の状態に戻るには、 を押します。


2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

パスワードを間違えると、次のメッセージが表示されます。

Invalid password
[Press Enter to retry]
(無効なパスワードです [再度入力してください])

パスワードが 3 回以内に正しく入力できないと、セットアップユーティリティの **Boot First Device** の一覧で設定している次のデバイスからの起動を試みます。**Boot First Device** の一覧に他の起動デバイスがない場合、コンピュータは電源を入れたときの状態に戻ります。

ハードドライブパスワード、外付けハードドライブパスワード、およびプライマリパスワードが同じ場合、プライマリパスワードの入力だけが求められます。ハードドライブパスワードがプライマリパスワードと異なる場合、両方のパスワードの入力が求められます。2 つのパスワードを別々に設定することで、セキュリティをさらに強化することができます。

 **メモ:** システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブパスワードが設定されている場合、ハードドライブへのアクセスはできません。


管理タグの割り当て

管理タグ設定ユーティリティを使用して、コンピュータに割り当てられた管理タグを入力できます。管理タグ番号を入力すると、セットアップユーティリティ画面にタグが表示されます。

管理タグ設定ユーティリティを使うと、システムのログオン画面で、プライマリパスワードと共に所有者タグの入力を求めるように設定することもできます。


『Drivers and Utilities CD』を使って起動ディスクを作成します。その後、起動ディスクを使って管理タグを割り当てます。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. フロッピードライブを搭載した Dell™ D/Bay をコンピュータの右側にあるパワー USB コネクタに接続します。または、USB フロッピードライブをコンピュータの背面にある 2 つの USB コネクタのうちの 1 つに接続します。
3. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。
4. **Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
5. **オペレーティングシステム** ドロップダウンメニューから、MS-DOS を選びます。
6. **Dell ノートブック管理タグ** をクリックし、**解凍** をクリックして、**セットアップ** をクリックします。


7. 空のフロッピーディスクを挿入して、 を押します。


画面の指示に従って、起動ディスクを作成します。


8. 起動ディスクを使ってコンピュータを起動するには、次の手順を実行します。
 - a. コンピュータを再起動します。

- b. DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに  を押します。

オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待って、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

- c. 矢印キーを押して **ディスクドライブ** を選び、 を押します。

9. `asset` と入力し、スペースを 1 つ入れてから新しい管理タグを入力して、 を押します。


たとえば、次のようにコマンドラインを入力してから、 を押します。

```
asset 1234$ABCD&
```


メモ: 管理タグは最大 10 文字で、スペースを除く任意の文字の組み合わせが使用できます。

10. 管理タグの確認を求めるとプロンプトが表示されたら、`y` と入力します。
コンピュータは、新規または変更後の管理タグとサービスタグを表示します。
11. コンピュータを再起動して、管理タグ設定ユーティリティを終了します。

既存の管理タグとサービスタグの表示


1. 「[管理タグの割り当て](#)」で作成した起動ディスクを使って、コンピュータを起動します。
2. `asset` と入力して、 を押します。


管理タグの削除

1. 「[管理タグの割り当て](#)」で作成した起動ディスクを使って、コンピュータを起動します。
2. `asset /d` と入力して、 を押します。
3. 管理タグの削除の確認を求めるとプロンプトが表示されたら、`y` と入力します。

所有者タグの割り当て

所有者タグは最大 48 文字で、任意の文字のほか数字やスペースも使用できます。

1. 「[管理タグの割り当て](#)」で作成した起動ディスクを使って、コンピュータを起動します。
2. `asset /o` と入力し、スペースを 1 つ入れてから新しい所有者タグを入力して、 を押します。


たとえば、次のようにコマンドラインを入力してから、 を押します。

```
asset /o ABC Company
```

3. 所有者タグの確認を求めるとプロンプトが表示されたら、`y` と入力します。
コンピュータは、新しい所有者タグを表示します。


所有者タグの削除

メモ: セキュリティのため、プライマリパスワードまたはシステム管理パスワードが設定されている場合、所有者タグを設定、変更、または削除することはできません。

1. 「[管理タグの割り当て](#)」で作成した起動ディスクを使って、コンピュータを起動します。
2. `asset /o /d` と入力して、 を押します。
3. 所有者タグの削除の確認を求めるとプロンプトが表示されたら、`y` と入力します。

管理タグオプション

管理タグオプション（次の表を参照）の 1 つを使用するには、次の手順を実行します。

1. 「[管理タグの割り当て](#)」で作成した起動ディスクを使ってコンピュータを起動します。
2. `asset` と入力し、スペースを 1 つ入れてからオプションを入力して、 を押します。

管理タグオプション	説明
<code>/d</code>	管理タグを削除します。
<code>/o owner tag</code>	新しい所有者タグを設定します。
<code>/o /d</code>	所有者タグを削除します。

/?

管理タグ設定ユーティリティのヘルプ画面を表示します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)


PC カードの使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [PC カードについて](#)
- [PC カードのダミーカード](#)
- [拡張型 PC カード](#)
- [PC カードの取り付け](#)
- [PC カードまたはダミーカードの取り外し](#)

PC カードについて

サポートされている PC カードについては、「[仕様](#)」を参照してください。

 **メモ:** PC カードは、起動デバイスではありません。

PC カードスロットは、1 つのコネクタを持ち、Type I または Type II カードを 1 枚サポートしています。PC カードスロットは、CardBus テクノロジーおよび拡張型 PC カードをサポートしています。PC カードの「Type」とは厚みによる分類で、機能とは関係ありません。

PC カードのダミーカード

お使いのコンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに PC カードを取り付けない時のためにダミーカードを保管しておいてください。

ダミーカードの取り外しについては、「[PC カードまたはダミーカードの取り外し](#)」を参照してください。

拡張型 PC カード

拡張型 PC カード（たとえば、ワイヤレスネットワークアダプタ）は、標準の PC カードより長く、コンピュータの外側にはみ出しています。拡張型 PC カードを使用する場合、次の注意事項に従ってください。

- 1 取り付けられた拡張カードのはみ出した部分に衝撃を与えないでください。衝撃を与えるとシステム基板が破損することがあります。
- 1 コンピュータをキャリーケースに入れる場合、必ず拡張型 PC カードを取り外してください。

PC カードの取り付け

コンピュータの動作中に、PC カードを取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、PC カードはカード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれています。カードは一方方向にしか挿入できないよう設計されています。カードの挿入方向がわからない場合、カードに付属のマニュアルを参照してください。

PC カードを取り付けるには、次の手順を実行します。


- 1 挿入方向を示す矢印などをスロットに向け、カード上面を上にして持ちます。ラッチを押し込んだ状態にしてからカードを挿入します。
- 2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

カードがうまく入らない場合、無理にカードを押し込まず、カードの方向を確認してもう一度挿入してみます。



コンピュータはほとんどの PC カードを認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、PC カードに付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

PC カードまたはダミーカードの取り外し

注意：PC カードを選択してその動作を停止するには、コンピュータから PC カードを取り外す前に、タスクバーの PC カード設定ユーティリティ  を使用します。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを損失する恐れがあります。ケーブルが付いている場合、カードを取り外す際にケーブル自体を引っぱってカードを取り外さないでください。

ラッチを押してカードまたはダミーカードを慎重に取り外します。ラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

1. 取り出しボタンを押します。
2. もう一度取り出しボタンを押します。
3. カードまたはダミーカードを慎重に取り外します。

スロットに PC カードを取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。



[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)



電力の管理

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [電力管理のヒント](#)
- [電力の管理ウィザード](#)
- [省電力モード](#)
- [電源オプションのプロパティ](#)


電力管理のヒント

 **メモ:** バッテリー電源の省電力の詳細については、「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。


- 1 バッテリーの寿命は、充電される回数によって大きく異なりますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 1 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータを[スタンバイモード](#)または[休止状態モード](#)にしてください。
- 1 省電力モードを起動するには、ディスプレイを閉じるか   を押します。
- 1 省電力モードを終了するには、ディスプレイを開くか電源ボタンを押します。

電力の管理ウィザード

 **メモ:** アクセス権が制限されている場合、[電力の管理ウィザード](#) は利用できません。

 アイコンをクリックまたはダブルクリックして、[電力の管理ウィザード](#) を開きます。



ようこそと [電力の管理の概要](#) のウィザードの最初の 2 つの画面には、各種電源管理オプションの説明と定義が表示されています。

 **メモ:** [電力の管理の概要](#) 画面で、**今後はこの画面を表示しない** を選ぶことができます。このオプションを選ぶと、[ようこそ](#) 画面も表示されなくなります。


[電力の管理ウィザード](#) 以降の画面を使って、スリープモード、電源設定、バッテリーの低充電警告など、各種の電源管理オプションを設定します。

スリープモードの設定


画面では、スタンバイモードと休止状態モードが定義されています。この画面から以下のことができます。

- 1 スタンバイモードのパスワードオプションの設定
- 1 休止状態モードの有効化または無効化
- 1 ディスプレイを閉じた時にコンピュータがどう反応するかを選択
 - 何もしない (**アクションなし**)
 - スタンバイモードを起動する
 - 休止状態モードを起動する
- 1 電源ボタンを押した時にコンピュータがどう反応するかを選択
 - 何もしない (**アクションなし**)
 - スタンバイモードを起動する
 - 休止状態モードを起動する
 - Microsoft Windows® オペレーティングシステムをシャットダウンして、コンピュータの電源を切る (**電源オフ**)
 - 画面上でユーザーに指示を出す (**必要な操作**)
- 1   を押した時にコンピュータがどう反応するかを選択
 - 何もしない (**アクションなし**)
 - スタンバイモードを起動する
 - 休止状態モードを起動する
 - Microsoft Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切る (**電源オフ**)
 - 画面上でユーザーに指示を出す (**必要な操作**)

電源設定の選択

 **メモ:** コンピュータがバッテリーで動作している場合、**ネットワーク無効** 電源設定は、ネットワークまたはワイヤレスアクティビティを有効または無効にします。コンピュータがコンセントまたはドッキングデバイスに接続されている場合、**ネットワーク無効** 電源設定は、ワイヤレスアクティビティのみ無効にします。**ネットワーク無効** の機能を使うには、QuickSet (Microsoft® Windows®ではなく) の電源設定を利用する必要があります。


この画面で電源設定の選択、作成、および編集ができます。また、お客様が作成した電源設定を削除することはできますが、Dell™ QuickSet の既定の電源設定 (**最大バッテリー**、**最大パフォーマンス**、**プレゼンテーション**、および **ネットワーク無効**) は削除できません。

 **メモ:** QuickSet は、QuickSet を使って作成した電源設定名の後に自動的に (QuickSet) という単語を付け加えます。

すべての QuickSet 電源設定は、画面中央近くのドロップダウンメニューに表示されます。メニュー内の各電源設定は、メニューの下に表示されます。コンピュータがバッテリーで稼働している時の電源設定と、コンセントに接続されている時の電源設定は別々に表示されます。

電力の管理ウィザード を利用しても、電源設定にディスプレイの輝度レベルを関連付けることができます。輝度レベルを設定するには、QuickSet を使って輝度レベルの設定を有効にする必要があります。

ディスプレイの輝度、内蔵ネットワークカードアクティビティ、およびワイヤレスアクティビティの機能は、Microsoft® Windows® **コントロールパネル** 電源設定からはご利用できません。これらの付加価値機能を使用するには、QuickSet 電源設定から設定する必要があります。

 **メモ:** 輝度のキーボードショートカットでは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターには影響はありません。お使いのコンピュータが CRT モードのみに設定されていて、輝度レベルを変更しようとすると、**輝度メーター** が表示されますが、モニターの輝度レベルは変更しません。


バッテリー警告と動作の設定

この画面で、バッテリー低下アラームとバッテリー切れアラームを有効にでき、また警告の設定を変更できます。たとえば、バッテリー低下アラームを 20% に設定して、作業中のファイルを保存し、AC 電源に切り替えるよう促したり、バッテリー切れアラームを 10% に設定して休止状態モードに入るようにできます。この画面から以下のことができます。

- 1 警告を音またはメッセージのどちらで知らせるかの選択
- 1 警告を知らせる電源レベルの調整
- 1 警告が知らされた時にコンピュータがどう反応するかを選択
 - 何もしない (**アクションなし**)
 - スタンバイモードを起動する
 - 休止状態モードを起動する
 - Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切る (**電源オフ**)

電力の管理ウィザードの完了


画面に、お使いのコンピュータの QuickSet 電源設定、スリープモード、およびバッテリー警告設定の概要が表示されます。選択した設定を確認して、**完了** をクリックします。

QuickSet の詳細については、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

省電力モード

スタンバイモード

スタンバイモードでは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでとくと (タイムアウト)、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約します。スタンバイモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

 **注意:** スタンバイモードのときに AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの場合、**スタート** ボタンをクリックし、**終了オプション** をクリックして、**スタンバイ** をクリックします。

Windows 2000 の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**シャットダウン** をクリックします。次に **スタンバイ** をクリックして、OK をクリックします。

または、

- 1 **電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定 (または 詳細) タブ** で、ご自分で設定した電源管理のオプションに応じて、次の方法の一つを実行します。


- ディスプレイを閉じます。

-   を押します。

スタンバイモードから通常の動作状態に戻るには、**詳細設定 (または 詳細) タブ** のオプション設定に応じて電源ボタンを押すか、またはディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドやトラックステイックに触れてもコンピュータはスタンバイモードから復帰しません。




休止状態モード


休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

 **注意:** お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、デバイスの取り外し、またはコンピュータをドッキングデバイスから取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手で休止状態モードを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**終了オプション** をクリックして、 を押したまま **休止状態** をクリックします。
Windows 2000 の場合、[休止状態をサポートする](#) が設定されている場合、**スタート** ボタンをクリックし、**シャットダウン** をクリックして、**休止状態** をクリックします。次に、OK をクリックします。
または、
 - 1 **電源オプションのプロパティ** ウィンドウの [詳細設定 \(または 詳細\)](#) タブで、ご自分で設定した電源管理のオプションに応じて、次の方法の一つを実行し、休止状態モードを起動します。
 - ディスプレイを閉じます。
 -   を押します。

 **メモ:** PC カードによっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。その場合、[カードを取り外して取り付けなおす](#)か、コンピュータを再起動してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドやトラックスティックに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源オプションのプロパティ

電源オプションのプロパティ ウィンドウで、消費電力の管理およびバッテリーの充電状況の監視をおこないます。Microsoft Windows の **電源オプションのプロパティ** ウィンドウを表示するには、次の手順を実行します。


- 1 Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。次に、**電源オプション** をクリックします。
- 1 Windows 2000 の場合、**コントロールパネル** を開いて、**電源オプション** アイコンをダブルクリックします。

電源設定タブ

Windows XP は、選択した電源設定によってプロセッサのパフォーマンスレベルを調整します。パフォーマンスレベルの設定には、それ以外の調整は必要ありません。その他のオペレーティングシステムのプロセッサのパフォーマンスレベル設定に関する情報は、「[Intel SpeedStep® テクノロジ](#)」を参照してください。

設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードにする、ディスプレイの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。電源管理のオプションの詳細については、[ヘルプとサポートセンター](#) (Windows 2000 の場合、Windows ヘルプ) を参照してください。

アラームタブ

 **メモ:** アラームの音が聞こえるようにするには、各 **アラームの動作** ボタンをクリックして、**音で知らせる** を選択します。

バッテリー低下アラーム および **バッテリー切れアラーム** 設定は、バッテリーの充電量が一定以下になったことをメッセージを表示して警告します。コンピュータがお手元に届いたときには、**バッテリー低下アラーム** および **バッテリー切れアラーム** のチェックボックスが選択されています。これらの設定を変えずにお使いになることをお勧めします。バッテリー低下アラームの詳細については、「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。

電源メータータブ

電源メーター タブは、現在の供給電源とバッテリーの充電残量を表示します。

詳細設定 (または詳細) タブ

詳細設定 (または 詳細) タブでは、以下のことが実行できます。


- 1 電源のアイコンと**スタンバイモード**のパスワードオプションの設定
- 1 次の機能が設定できます (お使いのオペレーティングシステムによって設定が異なります)。
 - 画面上でユーザーに指示を出す (**必要な操作**)
 - スタンバイモードを起動する
 - **休止状態モード**を起動する
 - Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切る (**電源オフ**)
 - 何もしない (**何もしない**)


これらの機能を設定するには、対応するドロップダウンメニューからオプションをクリックして、OK をクリックします。

休止状態タブ

休止状態 タブでは、**休止状態を有効にする** (または、**休止状態をサポートする**) チェックボックスをクリックすることで、休止状態モードを有効にします。

Intel SpeedStep® テクノロジタブ

 **メモ:** Windows XP は、選択した電源設定によってプロセッサのパフォーマンスレベルを調整します。「[電源設定タブ](#)」を参照してください。

 **メモ:** Intel SpeedStep テクノロジを使用するには、Windows オペレーティングシステムを実行しなければなりません。

お使いのオペレーティングシステムやマイクロプロセッサによって多少異なりますが、**電源オプションのプロパティ**ウィンドウは、Intel SpeedStep® **テクノロジー** タブを含みます。Intel SpeedStep テクノロジを使用すると、コンピュータがバッテリーまたは AC 電源のいずれかで動作している場合でも、マイクロプロセッサのパフォーマンスレベルを設定できます。お使いのオペレーティングシステムによって多少異なりますが、一般的な設定は以下のとおりです。

- 1 **自動** — コンピュータが AC 電源で動作している場合、プロセッサは最大速度で動作します (最大パフォーマンスモード)。コンピュータがバッテリー電源で動作している場合、プロセッサ速度はバッテリー最適化モードになります。
- 1 **最大パフォーマンス** — コンピュータがバッテリー電源で動作している場合でも、最大パフォーマンスレベルに設定されます。
- 1 **バッテリーに合わせたパフォーマンス** — コンピュータがコンセントに接続されている場合でも、バッテリー電源に最適なパフォーマンスレベルで動作するように設定されます。
- 1 **バッテリーの最長寿命** — バッテリーの寿命を延ばすために、プロセッサの動作速度を遅くします。

追加の Intel SpeedStep オプションを変更するには、次の手順を実行します。

- 1 **詳細** をクリックして、いずれかのオプションをクリックします。
 - 1 **Intel SpeedStep technology コントロールを無効にする**
 - 1 **タスクバーからアイコンを削除する**
 - 1 **パフォーマンスの変更時に音声通知を無効にする**
- 2 変更するには、OK をクリックし、もう一度 OK をクリックして、Intel SpeedStep **テクノロジー (詳細)** ウィンドウを閉じます。

通知領域にあるフラグアイコンを右クリックして、Intel SpeedStep 設定を変更することもできます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

問題の解決

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [電源の問題](#)
- [エラーメッセージ](#)
- [ビデオとディスプレイの問題](#)
- [サウンドとスピーカーの問題](#)
- [プリンタの問題](#)
- [モデムおよびインターネット接続の問題](#)
- [タッチパッドまたはマウスの問題](#)
- [外付けキーボードの問題](#)
- [入力時の問題](#)
- [ドライブの問題](#)
- [PC カードの問題](#)
- [スマートカードの問題](#)
- [ネットワークの問題](#)
- [プログラムの一般的な問題](#)
- [Dell™ コンピュータが濡れた場合](#)
- [コンピュータを落としたり損傷を与えた場合](#)
- [その他の技術的な問題の解決](#)

電源の問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合、コンピュータの電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押して スタンバイモード を終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。
バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。 <ol style="list-style-type: none">1. バッテリーを取り付けなおします。2. AC アダプタを使用してコンピュータをコンセントに接続します。3. コンピュータの電源を入れます。
バッテリーステータスライトを確認します — バッテリーステータスライトが橙色に点滅または点灯している場合、バッテリーの充電が低下しているか充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。 バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。 バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。 ヘルプにお問い合わせください 。
バッテリーの温度を確認します — バッテリーの温度が 0 °C 以下の場合、コンピュータは起動しません。
コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。
AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。
コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入るか確認します。
電氣的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。
電源のプロパティを調整します — 「 電力の管理 」を参照してください。
メモリモジュールを取り付けなおします — コンピュータの電源ライトが点灯していて画面に何も表示されない場合、 メモリモジュールを取り付けなおします 。

コンピュータへの十分な電力の確保

お使いのコンピュータは、90 W の AC アダプタを使用するように設計されています。システムの性能を最適にするために、このアダプタを常にお使いください。

お使いのコンピュータに、他の Dell™ ノートブックコンピュータで使用している 65 W の AC アダプタを使用することはできますが、システムの性能が低下します。65 W の AC アダプタを含む低電力の AC アダプタを使用すると、WARNING (警告) メッセージが表示されることがあります。

ドッキング電力の考慮

コンピュータが Dell D/Dock ドッキングデバイスに接続されている場合、電力の消費が増加するためにバッテリーのみでの通常のコンピュータの操作はできません。コンピュータが Dell D/Dock ドッキングデバイスに接続されている場合、90 W の AC アダプタがコンピュータに接続されているか確認します。

コンピュータの電源が入っている状態でのドッキング

コンピュータが動作中に Dell D/Dock ドッキングデバイスまたは Dell D/Port ドッキングデバイスに接続されている場合、AC アダプタをコンピュータに接続するまでドッキングデバイスは検出されません。

コンピュータがドッキングされている状態で AC 電源が切れた場合

Dell D/Dock ドッキングデバイスまたは Dell D/Port ドッキングデバイスに接続されている間にコンピュータの AC 電源が切れた場合、コンピュータはただちに低パフォーマンスモードに入ります。

エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

Auxiliary device failure (補助デバイスエラー) — タッチパッド、トラックスティック、または外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで Pointing Device オプションの設定を有効にします。問題が解決しない場合、 ヘルプにお問い合わせください 。
Bad command or file name (コマンド名またはファイル名が違う) — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。
Cache disabled due to failure (障害によりキャッシュが無効になりました) — マイクロプロセッサに内蔵のプライマリキャッシュに問題が発生しました。 ヘルプにお問い合わせください 。
CD drive controller failure (CD ドライブコントローラエラー) — CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません。「 ドライブの問題 」を参照してください。
Data error (データエラー) — ハードドライブからデータを読み取ることができません。「 ドライブの問題 」を参照してください。
Decreasing available memory (使用可能メモリ減少) — 1 つまたは複数のメモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。「 メモリの増設 」を参照してください。
Disk C: failed initialization (ディスク C: の初期化失敗) — ハードドライブの初期化に失敗しました。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Hard-Disk Drive テストを実行します。
Drive not ready (ドライブの準備ができていません) — 動作を続ける前にハードドライブをベイに取り付けます。ハードドライブベイに ハードドライブを取り付けます 。
Error reading PCMCIA card (PCMCIA カードの読み取りエラー) — コンピュータが PC カードを認識できません。 PC カードを取り付けなおす か、別の PC カードを使用します。
Extended memory size has changed (拡張メモリの容量が変更されています) — NVRAM に記録されているメモリ容量が実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、 ヘルプにお問い合わせください 。
Gate A20 failure (ゲート A20 エラー) — メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。 メモリモジュールを取り付けなおす か、必要であれば取り替えます。
General failure (一般的なエラー) — オペレーティングシステムがコマンドを実行できません。通常、このメッセージの後は Printer out of paper [プリンタの用紙がありません] という具体的な情報が続きます。適切な処置をおこないます。
Hard-disk drive configuration error (ハードディスクドライブ設定エラー) — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、 ハードドライブを取り外して 、コンピュータを CD から起動します。その後コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り付けなおして、コンピュータを再起動します。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Hard-Disk Drive テストを実行します。
Hard-disk drive controller failure 0 (ハードディスクドライブコントローラエラー 0) — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、 ハードドライブを取り外して 、コンピュータを CD から起動します。その後コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り付けなおして、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Hard-Disk Drive テストを実行します。
Hard-disk drive failure (ハードディスクドライブエラー) — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、 ハードドライブを取り外して 、コンピュータを CD から起動します。その後コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り付けなおして、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Hard-Disk Drive テストを実行します。
Hard-disk drive read failure (ハードディスクドライブ読み取りエラー) — ハードドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、 ハードドライブを取り外して 、コンピュータを CD から起動します。その後コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り付けなおして、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Hard-Disk Drive テストを実行します。
Insert bootable media (起動用メディア挿入) — オペレーティングシステムが起動用以外の CD から起動しようとしています。CD を挿入します。
Invalid configuration information-please run System Setup Program (システム情報が間違っています — セットアップユーティリティを実行します) — システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティで適切なオプションを修正します。「 セットアップユーティリティの使い方 」を参照してください。
Keyboard clock line failure (キーボードクロックラインエラー) — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Keyboard Controller テストを実行します。
Keyboard controller failure (キーボードコントローラエラー) — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Keyboard Controller テストを実行します。
Keyboard data line failure (キーボードデータラインエラー) — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Keyboard Controller テストを実行します。
Keyboard stuck key failure (キーボードスタックキーエラー) — 外付けキーボードまたはキーパッドのケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の Stuck Key テストを実行します。
Memory address line failure at address, read value expecting value (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。 メモリモジュールを取り付けなおす か、必要であれば取り替えます。
Memory allocation error (メモリ割り当てエラー) — 実行しようとしているソフトウェアがオペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラムまたはユーティリティとコンフリクトしています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージが再度表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
Memory data line failure at address, read value expecting value (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。 メモリモジュールを取り付けなおす か、必要であれば取り替えます。
Memory double word logic failure at address, read value expecting value (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。 メモリモジュールを取り付けなおす か、必要であれば取り替えます。
Memory odd/even logic failure at address, read value expecting value (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇 / 偶ロジックエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。 メモリモジュールを取り付けなおす か、必要であれば取り替えます。
Memory write/read failure at address, read value expecting value (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。 メモリモジュールを取り付けなおす か、必要であれば取り替えます。
No boot device available (起動デバイスなし) — コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されていて、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。
No boot sector on hard drive (ハードドライブにブートセクターなし) — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。 ヘルプにお問い合わせください 。
No timer tick interrupt (タイマーチェック割り込み信号なし) — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の System Set テストを実行します。
Operating system not found (オペレーティングシステムが見つかりません) — ヘルプにお問い合わせください 。
Optional ROM bad checksum (オプション ROM のチェックサムが違います) — オプションの ROM に問題があります。 ヘルプにお問い合わせください 。
A required .DLL file was not found (必要な .DLL ファイルが見つかりません) — 開こうとしているプログラムに必要なファイルが見つかりません。プログラムを削除してから、再インストールします。

Microsoft® Windows® XP の場合



<ol style="list-style-type: none"> 1. スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。 2. プログラムの追加と削除 をクリックします。 3. 削除したいプログラムを選択します。 4. 削除 ボタンまたは 変更と削除 ボタンをクリックして、画面の指示に従います。 5. インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。
Windows 2000 の場合 <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。 2. アプリケーションの追加と削除 アイコンをダブルクリックします。 3. 削除したいプログラムを選択します。 4. 削除 ボタンまたは 変更 / 削除 ボタンをクリックします。 5. インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。
Sector not found (セクターが見つかりません) — オペレーティングシステムがハードドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードドライブ上に不良セクターがあるか FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を調べます。手順については、Windows ヘルプを参照してください。多くのセクターに障害がある場合、可能であればデータをバックアップし、ハードドライブを再フォーマットします。
Seek error (シークエラー) — オペレーティングシステムがハードドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。
Shutdown failure (終了エラー) — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の System Set テストを実行します。
Time-of-day clock lost power (内部時計の電力低下) — システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試みます。その後すぐにプログラムを終了します。「 セットアップユーティリティの使い方 」を参照してください。メッセージが再度表示された場合、 ヘルプにお問い合わせください 。
Time-of-day clock stopped (内部時計動作停止) — システム設定をサポートする予備バッテリーが切れた可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合、 ヘルプにお問い合わせください 。
Time-of-day not set-please run the System Setup program (時間が設定されていません。セットアップユーティリティを実行します) — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。Date と Time オプションの設定を修正します。「 セットアップユーティリティの使い方 」を参照してください。
Timer chip counter 2 failed (タイマーチップカウンタ 2 エラー) — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の System Set テストを実行します。
Unexpected interrupt in protected mode (保護モードで不正割り込みが発生) — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。「 Dell Diagnostics (診断) プログラムの使い方 」の System Memory テストおよび Keyboard Controller テストを実行します。
x:\ is not accessible. The device is not ready (x:\ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません) — ディスクをドライブに挿入してもう一度アクセスします。
Warning: Battery is critically low (警告: バッテリーが極めて低下しています) — バッテリーの充電量が不足しています 。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、 休止状態モード をアクティブにするか、コンピュータをシャットダウンします。

ビデオとディスプレイの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#) に必要事項を記入してください。

画面に何も表示されない場合

 **メモ:** お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合、バッテリー充電量が低下している可能性があります。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。
コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。
AC アダプタを確認します — AC アダプターケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。
コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入るか確認します。
電源のプロパティを調整します — Windows ヘルプまたは Windows ヘルプとサポートセンター で【スタンバイ】というキーワードを検索します。
画面モードを操作します — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合、   を押して、画面モードを切り換えます。

画面が見づらい場合

輝度を調整します — 輝度の調整については、「 輝度の調整 」を参照してください。
サブウーハーをコンピュータまたはモニターから遠ざけます — 外付けスピーカーのシステムにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがコンピュータまたは外付けモニターから 60 cm 以上離れていることを確認します。
電氣的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。
コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。
Windows のディスプレイ設定を調節します
Windows XP の場合 <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。 2. デスクトップの表示とテーマ をクリックします。 3. 画面 をクリックして、設定 タブをクリックします。 4. 画面の色 および 画面の解像度 で別の設定にしてみます。
Windows 2000 の場合 <ol style="list-style-type: none"> 1. スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。

2. **画面** アイコンをダブルクリックして、**設定** タブをクリックします。
3. **色**、**画面の領域**、および **詳細設定** で別の設定にしてみます。

診断プログラムの Video テストを実行します — エラーメッセージが表示されず、画面の問題があるにもかかわらず画面の一部は表示される場合、[Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の Video テストを実行します。その後、[デルにお問い合わせください](#)。

「エラーメッセージ」を参照します — エラーメッセージが表示される場合、「[エラーメッセージ](#)」を参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します

1. コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
2. コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良である可能性があります。[デルにお問い合わせください](#)。

サウンドとスピーカーの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

内蔵スピーカーに問題がある場合

Windows で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。音の歪みを除去するために音量、低音、または高音の調節をします。


キーボードショートカットを使用して音量を調節します — 「[キーボードとタッチパッドの使い方](#)」を参照してください。   を押して内蔵スピーカーを無効 (ミュート)、または再び有効にします。

サウンド (オーディオ) ドライバを再インストールします — 「[ソフトウェアの再インストール](#)」を参照してください。

CD ドライブのデジタルオーディオが有効になっているか確認します (Windows 2000 のみ)

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャ** をクリックします。
5. **DVD/CD-ROM ドライブ** をダブルクリックします。
6. ドライブ名をダブルクリックします。
7. ドライブの **プロパティ** 画面で、**プロパティ** タブをクリックします。
8. 画面の最下段のボックスをクリックして、CD または DVD ドライブのデジタルオーディオを有効にします。

外付けスピーカーに問題がある場合


 **メモ:** MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴く場合、プレーヤーの音量が十分なことを確認してください。

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。

スピーカーの電源が入っていることを確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

Windows で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。音の歪みを除去するために音量、低音、または高音の調節をします。

スピーカーを確認します — スピーカーのオーディオケーブルをコンピュータの  コネクタに接続します。ヘッドフォンの音量が上げてあることを確認して、音楽 CD を再生します。

スピーカーのセルフテストを実行します — スピーカーによっては、セルフテストボタンがサブウーハーにあります。スピーカーのマニュアルを参照して、セルフテストを実行します。

電氣的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

サウンド (オーディオ) ドライバを再インストールします — 「[ソフトウェアの再インストール](#)」を参照してください。

Diagnostics (診断) プログラムの Misc. PCI Devices テストを実行します — 「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」を参照してください。テストが正常に終了した場合、コントローラは正常に機能しています。

問題が解決されないか、テストが正常に完了しない場合、[デルにお問い合わせください](#)。

CD ドライブのデジタルオーディオが有効になっているか確認します (Windows 2000 のみ)

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **システム** アイコンをダブルクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックします。
4. **デバイスマネージャ** をクリックします。
5. **DVD/CD-ROM ドライブ** をダブルクリックします。
6. ドライブ名をダブルクリックします。
7. ドライブの **プロパティ** 画面で、**プロパティ** タブをクリックします。
8. 画面の最下段のボックスをクリックして、CD または DVD ドライブのデジタルオーディオを有効にします。

プリンタの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

プリンタケーブルの接続を確認します — プリンタケーブルがコンピュータに正しく接続されているか確認します。
プリンタケーブルを確認します <ol style="list-style-type: none">1. コンピュータをシャットダウンして、プリンタの電源を切ります。2. プリンタケーブルを動作確認のとれているケーブルと交換します。3. プリンタおよびコンピュータの電源を入れ、再度印刷を試みます。4. 正常に印刷された場合、デルテクニカルサポートに問い合わせて新しいプリンタケーブルを入手します。
コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。
プリンタの電源が入っているか確認します — プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。
Windows がプリンタを認識しているか確認します <p><u>Windows XP の場合</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。2. プリンタとその他のハードウェア をクリックします。3. インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する をクリックします。プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。4. プロパティ をクリックして、ポート タブをクリックします。印刷するポート が、LPT1:プリンタポートに設定にされているか確認します。 <p><u>Windows 2000 の場合</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、プリンタ をクリックします。 プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。2. プロパティ をクリックして、ポート タブをクリックします。3. 印刷するポート オプションがお使いのプリンタの種類に設定されているか確認します。<ol style="list-style-type: none">1. 並列プリンタ — LPT1 (プリンタポート)1. USB プリンタ — USB
プリンタドライバを再インストールします — 「 ソフトウェアの再インストール 」を参照してください。
プリンタを確認します — プリンタのセルフテストを実行します。テストが正常に完了しない場合、プリンタが不良である可能性があります。プリンタの製造元にお問い合わせください。

モデムおよびインターネット接続の問題

🔴 **注意:** モデムは必ず壁のアナログ電話回線に接続してください。モデムをデジタル電話回線 (ISDN) に接続した場合、故障の原因となります。

🔴 **注意:** モデムおよびネットワークコネクタは同じように見えます。電話線をネットワークコネクタに接続しないでください。

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

📌 **メモ:** ISP (インターネットサービスプロバイダ) に接続できる場合、モデムは正常に機能しています。モデムが正常に機能していて、問題が解決できない場合、ご利用の ISP にお問い合わせください。

電話ジャックを確認します — 電話線をモデムから抜いて、電話に接続します。ダイヤル音を聞きます。プッシュホンサービスを受けているか確認します。モデムを別の電話ジャックに接続してみます。 接続速度が遅いのは、電話回線またはネットワークの状況だけでなく電話の雑音も原因となることがあります。詳細については、電話会社、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
モデムを直接電話ジャックに接続します — 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話線を使ってモデムを直接電話ジャックに接続してみます。
接続を確認します — 電話線がモデムに接続されているか確認します。
電話線を確認します — 他の電話線を使用してみます。3メートル以内の電話線を使用します。
聞きなれないダイヤル音 — ボイスメールサービスを受けている場合、メッセージを受けたときに聞きなれないダイヤル音があることがあります。ダイヤル音を元に戻す手順については、電話会社にお問い合わせください。
キャッチホン機能の設定を解除します — キャッチホン機能を解除します。次に、ダイヤルアップネットワークを調節します。 <p><u>Windows XP の場合</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。2. プリンタとその他のハードウェア をクリックして、電話とモデムのオプション をクリックします。次に、ダイヤル情報 タブをクリックして、編集 をクリックします。3. 所在地の編集 ウィンドウで キャッチホン機能を解除するための番号 にチェックマークが付いていることを確認し、一覧でコードをクリックするか、または電話会社から提供されたシーケンスを入力します。4. 適用 をクリックして、OK をクリックします。5. 電話とモデムのオプション ウィンドウを閉じます。6. コントロールパネル を閉じます。

Windows 2000 の場合

1. スタート ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **電話とモデムのオプション** アイコンをダブルクリックします。
3. **ダイヤル情報** タブをクリックして、**編集** をクリックします。
4. **キャッチホン機能解除するための番号** にチェックマークが付いていることを確認し、一覧でコードをクリックするか、または電話会社から提供されたシーケンスを入力します。
5. **適用** をクリックして、OK をクリックします。
6. **電話とモデムのオプション** ウィンドウを閉じます。

モデムが Windows と通信しているか確認します

Windows XP の場合

1. スタート ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**電話とモデムのオプション** をクリックします。
3. **モデム** タブをクリックします。
4. モデムの COM ポートをクリックします。
5. モデムが Windows と通信しているか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

Windows 2000 の場合

1. スタート ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **電話とモデムのオプション** をダブルクリックします。
3. **モデム** タブをクリックします。
4. モデムの COM ポートをクリックします。
5. モデムが Windows と通信しているか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

タッチパッドまたはマウスの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

タッチパッドの設定を確認します

Windows XP の場合

1. スタート ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2. **マウス** をクリックします。
3. 設定を調整してみます。

Windows 2000 の場合

1. スタート ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **マウス** アイコンをダブルクリックします。
3. 設定を調整してみます。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. マウスを外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを移動し、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良である可能性があります。


セットアップユーティリティの設定を確認します — セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します。(コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します。)

マウスコントローラを確認します — マウスコントローラ (ポインタの動きに影響します) およびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、[Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の Pointing Devices テストグループの Mouse テストを実行します。

タッチパッドドライバを再インストールします — 「ソフトウェアの再インストール」を参照してください。

外付けキーボードの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

 **メモ:** MS-DOS® モードで動作しているとき、あるいは Dell Diagnostics (診断) プログラムまたは [セットアップユーティリティ](#) を実行するときは、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します

1. コンピュータをシャットダウンして、1分待ってから再度電源を入れます。
2. 起動ルーチン中にキーボード上の NumLock、CapsLock、および Scroll Lock ライトの点滅状態を確認します。
3. Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** (または **プログラム**)、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。
4. 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順を確認できない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。


外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. 外付けキーボードを取り外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** (または **プログラム**)、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。
5. 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

キーボードの Diagnostics (診断) テストを実行します — Dell Diagnostics (診断) プログラムの PC-AT Compatible Keyboards テストを実行します。テスト結果によって外付けキーボードの問題であると表示された場合、[ヘルプにお問い合わせください](#)。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合、 を押し、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

ドライブの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

CD、CD-RW、DVD、および DVD+RW を再生できない場合

メモ: 世界各国には様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

高速 CD ドライブの振動は異常ではなく、通常、ノイズを引き起こすこともあります。このノイズは、ドライブや CD の異常ではありません。

Windows がドライブを認識しているか確認します — Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。その他のオペレーティングシステムの場合、**マイコンピュータ** をダブルクリックします。ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して、除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。起動ディスクを挿入してコンピュータを再起動します。

別のディスクを使用します — 元のディスクに問題がないことを確認するため、別のディスクを挿入します。

Windows で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

ドライブを取り付けなおします

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. ドライブを取り外します。手順については、「[モジュールベイの使い方](#)」を参照してください。
3. ドライブを取り付けなおします。
4. コンピュータの電源を入れます。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — 「[コンピュータをクリーニングする](#)」の手順を参照してください。

ドライブのエラーを確認します

ドライブエラーのメッセージが表示された場合、「[エラーメッセージ](#)」の説明を参照してください。

[Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の IDE Drives テストを実行します。

CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが取り出せない場合

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にある取り出し穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
3. トレイが止まるまで、慎重に引き出します。

聞きなれない摩擦音またはきしむ音をする場合

1. 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
1. ディスクが正しく挿入されているか確認します。

CD-RW または DVD+RW ドライブに書き込みができない場合

CD-RW への書き込みの前に Windows のスタンバイモードまたは休止状態モードを無効にします — Windows ヘルプまたは Windows ヘルプとサポートセンター で【スタンバイ】または【休止状態】というキーワードを検索します。
書き込み処理速度を低く設定します — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。
実行中のその他すべてのプログラムを閉じます — CD-RW または DVD+RW に書き込む前に、実行中のその他すべてのプログラムを閉じることで、問題を回避できる場合があります。

ハードドライブに問題がある場合

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。
ドライブのエラーを確認します <ol style="list-style-type: none">Windows のエラーチェックツールを実行するには、次の手順を実行します。<ol style="list-style-type: none">Windows XP の場合、スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。Windows 2000 の場合、マイコンピュータ をダブルクリックします。エラーが起こっているか調べるドライブのドライブ文字（ローカルディスク）を右クリックして、プロパティ をクリックします。ツール タブをクリックします。エラーチェック の項目で、チェックする をクリックします。開始 をクリックします。Dell Diagnostics (診断) プログラム の IDE Drives テストを実行します。

PC カードの問題

PC カードを確認します — PC カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。
カードが Windows によって認識されているか確認します — Windows タスクバーのハードウェアの安全な取り外し（ハードウェアの取り外しまたは取り出し）アイコンをダブルクリックします。カードが一覧に表示されているか確認します。
PC カードの Diagnostics (診断) テストを実行します — Diagnostics (診断) テストがカードに含まれている場合、手順については、PC カードに付属のマニュアルを参照してください。
デルから購入した PC カードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください 。
デル以外から購入した PC カードに問題がある場合 — PC カードの製造元にお問い合わせください。

スマートカードの問題

スマートカードを確認します — スマートカードが正しくスマートカードスロットに挿入されているか確認します。
デルから購入したスマートカードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください 。
デル以外から購入したスマートカードに問題がある場合 — スマートカードの製造元にお問い合わせください。

ネットワークの問題


以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#) に必要事項を記入してください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルコネクタが、コンピュータのコネクタおよび壁のネットワークジャックにしっかりと接続されているか確認します。
ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します — 緑色に点灯している場合、ネットワークの接続に問題はありません。緑色に点灯していない場合、ネットワークケーブルを取り替えます。橙色に点灯している場合、ネットワークアダプタドライバがロードされ、ネットワークアクティビティが検出されています。
コンピュータを再起動します — もう一度、ネットワークにログオンしてみてください。
ネットワーク管理者にお問い合わせます — ネットワーク設定が正しいこと、およびネットワークが機能していることをネットワーク管理者に確認します。

プログラムの一般的な問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#) に必要事項を記入してください。




プログラムが壊れた場合

 **メモ:** 通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたは CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 多くのソフトウェアメーカーは、問題の解決方法をウェブサイトに掲載しています。プログラムが正しくインストールおよび設定されていることを確認します。必要な場合、プログラムを再インストールします。

プログラムの反応が停止した場合

プログラムを終了します

1.    を同時に押します。
2. **アプリケーション** タブをクリックして、反応がなくなったプログラムを選択します。
3. **タスクの終了** をクリックします。

画面が青一色になった場合

コンピュータの電源を切ります — コンピュータがキーストローク機能や正しいシャットダウン手順に反応しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを押します。次に、再度電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。

Windows XP の場合

コンピュータが再起動します。

Windows 2000 の場合


Windows を正常に終了できなかった場合、画面が青一色になり、スキャンディスクが自動的に実行されます。画面の指示に従います。

エラーメッセージが表示される場合


「エラーメッセージ」を見なおします — メッセージを調べて、適切な処置をおこないます。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。


問題がソフトウェアに関連していることを確認します — [Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#) の System Board Devices テストを実行します。デバイスグループ上のすべてのテストが正常に実行される場合、ソフトウェアに関連した問題である可能性があります。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Dell™ コンピュータが濡れた場合

 **警告:** この手順は、必ず安全であることを確認した上で実行してください。コンピュータがコンセントに接続されている場合、回路ブレーカーで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルをコンセントから外してください。濡れた電源ケーブルを通電している電源から外すときは、細心の注意を払ってください。


1. コンピュータをシャットダウンし、AC アダプタをコンピュータから取り外し、次に AC アダプタをコンセントから取り外します。
2. コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから外します。
3. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。
4. [モジュールベイデバイスを取り外し](#)、取り付けられているすべての PC カードを取り外して、安全な場所に置いて乾燥させます。
5. バッテリーを取り外します。
6. バッテリーを拭いてから、安全な場所に置いて乾燥させます。
7. [ハードドライブを取り外します](#)。
8. [メモリモジュールを取り外します](#)。
9. ディスプレイを開き、コンピュータの右側を上にした状態で 2 冊の本や、それに代わる支えになる物の上に置いて、コンピュータ周辺の空気を循環させます。室温で乾燥した場所にコンピュータを置き、24 時間以上乾燥させます。

 **注意:** 乾燥時間を短くするため、ヘアードライヤーまたはファンなどの人工的な手段は用いないでください。

 **警告:** 感電を防ぐため、コンピュータが完全に乾いていることを確認してから、次の手順に進んでください。

10. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。
11. メモリモジュール、メモリモジュールカバー、ネジを取り付けます。
12. ハードドライブを取り付けます。
13. 取り外したモジュールベイデバイスおよび PC カードを取り付けます。


14. バッテリーを取り付けます。
15. コンピュータの電源を入れて、コンピュータが正しく動作しているか確認します。

 **メモ:** 保証の範囲については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合、[デルにお問い合わせください](#)。

コンピュータを落としたり損傷を与えた場合

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. AC アダプタをコンピュータおよびコンセントから取り外します。
3. コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから外します。
4. バッテリーを取り外して、取り付けなおします。
5. コンピュータの電源を入れます。

 **メモ:** 保証の範囲については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合、[デルにお問い合わせください](#)。

その他の技術的な問題の解決

デルサポートウェブサイトアクセスします — 一般的な使用方法、インストール、およびトラブルシューティングについての質問は、support.jp.dell.com にアクセスします。デルでサポートするハードウェアとソフトウェアの説明については、「[困ったときは](#)」を参照してください。

E メールサポート — support.jp.dell.com にアクセスします。画面左側に表示される **テクニカルサポート** 欄にある **E メールサポート** で、ご質問や不具合をデルテクニカルサポートにお問い合わせください。デルの担当者が E メールでご質問や不具合にお答えします。(ただし、このサービスは E メールサポートをご購入されたお客様のみとなります。) デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、「[困ったときは](#)」を参照してください。

デルへのお問い合わせ — デルサポートウェブサイト (support.jp.dell.com) で問題が解決できなかった場合、デルのテクニカルサポートにお電話でお問い合わせください。デルでサポートするハードウェアとソフトウェアの説明については、「[困ったときは](#)」を参照してください。


[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)


Dell™ QuickSet 機能

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [QuickSet アイコンのクリック](#)
- [QuickSet アイコンのダブルクリック](#)
- [QuickSet アイコンの右クリック](#)

Dell™ QuickSet は、タスクバーにある  アイコンから実行しますが、機能はアイコンをクリック、ダブルクリック、右クリックする場合でそれぞれ異なります。

QuickSet アイコンのクリック


 アイコンをクリックして、以下の機能を実行できます。

- 1 [電力の管理ウィザード](#) を使っての電源管理設定の調整
 - 1 アイコンとツールバーのサイズの調整
 - 1 [電力の管理ウィザード](#) で設定した電源設定の選択
 - 1 プレゼンテーションモードのオンまたはオフの切り替え
-


QuickSet アイコンのダブルクリック

 アイコンをダブルクリックして、[電力の管理ウィザード](#) を使っての電源管理設定の調整をします。

QuickSet アイコンの右クリック

 アイコンを右クリックして、以下の機能を実行できます。

- 1 画面上の [温度メーター](#) の有効化または無効化
- 1 画面上の [ボリュームメーター](#) の有効化または無効化
- 1 [ワイヤレスアクティビティ](#) のオンまたはオフの切り替え
- 1 Dell『QuickSet』のヘルプの表示
- 1 お使いのコンピュータにインストールされている QuickSet プログラムのバージョンおよび著作権の日付の表示

QuickSet の詳細については、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、[ヘルプ](#) をクリックしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)


部品の拡張および交換


Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [メモリの増設](#)
- [ミニ PCI カードの追加](#)
- [モデムの追加](#)
- [ハードドライブの取り付け](#)
- [Bluetooth™ カードの取り付け](#)
- [コンピュータをテレビに接続する](#)


メモリの増設

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、「仕様」を参照してください。お使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

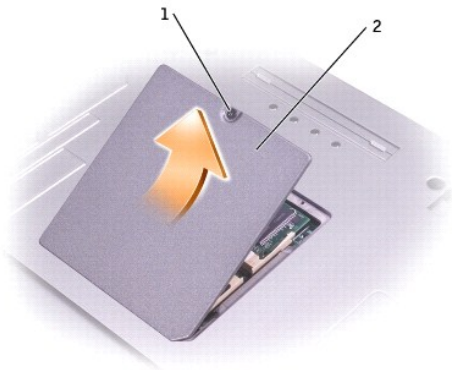
 **メモ:** デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。


1. コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに取り付けられている場合、ドッキングを解除します。ドッキングステーションの取り扱いについては、ドッキングステーションに付属のマニュアルを参照してください。
4. コンピュータをコンセントから抜きます。
5. 10 ~ 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。
6. 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびモジュールベイデバイスを取り外します。

 **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

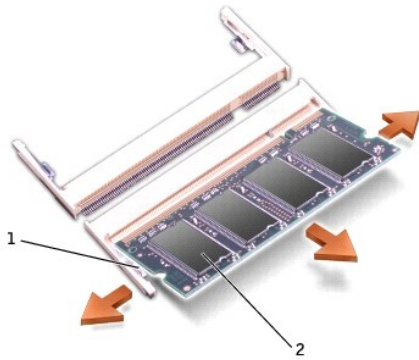
7. コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーの固定ネジを緩めて、カバーを取り外します。



1	固定ネジ
2	メモリモジュールカバー

 **注意:** メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

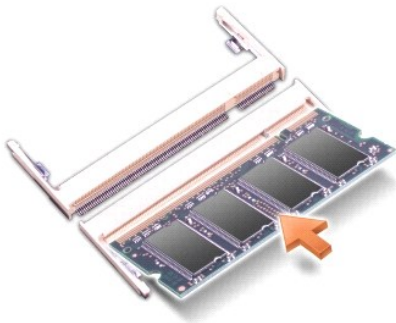
8. メモリモジュールを交換する場合、既存のモジュールを取り外します。
 - a. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
 - b. モジュールをコネクタから取り外します。



1	固定クリップ (各コネクタに 2)
2	メモリモジュール

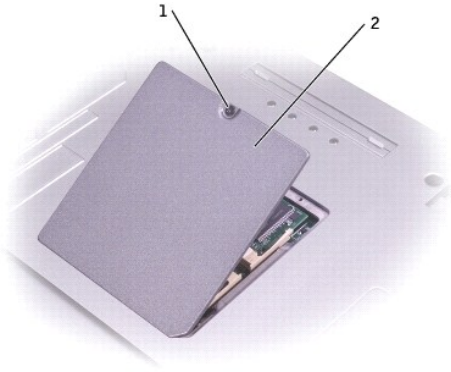
- **注意:** メモリモジュールを 2 つのコネクタに取り付ける必要がある場合、メモリモジュールは、まず「DIMM A」のラベルの付いているコネクタに取り付け、次に「DIMM B」のラベルの付いているコネクタに取り付けます。コネクタへの損傷を避けるために、45 度の角度でメモリモジュールを差し込みます。
9. 身体の静電気を逃がしてから、新しいメモリモジュールを取り付けます。
- モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。
 - メモリモジュールを 45 度の角度でしっかりスロットに押し込み、メモリモジュールがカチッと収まるまで押し下げます。カチッという感触が持てない場合は、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

📌 **メモ:** メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータが起動しないことがあります。この場合、エラーメッセージは表示されません。



10. カバーを取り付けます。

● **注意:** メモリモジュールカバーが開みにくい場合は、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損することがあります。



1	固定ネジ
2	メモリモジュールカバー

11. バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。
12. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム設定情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリの容量を確認するには、次の手順を実行します。

- 1 Windows XP の場合、スタート ボタンをクリックし、ヘルプとサポート をクリックして、コンピュータの情報をクリックします。
- 1 Windows 2000 の場合、デスクトップの マイコンピュータ アイコンを右クリックして、全般 タブをクリックします。

ミニ PCI カードの追加

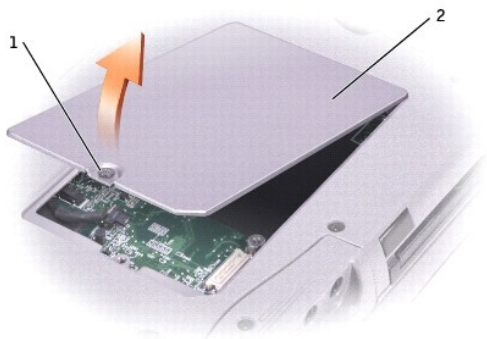
コンピュータと一緒にミニ PCI カードをご購入された場合、カードは既に取り付けられています。

警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

1. コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに取り付けられている場合、ドッキングを解除します。ドッキングステーションの取り扱いについては、ドッキングステーションに付属のマニュアルを参照してください。
4. コンピュータをコンセントから抜きます。
5. 10 ~ 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。
6. 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびモジュールベイデバイスを取り外します。

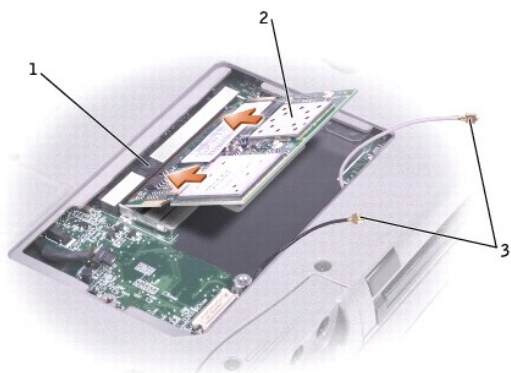
注意: コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

7. コンピュータを裏返します。
8. ミニ PCI カード / モデムカバーの固定ネジを緩め、カバーを取り外します。



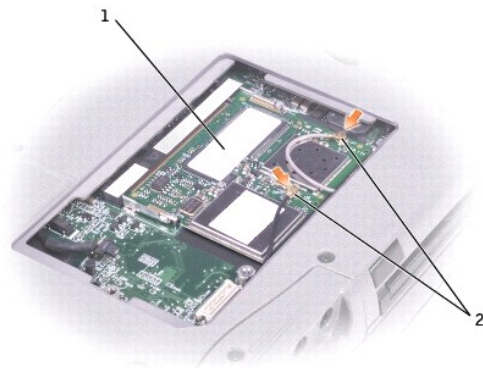
1	固定ネジ
2	ミニ PCI カード / モデムカバー

9. ミニ PCI カードが取り付けられていない場合、[手順 10](#) に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合、既存のカードを以下のように取り外します。
- ミニ PCI カードを取り付けられているすべてのケーブルから取り外します。
 - ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製の固定タブを広げます。
 - ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げます。



1	ミニ PCI カードコネクタ
2	ミニ PCI カード
3	アンテナケーブル (2)

- ➡ **注意:** ミニ PCI カードの損傷を防ぐため、ケーブルはカードの上や下に絶対に置かないでください。
 - ➡ **注意:** コネクタは確実に挿入できるような設計されています。抵抗を感じる場合、コネクタを確認して、カードを揃えなおします。
- ミニ PCI カードアセンブリを 45 度の角度でコネクタに合わせ、カチッという感触が持てるまでミニ PCI カードをコネクタに押し込みます。
 - アンテナケーブルをミニ PCI カードに接続します。



1	ミニ PCI カード
2	アンテナケーブル (2)

- カバーを取り付けて、ネジを締めます。

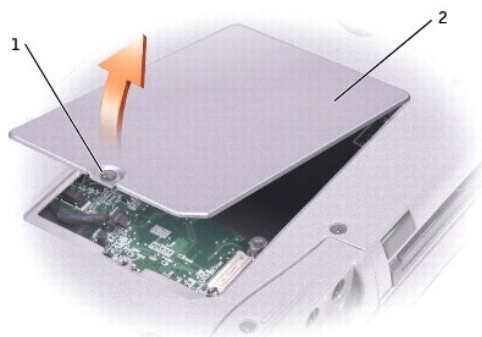
モデムの追加

コンピュータと一緒にオプションのモデムをご購入された場合、モデムは出荷時に取り付けられています。

警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

注意: コンポーネントおよびカードは線を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。

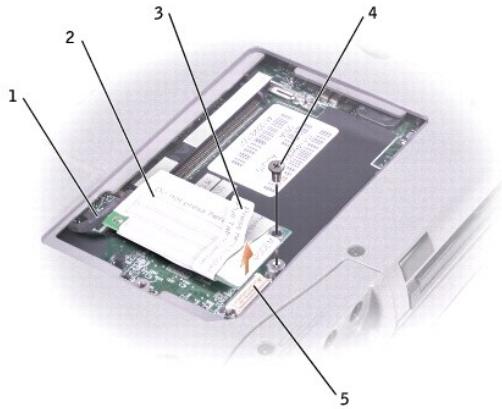
- コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
- コンピュータがドッキングされている場合、ドッキングを解除します。
- コンピュータをコンセントから抜きます。
- 10 ~ 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。
- 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびデバイスを取り外します。
- コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。
- コンピュータを裏返し、ミニ PCI カード / モデムカバーの固定ネジを緩めます。



1	固定ネジ
2	ミニ PCI カード / モデムカバー

- モデムが取り付けられていない場合、[手順10](#)に進みます。モデムを交換する場合、既存のモデムを取り外します。

- a. モデムをシステム基板に固定しているネジを外して、横に置きます。
- b. 取り付けられているブルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上のコネクタから引き上げて、モデムケーブルを取り外します。



1	モデムケーブル
2	モデム
3	ブルタブ
4	ネジ
5	システム基板コネクタ

10. モデムケーブルをモデムに接続します。

注意: ケーブルコネクタは正しく挿入できるように設計されています。無理に接続しないでください。

11. モデムとネジ穴を合わせて、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。
12. ネジを取り付けて、モデムをシステム基板に固定します。
13. ミニ PCI カード / モデムカバーを取り付けます。

ハードドライブの取り付け

警告: ドライブが高温のときにハードドライブをコンピュータから取り外す場合、ハードドライブの金属部分に触れないでください。

警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

注意: データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

注意: ハードドライブはとて壊れやすく、わずかな衝撃でも破損することがあります。

メモ: デルではデル製以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供はおこなっておりません。

ハードドライブベイのハードドライブを交換するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに取り付けられている場合、ドッキングを解除します。ドッキングステーションの取り扱いについては、ドッキングステーションに付属のマニュアルを参照してください。
4. コンピュータをコンセントから抜きます。
5. 10 ~ 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。
6. 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびモジュールベイデバイスを取り外します。

注意: コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

7. コンピュータを裏返し、ハードドライブネジを外します。



1	ハードドライブネジ
---	-----------

注意：ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。静電気障害の対処については、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

8. ハードドライブをコンピュータから引き出します。
9. 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードドライブを保管するためや持ち運ぶために、梱包を保管しておいてください。

注意：ドライブを挿入する際は、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

10. ハードドライブが完全にベイに収まるまでスライドします。
11. ネジを取り付けて、締めます。
12. 『オペレーティングシステム CD』を使って、コンピュータで使用するオペレーティングシステムをインストールします。
13. 『Drivers and Utilities CD』を使って、コンピュータで使用するドライバおよびユーティリティをインストールします。

Bluetooth™ カードの取り付け

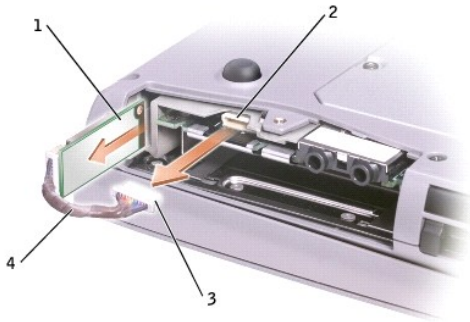
コンピュータと一緒に Bluetooth カードをご購入された場合、カードは既に取り付けられています。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

1. コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
3. コンピュータがドッキングデバイスに取り付けられている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの取り扱いについては、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
4. コンピュータをコンセントから抜きます。
5. 10 ~ 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。
6. 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびモジュールベイデバイスを取り外します。

注意：コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

7. [ハードドライブ](#)を取り外します。
8. Bluetooth カードコネクタをシステム基板コネクタから引き出します。
9. ケーブルを引き出して、Bluetooth カードをコンピュータから取り外します。

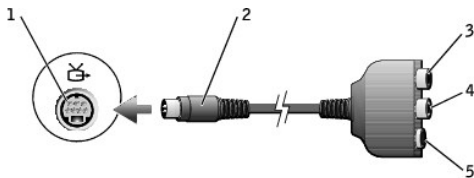


1	Bluetooth カード
2	システム基板コネクタ
3	Bluetooth カードコネクタ
4	ケーブル

コンピュータをテレビに接続する

メモ: テレビとコンピュータを接続するビデオおよびオーディオケーブルは、お使いのコンピュータに付属していません。必要なケーブルは、お近くの電気店でお買い求めください。

お使いのコンピュータには S ビデオ TV 出力コネクタがあり、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルが付属しています。これらを使ってテレビやステレオオーディオデバイスとコンピュータを接続できます。TV / デジタルオーディオアダプタケーブルには、S ビデオ、コンポジットビデオ、および S/PDIF デジタルオーディオ用のコネクタがあります。



1	S ビデオ TV 出力コネクタ
2	TV / デジタルオーディオアダプタケーブル
3	S/PDIF デジタルオーディオコネクタ
4	コンポジットビデオコネクタ
5	S ビデオ端子

S/PDIF デジタルオーディオに対応していないテレビやオーディオデバイスには、コンピュータ側面にあるオーディオコネクタを使って、テレビまたはオーディオデバイスにコンピュータを接続します。

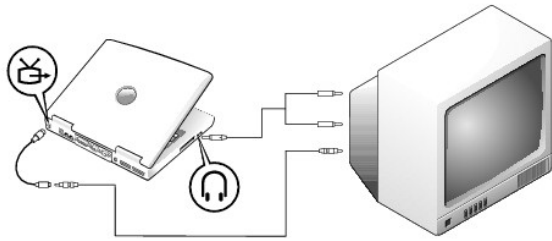
以下の組み合わせの 1 つを使って、ビデオケーブルおよびオーディオケーブルをコンピュータに接続することをお勧めします。

メモ: 各サブセクションの初めに接続の組み合わせ図があるので、どの方法をお使いになるかを定める参考にしてください。

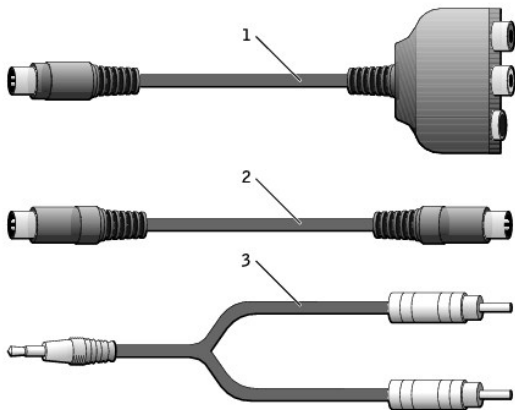
- 1 [S ビデオおよび標準オーディオ](#)
- 1 [S ビデオおよびデジタルオーディオ](#)
- 1 [コンポジットビデオおよび標準オーディオ](#)
- 1 [コンポジットビデオおよびデジタルオーディオ](#)

ケーブル接続が完了したら、「[テレビの表示設定を有効にする](#)」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。また、S/PDIF デジタルオーディオをお使いの場合、「[S/PDIF デジタルオーディオを有効にする](#)」を参照してください。

S ビデオおよび標準オーディオ



作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

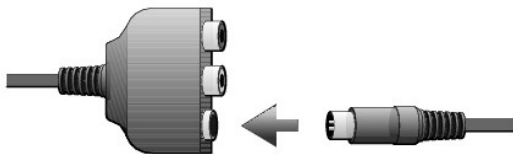


1	TV / デジタルオーディオアダプタケーブル
2	Sビデオケーブル
3	オーディオケーブル

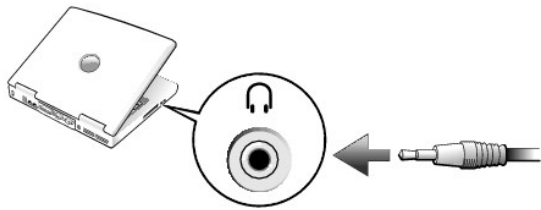
1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

メモ: お使いのテレビまたはオーディオデバイスが S ビデオ対応で、S/PDIF デジタルオーディオ対応ではない場合、S ビデオケーブルを直接コンピュータの S ビデオ端子に (ビデオアダプタケーブルを使用しないで) 接続できます。

2. TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3. S ビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルの S ビデオ端子に差し込みます。

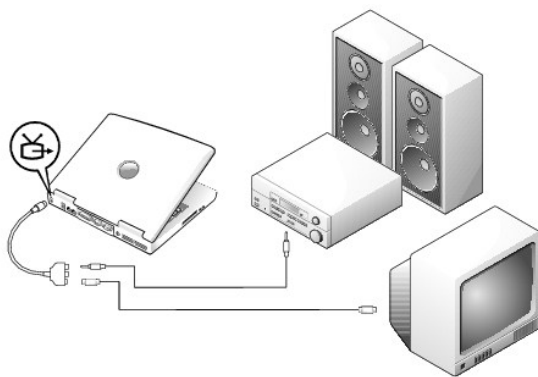


4. S ビデオケーブルのもう一方の端をテレビに差し込みます。
5. コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

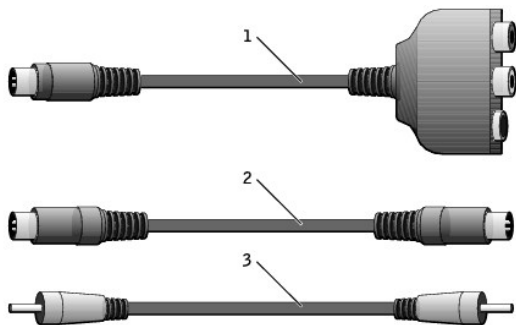


6. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
7. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイスの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8. 「[テレビの表示設定を有効にする](#)」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

S ビデオおよびデジタルオーディオ

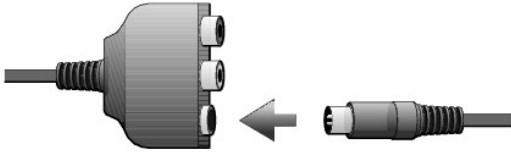


作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。



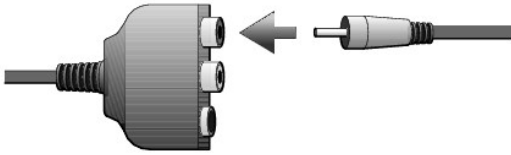
1	TV / デジタルオーディオアダプタケーブル
2	S ビデオケーブル
3	S/PDIF デジタルオーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3. S ビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルの S ビデオ端子に差し込みます。



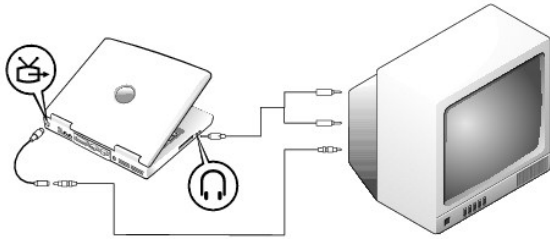
4. Sビデオケーブルのもう片方の端を、テレビのSビデオコネクタに差し込みます。

5. S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルのデジタルオーディオコネクタに差し込みます。

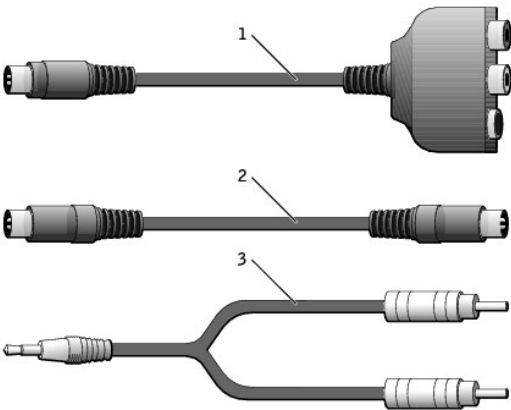


6. S/PDIF デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

コンポジットビデオおよび標準オーディオ



作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

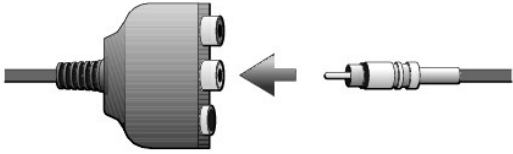


1	TV / デジタルオーディオアダプタケーブル
2	コンポジットビデオケーブル
3	オーディオケーブル

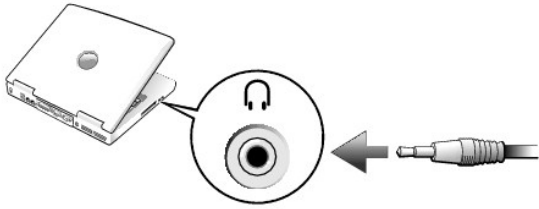
1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2. TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータのSビデオTV出力コネクタに接続します。

3. コンポジットビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。

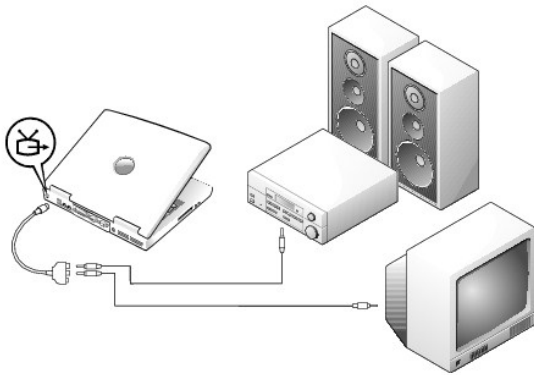


4. コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。
5. コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

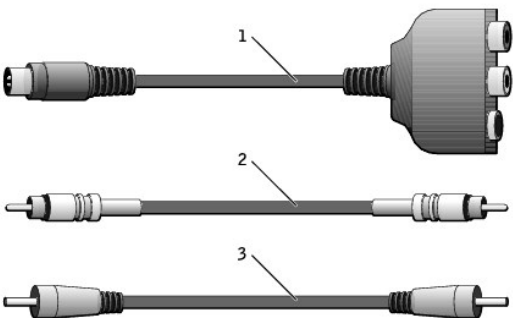


6. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

コンポジットビデオおよびデジタルオーディオ



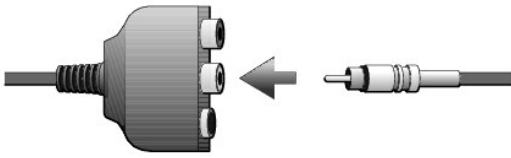
作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。



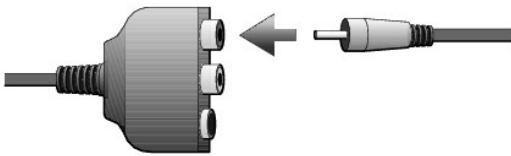
1	TV / デジタルオーディオアダプタケーブル
2	コンポジットビデオケーブル
3	S/PDIF デジタルオーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2. TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3. コンポジットビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。



4. コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。
5. S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。



6. デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF コネクタに差し込みます。

テレビの表示設定を有効にする

NVIDIA ビデオコントローラ

メモ: 表示設定を有効にする前に、テレビが適切に取り付けられているか確認します。

1. **コントロールパネル** を開きます。
Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** アイコンをクリックします。
Windows 2000 の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **画面** アイコンをダブルクリックし、**設定** タブをクリックして、**詳細設定** (または **詳細**) をクリックします。
3. **TwinView** タブをクリックします。
4. **クローン** ボタンをクリックして、テレビを有効にします。

メモ: 様々なプログラムが違う方法でハードウェアにアクセスします。DVD を再生する以外に操作用のプライマリボタンをクリックする場合があります。

5. **適用** をクリックします。
6. **OK** をクリックして、設定の変更を確認します。
7. **はい** をクリックして、新しい設定を保存します。
8. **OK** をクリックします。

S/PDIF デジタルオーディオを有効にする

DVD 再生用に Dolby Digital 5.1 オーディオを有効にするには、「[DVD 再生用 Dolby Digital 5.1 オーディオを有効にする](#)」を参照してください。

DVD 再生用 Dolby Digital 5.1 オーディオを有効にする

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用に Dolby Digital 5.1 オーディオを有効にできます。


1. Windows デスクトップで **InterVideo WinDVD** アイコンをダブルクリックします。



2. DVD を DVD ドライブに挿入します。
DVD の再生が始まった場合、**停止** ボタンをクリックします。

3. プロパティ (スパナ) のアイコンをクリックします。
4. **オーディオ** タブをクリックします。
5. **S/PDIF 出力を有効にする** をクリックします。
6. **適用** をクリックします。
7. **OK** をクリックします。

Windows オーディオドライバで S/PDIF を有効にする

 **メモ:** Windows で S/PDIF を有効にすると、ヘッドフォンコネクタからのサウンドが無効になります。

1. Windows の通知領域でスピーカーアイコンをダブルクリックします。
2. **オプション** メニューをクリックして、**トーン調整** をクリックします。
3. **トーン** をクリックします。
4. **Enable S/PDIF** をクリックします。
5. **閉じる** をクリックします。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

セットアップユーティリティの使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [概要](#)
- [セットアップユーティリティ画面の表示](#)
- [セットアップユーティリティ画面](#)
- [よく使用されるオプション](#)

概要

 **メモ:** セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。(External Hot Key オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。) オペレーティングシステムの設定機能の詳細については、Microsoft Windows ヘルプまたは Windows XP ヘルプとサポートセンターを参照してください。


以下のような場合に、セットアップユーティリティを実行します。

- 1 コンピュータのパスワードなどの選択可能な機能を設定または変更する場合
- 1 システムのメモリ容量などコンピュータの現在の設定情報を確認する場合


コンピュータを設定したら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

セットアップユーティリティの画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- 1 システム設定
- 1 起動順序
- 1 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 1 基本デバイス構成の設定
- 1 システムセキュリティおよびハードドライブのパスワード設定

 **注意:** 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

- 1 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに  を押します。ここで時間をおきすぎて、Windows ログが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

セットアップユーティリティ画面

各画面で、セットアップユーティリティのオプションは左側に一覧表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを押さえた色で表示されています。


画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されています。画面の右下角には、コンピュータのシステム情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

よく使用されるオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの Boot Order のページを使って、起動順序を管理したりデバイスを有効 / 無効にすることができます。



 **メモ:** 起動順序を一回だけ変更するには、「[一回きりの起動の実行](#)」を参照してください。




Boot Order ページは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの一般的なリストを表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- 1 Diskette Drive
- 1 Modular bay HDD

- 1 Internal HDD
- 1 CD/DVD/CD-RW drive

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。



起動デバイスを制御するには、 または  キーを押して、デバイスを選び（ハイライト表示）、デバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更できます。

- 1 デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、 を押します。有効なアイテムは白色に表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色、または暗く表示され、三角形は付いていません。
- 1 リスト内のデバイスの順番を変更するには、デバイスをハイライト表示して、 または  を押して（大文字と小文字は区別されません）ハイライト表示されたデバイスを上下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了すると、すぐに有効になります。

一回きりの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. コンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたら、すぐに  を押します。ここで時間をおきすぎて、Windows ロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
5. 起動デバイス一覧が表示された場合、起動したいデバイスをハイライト表示して、 を押します。

コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するとき、以前の起動順序が復元されます。

プリンタモードの変更




パラレルコネクタに接続されているプリンタやデバイスのタイプに応じて、Parallel Mode オプションを設定します。使用する正しいモードを確認するには、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。


Parallel Mode を Disabled に設定すると、パラレルポートとポートの LPT アドレスが無効になり、コンピュータリソースが空きますので、別のデバイスが使用できるようになります。

COM ポートの変更


Serial Port を使って、シリアルポート COM アドレスをマップしたり、シリアルポートとアドレスを無効にできます。コンピュータリソースが空きますので、別のデバイスが使用できるようになります。


赤外線センサーの有効化

1. セットアップユーティリティを起動します。
 - a. コンピュータの電源を入れます。
 - b. DELL™ のロゴが表示されたら、 を押します。
2. Basic Device Configuration にある Infrared Data Port が表示されるまで、  を押します。

 **メモ:** シリアルコネクタに割り当てられた COM ポートと異なる COM ポートを選択していることを確認します。

3. 下矢印キーを押して、Infrared Data Port 設定を選択し、右矢印キーを押して、COM ポートの設定を変更します。
4. 下矢印キーを押して、Infrared Mode 設定を選択し、右矢印キーを押して、Fast IR または Slow IR の設定を変更します。

Fast IR の使用をお勧めします。赤外線デバイスがお使いのコンピュータと通信できない場合、コンピュータをシャットダウンし、手順 1 ~ 5 を繰り返して設定を Slow IR に変更します。
5.  を押し、Yes をクリックして変更を保存し、セットアップユーティリティを終了します。コンピュータを再起動するように指示されたら、Yes をクリックします。
6. 画面の手順に従います。
7. 赤外線センサーが有効にされたら、Yes をクリックして、コンピュータを再起動します。

 **メモ:** Fast IR と Slow IR のどちらも動作しない場合、赤外線デバイスの製造元にお問い合わせください。

赤外線センサーを有効にすると、赤外線デバイスとの通信を確立することができます。赤外線デバイスをセットアップして使用する場合、赤外線デバイスに付属しているマニュアルおよび Microsoft® Windows® のヘルプとサポートセンター（Windows 2000 の場合、Windows ヘルプ）を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

スマートカードの使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [スマートカードについて](#)
- [スマートカードの取り付け](#)

スマートカードについて

スマートカードは集積回路が搭載された、小型で持ち運びのできるクレジットカードと同じ形のデバイスです。スマートカードには 2 種類あります（メモリおよびマイクロプロセッサ）。メモリスマートカードは、データの保存はできますが情報を処理することはできません。マイクロプロセッサスマートカードはカードメモリの情報の追加、削除、および処理をすることができます。マイクロプロセッサスマートカードの表面には、金製の導体パッドの下にマイクロプロセッサが内蔵されています。マイクロプロセッサスマートカードは、以下のプログラムで使用できます。

- 1 PC またはネットワークへのユーザーの安全なログオンと認証
- 1 安全な B2B (business to business) および B2C (business to consumer) のイーコマース
- 1 デジタル証明書、資格証明書、およびパスワードの保管
- 1 重要なデータの暗号化

メモ: PC への安全なログオンと認証、B2B および B2C イーコマース、ローカルファイルの暗号化、およびデジタル証明書の保管にスマートカードを使用するには、追加のソフトウェアが必要です。安全なネットワークへのログオンと認証、ファイルと E メール暗号化、および VPN (仮想プライベートネットワーク) へのログオンにスマートカードを使用するには、Microsoft® Windows® PKI サポートを有効にする必要があります。

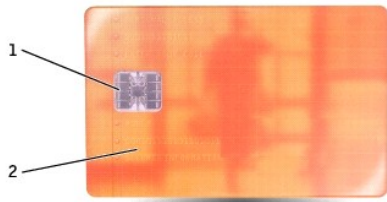
スマートカードは小型で集積回路が内蔵されていますので、安全性、データストレージ、および特殊なプログラム用の便利なツールとして利用できます。スマートカードを使って、ユーザーが持っているもの（スマートカード）とユーザーだけが知っているもの（暗証番号）を組み合わせ、パスワードだけの場合よりも確実なユーザー認証を提供し、システムの安全性を向上することができます。

スマートカードの取り付け

コンピュータの実行中にスマートカードをコンピュータに取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

スマートカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

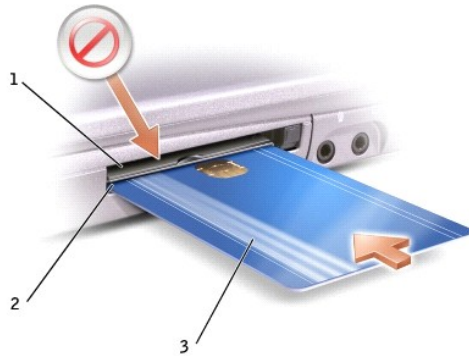
- 1 スマートカードスロットからダミーのスマートカードを取り外します。
- 2 表面にある金製の導体パッドを上にしてスマートカードを持ち、スマートカードスロットに向けます。



1	金製の導体パッド
2	スマートカード (表)

- 3 スマートカードがコネクタに完全に装着されるまで、カードをスマートカードスロットに差し込みます。スマートカードは、スロットから約 1.27 cm 突き出ます。スマートカードスロットは、PC カードスロットの下にあります。

カードがうまく入らないときは、無理にカードを押し込まず、カードの向きを確認して、もう一度挿入してみてください。



1	PC カードスロット (上部)
2	スマートカードスロット (下部)
3	スマートカード

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

仕様

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

マイクロプロセッサ	
マイクロプロセッサのタイプ	Intel® Centrino™ Mobile テクノロジ または Intel Pentium® M
L1 キャッシュ	8 KB (内蔵)
L2 キャッシュ	1 MB (ダイ)
外付けバスの周波数	400 MHz

システム情報	
システムチップセット	Intel 855PM
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
マイクロプロセッサアドレスバス幅	32 ビット

PC カード	
CardBus コントローラ	TI 7510 CardBus コントローラ
PC カードコネクタ	Type I または Type II のカードを 1 枚サポート
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅 (最大)	PCMCIA 16 ビット CardBus 32 ビット

スマートカード	
読み / 書き機能	すべての ISO 7816 1/2/3/4 マイクロプロセッサカードに読み書き (T=0, T=1)
サポートするカード	3 V および 5 V
プログラムテクノロジーサポート	Java カード
インタフェース速度	9600 ~ 115,200 BPS
EMV レベル	レベル 1 認定
WHQL 認定	PC/SC
互換性	PKI 環境の互換性
取り付け / 取り出しのサイクル	100,000 サイクルまで認定

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM ソケット × 2
メモリモジュールの容量	256 MB、512 MB、および 1024 MB
メモリのタイプ	333 MHz DDR SDRAM
標準メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	2 GB (システムには 2 つのメモリモジュールがあります)

ポートとコネクタ	
シリアル	9 ピンコネクタ — 16550C 互換、 16 バイトバッファコネクタ
パラレル	25 ピンコネクタ (メス) — 一方向、双方向、または ECP
ビデオ	15 ピンコネクタ (メス)
オーディオ	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
USB	4 ピン USB 2.0 互換コネクタ × 2
パワー USB	4 ピン USB 2.0 互換コネクタおよび電源供給ピン × 4
赤外線センサー	IrDA 標準 1.1 (Fast IR) および IrDA 標準 1.0 (Slow IR) センサー
S ビデオ TV 出力	S ビデオ、コンポジットビデオ、および S/PDIF 用の 7 ピンミニ DIN コネクタ (TV / デジタルオーディオアダプタケーブルはコンポジット ビデオおよび S/PDIF をサポート)
ミニ PCI	Type IIIA ミニ PCI カードスロット
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
IEEE 1394	4 ピンシリアルコネクタ

通信	
モデム:	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内蔵 AC'97 バス
ネットワークアダプタ	システム基板上に 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵ミニ PCI Wi-Fi (802.11b, 802.11b/g, または 802.11a/b/g) ワイヤレスサポート、Bluetooth™ (オプション、販売時点管理のみ可能)

ビデオ	
ビデオタイプ	128 ビットハードウェアアクセラレート
ビデオコントローラ	NVIDIA Quadro FX Go700
ビデオメモリ	128 MB
データバス	4 倍速 AGP
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオおよびコンポジットモードでの NTSC または PAL

オーディオ	
オーディオのタイプ	Intel AC'97
ステレオ変換	20 ビット (ステレオ DA 変換) 18 ビット (ステレオ AD 変換)
インタフェース:	
内部	AC'97
外部	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
スピーカー	4 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	2 W チャンネル (4 Ω)
ボリュームコントロール	キーボードショートカットまたはプログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ (アクティブマトリクス TFT)	WUXGA
寸法:	
高さ	222.5 mm
幅	344.5 mm
対角線	391.2 mm
最大解像度	1920 × 1200
応答時間 (標準)	立ち下がり 35 ミリ秒 (最大)
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0° (閉じた状態) ~ 180°
表示角度:	
水平方向	±65°
垂直方向	±50°
ピクセルピッチ	0.1725
消費電力:	
バックライトのパネル (標準)	5.5 W
コントロール	輝度はキーボードショートカットによって調節可能

キーボード	
キー数	87 (アメリカ、カナダ)、88 (ヨーロッパ)、91 (日本)
キーストローク	2.7 mm ± 0.3 mm
キースペース	19.05 mm ± 0.3 mm
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X/Y 位置解像度 (グラフィックステーブルモード)	240 cpi
寸法:	
幅	64.88 mm (センサー感知領域)
高さ	48.88 mm の長方形

トラックスティック	
X/Y 位置解像度 (グラフィックステーブルモード)	250 カウント / 秒 @ 100 gf
サイズ	キーボードより 0.5 mm 高い

バッテリー	
タイプ	9 セルスマートリチウムイオン (72 WHr)
寸法:	
奥行き	222.8 mm
高さ	22.5 mm
幅	67 mm
重量	0.48 kg
電圧	11.1 VDC
コンピュータの電源が切れている場合の充電時間	80 % に達するまで 1 時間
動作時間	バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なり、特定の電力を多く必要とする状況の元では、著しく短縮されます。 バッテリーの寿命の詳細については、「 バッテリーの使い方 」を参照してください。
寿命 (概算)	300 サイクル (充電 / 放電)
温度範囲:	
動作時	0 °C ~ 35 °C
保管時	- 40 °C ~ 65 °C

AC アダプタ	
入力電圧	100 ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.5 A
入力周波数	50 ~ 60 Hz
出力電流	4.62 A
出力電源	90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法:	
縦幅	27.94 mm
横幅	58.42 mm
長さ	133.85 mm
重量 (ケーブル含む)	0.4 kg
温度範囲:	
動作時	0 °C ~ 35 °C
保管時	- 40 °C ~ 65 °C

サイズと重量	
縦幅	38.6 mm
横幅	361.3 mm
長さ	276.2 mm
重量:	
トラベルモジュールと、72 WHr バッテリーを搭載	3.18kg
CD ドライブと、72 WHr バッテリーを搭載	3.36 kg

環境	
温度範囲:	
動作時	0 °C ~ 35 °C
保管時	-40 °C ~ 65 °C
相対湿度 (最大):	
動作時	10 % ~ 90 % (結露しないこと)
保管時	5 % ~ 95 % (結露しないこと)
最大振動 (ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時):	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.30 GRMS
最大衝撃 (HDD のヘッド停止位置で 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定):	

動作時	122 G
保管時	163 G
高度 (最大):	
動作時	-15.2 ~ 3,048 m
保管時	-15.2 ~ 10,668 m

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ノートブックコンピュータを携帯するときは

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [コンピュータの所有者の証明](#)
- [コンピュータの梱包](#)
- [携帯中のヒントとアドバイス](#)

コンピュータの所有者の証明

- 1 名札または名刺をコンピュータに付けるか、または油性マジックやステンシルなどの消えない筆記具で免許証番号など所有者であることを識別できる固有の印をコンピュータに記入します。
- 1 サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- 1 Microsoft® Windows® デスクトップに PC の所有者 というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- 1 クレジットカード会社に問い合わせ、ID タグコードを発行しているかを確認します。

コンピュータの梱包

- 1 コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。PC カードに接続されているすべてのケーブルを取り外し、[すべての拡張型 PC カードを取り外します](#)。
- 1 コンピュータをなるべく軽くするため、モジュールベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールを取り付けます。
- 1 メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 1 AC アダプタを取り外します。

● **注意:** ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- 1 ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- 1 コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 1 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリーム、コロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。
- 1 コンピュータ、バッテリー、およびハードドライブを、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所に置かないでください。



● **注意:** 低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間ほど室温にならしてから電源を入れてください。

- 1 コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

● **注意:** コンピュータを荷物として預けないでください。

携帯中のヒントとアドバイス

● **注意:** オプティカルドライブを使用しているときは、コンピュータを動かさないでください。データを損失する恐れがあります。

- 1 バッテリーの動作時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にしてみます。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、  を押します。
- 1 バッテリーの動作時間を最大にするために、[電源管理のオプション](#)の設定を変更します。
- 1 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用权を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商用パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 1 訪問予定国で使用されている電源を確認し、適切な電源アダプタを用意します。
- 1 クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

航空機の利用

- 1 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れるよう指示される場合がありますので、必ず充電されたバッテリーを携帯してください。


● **注意:** コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X 線探知機に通すか、手検査を依頼してください。

- 1 機内でコンピュータを使う場合、使用が許可されているかどうかを機内雑誌などで確認するか、乗務員にお尋ねください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合が

あります。すべての航空会社が、離着陸時の電子機器の使用を禁止しています。

コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合

- 1 警察等の公的機関に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータの説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったら書き留めておきます。また、その警察署の名称、住所、電話番号、対応した担当者の名前も書き留めておきます。

 **メモ:** コンピュータを紛失または盗難された場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合、現在お住まいの地域の警察に届け出てください。

- 1 コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- 1 デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号、対応した担当者のお名前をお知らせください。また、その警察署の名称、住所、電話番号、対応した担当者のお名前もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。報告されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会をおこないます。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Microsoft® Windows® XP の使い方

Dell Precision™ M60 シリーズ Mobile Workstation ユーザーズガイド

- [ヘルプとサポートセンター](#)
- [クラシック表示への切り替え](#)
- [デスクトップクリーンアップウィザード](#)
- [ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え](#)
- [ファイルと設定の転送ウィザード](#)
- [プログラム互換性ウィザード](#)
- [家庭用および小企業用ネットワーク](#)
- [インターネット接続ファイアウォール](#)

ヘルプとサポートセンター

ヘルプとサポートセンターは、Windows XP オペレーティングシステムおよびその他のサポートツールや教育ツールのヘルプを提供しています。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。

クラシック表示への切り替え

コントロールパネル、**スタート** メニュー、および Windows デスクトップの表示を、従来のオペレーティングシステムの**クラシック表示**に変更することもできます。

コントロールパネル

コントロールパネルの情報はタスク指向型カテゴリとして表示されています。今までのアイコンを使ってコントロールパネルで特定のタスクを実行する方が慣れている場合は、アイコンを使ったクラシック表示に切り替えることができます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **コントロールパネル** ウィンドウの左上にある **クラシック表示に切り替える**、または **カテゴリ表示に切り替える** をクリックします。

スタートメニュー

1. タスクバーの空の部分を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **[スタート] メニュー** タブをクリックします。
4. **クラシック [スタート] メニュー** を選んで、**OK** をクリックします。

ウィンドウとボタンのデザイン

1. メインデスクトップ画面上で右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2. **デザイン** タブをクリックします。
3. **ウィンドウとボタン** ドロップダウンメニューから、**Windows クラシックスタイル** を選びます。
4. 色、フォント、および他のクラシックデスクトップオプションをカスタマイズするには、**詳細設定** をクリックします。
5. デザインの選択が終了したら、**OK** をクリックします。

デスクトップクリーンアップウィザード

デフォルトで、デスクトップクリーンアップウィザードは、コンピュータを最初に起動してから 7 日後に（その後は 60 日おきに）、デスクトップからあまり使用されないプログラムアイコンを指定したフォルダに移動します。プログラムアイコンが移動すると、**スタート** メニューの外観が変わります。

デスクトップクリーンアップウィザードを終了するには、次の手順を実行します。


1. デスクトップ上の何も無い場所を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2. **デスクトップ** タブをクリックして、**デスクトップのカスタマイズ** をクリックします。
3. **60 日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する** をクリックして、チェックマークを外します。
4. **OK** をクリックします。

デスクトップクリーンアップウィザードを実行するには（いつでも実行できます）、次の手順を実行します。

1. デスクトップ上の何も無い場所を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
2. **デスクトップ** タブをクリックして、**デスクトップのカスタマイズ** をクリックします。
3. **デスクトップをクリーンアップする** をクリックします。
4. デスクトップクリーンアップウィザードが表示されたら、**次へ** をクリックします。

5. ショートカットの一覧で、デスクトップ上に残しておきたいショートカットのチェックマークを外して、**次へ** をクリックします。
6. **完了** をクリックし、ショートカットを削除して、ウィザードを閉じます。


ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え

 **メモ:** Windows XP Home Edition のアカウントオプションは、Windows XP Professional で利用できるアカウントオプションと異なります。また、Windows XP Professional で利用可能なオプションは、コンピュータがドメインに接続されているかによっても異なります。

Windows XP がインストールされると、コンピュータ管理者または管理者権限を持つユーザーは、追加のユーザーアカウントを作成することができます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **コントロールパネル** ウィンドウで、**ユーザーアカウント** をクリックします。
3. **作業を選びます** で、**新しいアカウントを作成する** をクリックします。
4. **新しいアカウントに名前を付けます** で、新しいユーザーの名前を入力して、**次へ** をクリックします。
5. **アカウントの種類を選びます** で、以下の項目の 1 つをクリックします。
 1. **コンピュータの管理者** — すべてのコンピュータ設定を変更することができます。
 1. **制限** — ご自分のパスワードなど、個人的な設定のみを変更することができます。プログラムをインストールしたり、インターネットを使用することはできません。
6. **アカウントの作成** をクリックします。

ユーザーの簡易切り替え

 **メモ:** ユーザーの簡易切り替えは、コンピュータで Windows XP Professional が動作していて、コンピュータがコンピュータドメインのメンバーである場合、またはコンピュータに搭載されているメモリが 128 MB 以下の場合は無効になります。

ユーザーの簡易切り替えにより、先に使用していたユーザーがログオフしなくても、複数のユーザーが 1 台のコンピュータにアクセスできます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**ログオフ** をクリックします。
2. **Windows のログオフ** ウィンドウで、**ユーザーの切り替え** をクリックします。

ユーザーの簡易切り替えを使用する場合、前のユーザーが実行していたプログラムはバックグラウンドで使用され続けるため、コンピュータの動作が遅く感じられることがあります。また、ゲームや DVD ソフトウェアなどのマルチメディアプログラムは、ユーザーの簡易切り替えでは動作しないことがあります。詳細については、Windows [ヘルプとサポートセンター](#) を参照してください。

ファイルと設定の転送ウィザード

ファイルと設定の転送ウィザードを使うと、古いコンピュータで以前のオペレーティングシステムを実行している場合でも、コンピュータ間でファイルと設定を転送することができます (たとえば、新しいコンピュータに買い換えた場合など)。データの収集と移行にかかる時間は、収集するデータ量によって異なります。これには数分から数時間かかることがあります。

新しいコンピュータにネットワークまたは直接シリアル接続を介してデータを移行するか、フロッピーディスク、または書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアに保存します。CD ドライブが利用できない場合、ウィザードを使って、古いコンピュータ上で実行するウィザードディスクを作成することができます。

詳細については、Windows [ヘルプとサポートセンター](#) を参照してください。

プログラム互換性ウィザード

以前の Windows オペレーティングシステム用に設計されたプログラムを実行していて問題が発生した場合、プログラム互換性ウィザードを使って問題解決に役立てることができます。プログラム互換性ウィザードを使って、Windows 95、Windows 98、Windows Millennium Edition (Me)、Windows NT® 4.0 Service Pack 5、または Windows 2000 に近い環境でプログラムを実行するよう設定することができます。

インストール後にオペレーティングシステムや他のプログラムに問題が発生する場合、[システムの復元](#)機能を使って以前の安定した状態にコンピュータを戻すことができます。

詳細については、Windows [ヘルプとサポートセンター](#) を参照してください。

家庭用および小企業用ネットワーク

ネットワークセットアップウィザードでは、家庭用または小企業用ネットワークのセットアップに対するオンラインマニュアルとサポートを提供しています。新しいウィザードはパーソナルファイアウォールを自動的に有効にします ([インターネット接続ファイアウォール](#) を参照)。

ネットワークセットアップウィザードには、家庭または小企業のコンピュータ間でファイル、プリンタ、またはインターネット接続などのリソースの共有処理を説明するチェックリストと手順が含まれています。詳細については、Windows [ヘルプとサポートセンター](#) を参照してください。

インターネット接続ファイアウォール

インターネット接続ファイアウォールでは、インターネット接続時に、許可されていないユーザーのコンピュータへのアクセスに対する基本的な保護が提供されます。ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。ネットワーク接続にファイアウォールが有効になると、**コントロールパネル** の **ネットワーク接続** に赤い背景のあるファイアウォールアイコン

コンが表示されます。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしても、アンチウイルスソフトウェアは必要です。

詳細については、Windows [ヘルプとサポートセンター](#)を参照してください。

[目次ページに戻る](#)